

第2部 調査結果の概要

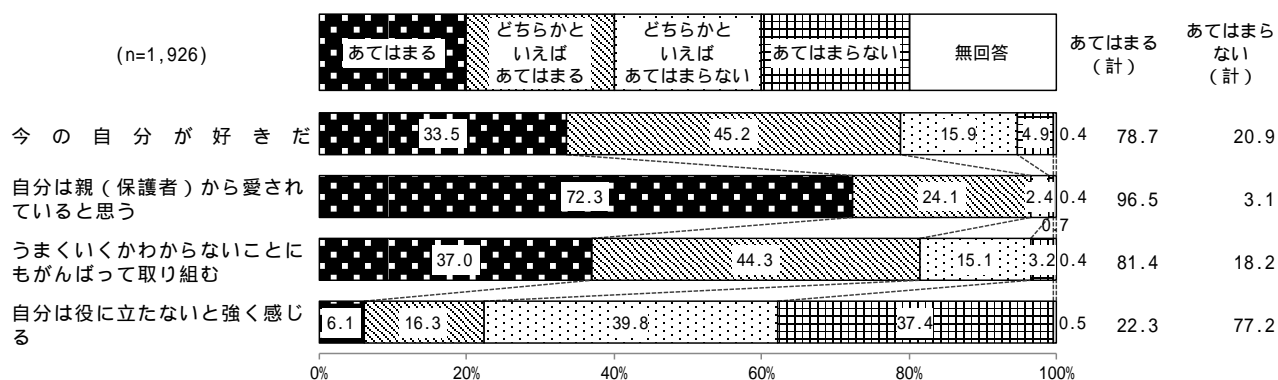
第2部 調査結果の概要

1. 人生観・充実度

(1) 自己認識 (問1)

問1 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。「あてはまる」は1を、「どちらかといえばあてはまる」は2を、「どちらかといえばあてはまらない」は3を、「あてはまらない」は4を選んでください。

図表2-1-1-1 自己認識



回答者の自己認識を“「今の自分が好きだ」(自己肯定感)”、“自分は親(保護者)から愛されていると思う(親子関係)”、“うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む(チャレンジ精神)”、“自分は役に立たないと強く感じる(自己有用感)”の4項目について聞いた。

「あてはまる」という回答の割合が最も高いのは、“自分は親(保護者)から愛されていると思う”(72.3%)で7割を上回り、「どちらかといえばあてはまる」(24.1%)を合わせると、96.5%が親子関係を肯定的にとらえている。

“今の自分が好きだ”と“うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む”は、「あてはまる」(“自分が好き”33.5%、“がんばって取り組む”37.0%)がそれぞれ3割台で、「どちらかといえばあてはまる」(“自分が好き”45.2%、“がんばって取り組む”44.3%)を合わせた肯定的にとらえる回答者は、8割前後である。

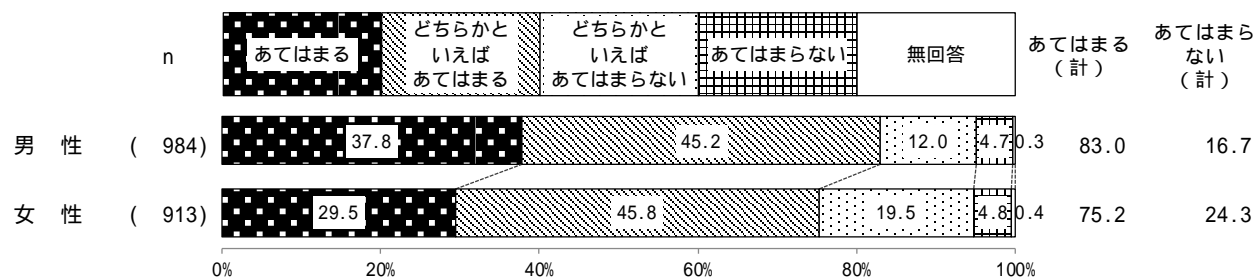
これに対して、“自分は役に立たないと強く感じる”については、「あてはまらない」が37.4%、「どちらかといえばあてはまらない」が39.8%で自己有用感を持つ回答者が多数を占めるが、『あてはまる』(「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」)とする自己有用感を持たない回答者も2割程度いる。

自己認識を男女別にみると（図表 2-1-1-2）“今の自分が好きだ”という自己肯定感を持つ回答者（「あてはまる」）は、女性（29.5%）より男性（37.8%）に多い。

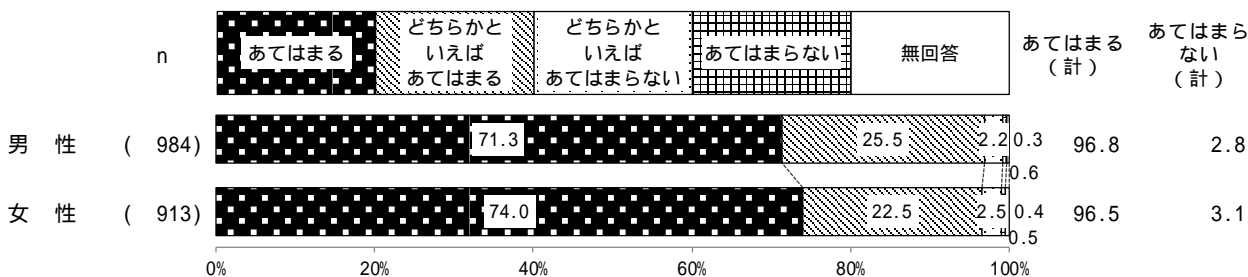
その他の“自分は親（保護者）から愛されていると思う（親子関係）”、“うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む（チャレンジ精神）”、“自分は役に立たないと強く感じる（自己有用感）”の3項目には、大きな男女差はみられない。

図表 2 - 1 - 1 - 2 自己認識(男女別)

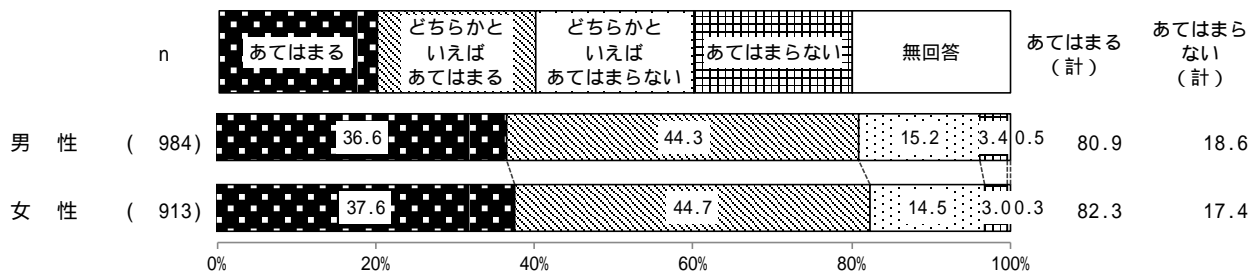
【今の自分が好きだ】



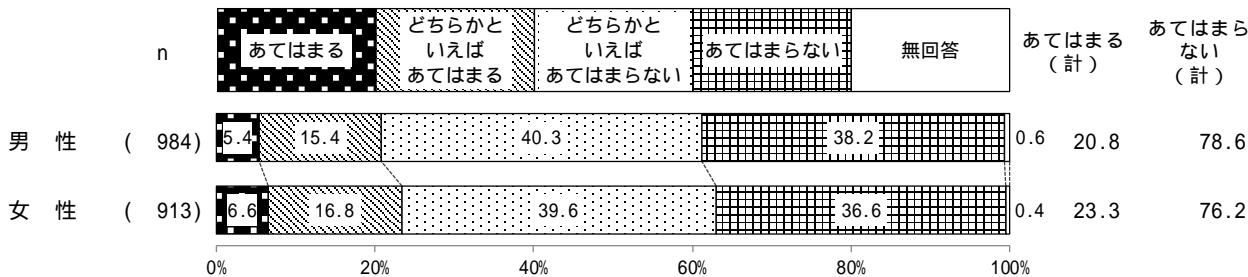
【自分は親(保護者)から愛されていると思う】



【うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む】



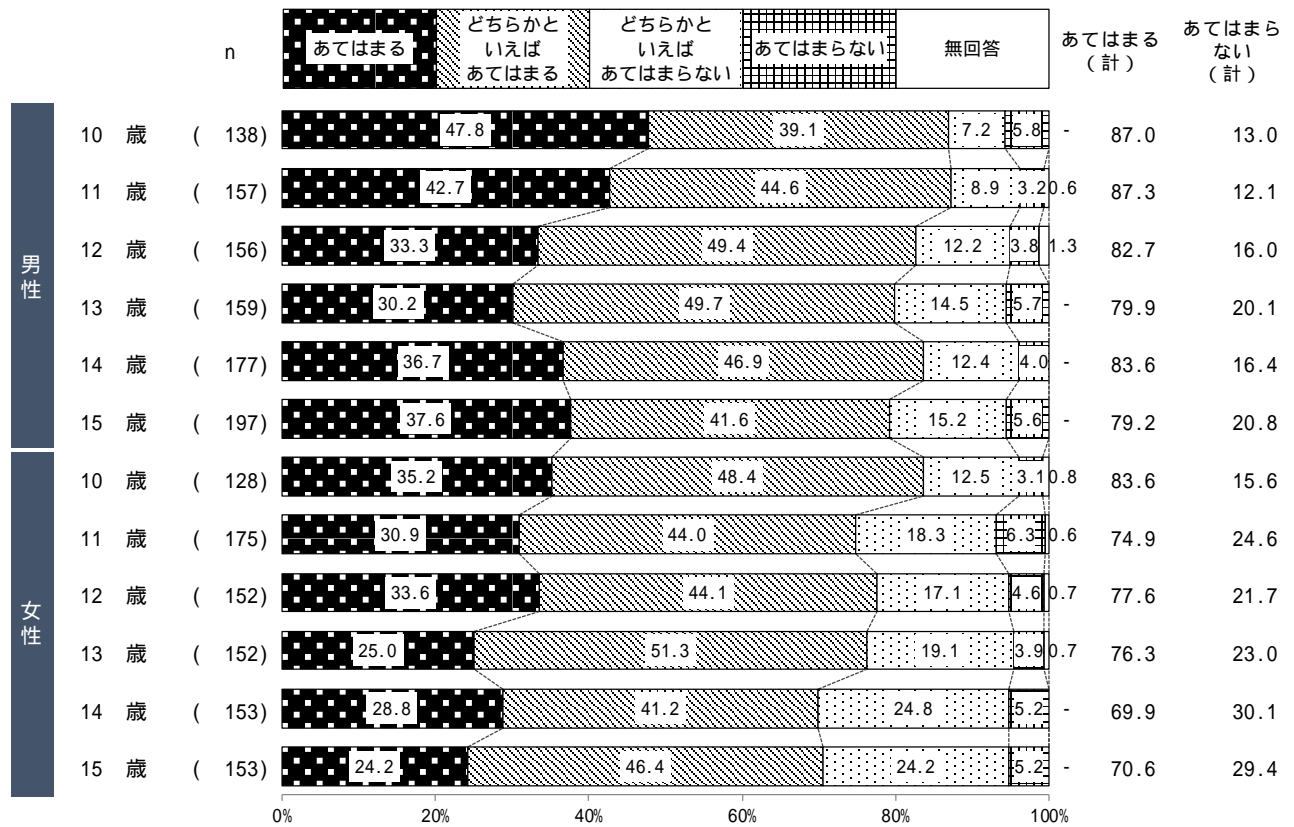
【自分は役に立たないと強く感じる】



“今の自分が好きだ”という自己肯定感を性・年齢別にみると(図表2-1-1-3)「あてはまる」という回答者の割合は、男性の10歳(47.8%)と11歳(42.7%)で、4割を上回っている。

一方、女性の14歳と15歳では、「あてはまらない」(ともに5.2%)もしくは「どちらかといえばあてはまらない」(14歳24.8%、15歳24.2%)という回答者が約3割で、他の性・年代より自己肯定感が低い。

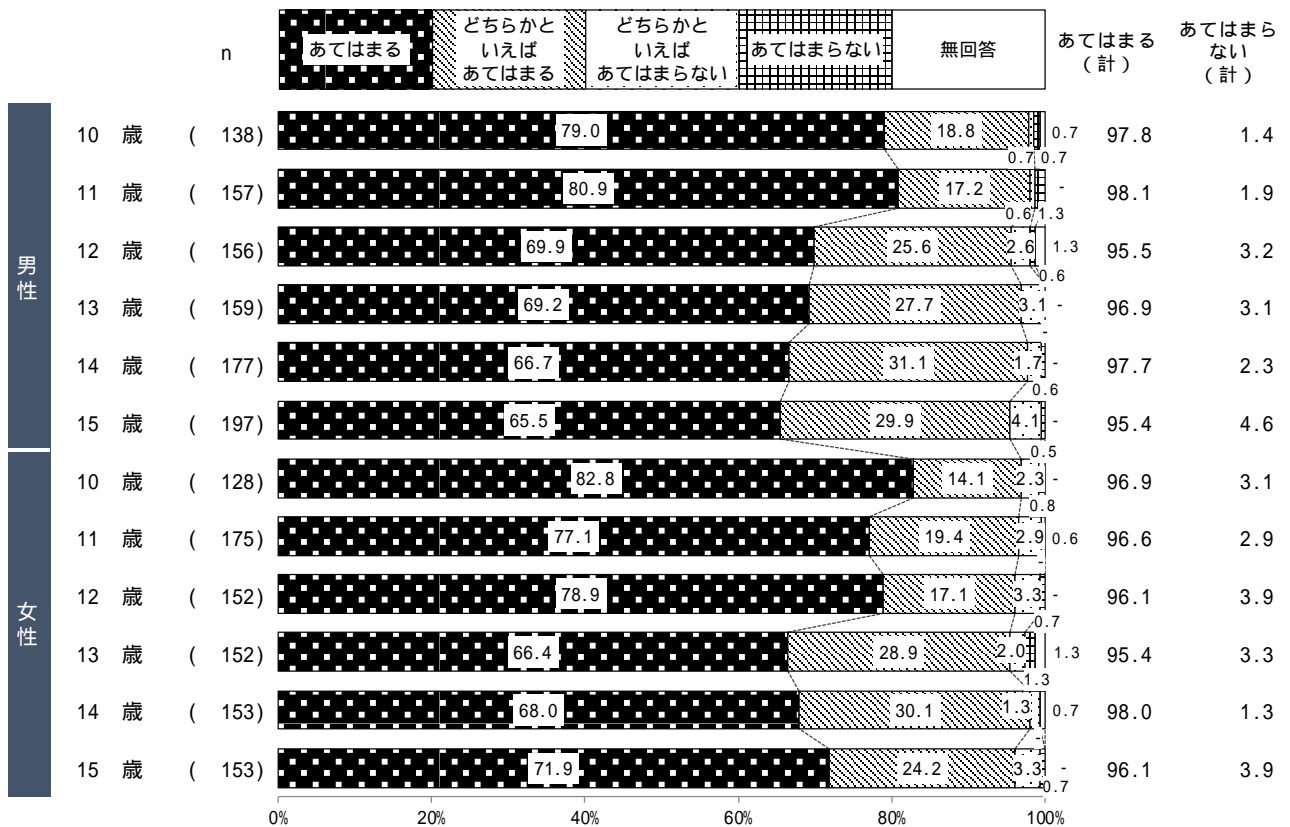
図表2-1-1-3 自己認識:今の自分が好きだ(性・年齢別)



“自分は親（保護者）から愛されていると思う”という親子関係を性・年齢別にみると（図表 2-1-1-4）「あてはまる」という回答者は、男性の10歳（79.0%）と11歳（80.9%）、女性の10歳～12歳（10歳82.8%、11歳77.1%、12歳78.9%）で8割前後である。

男性では12歳以上、女性では13歳以上で「どちらかといえばあてはまる」という回答が増加する傾向にあり、いずれの性・年齢層でも大多数は『あてはまる』（「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」）と親子関係を肯定的にとらえている。

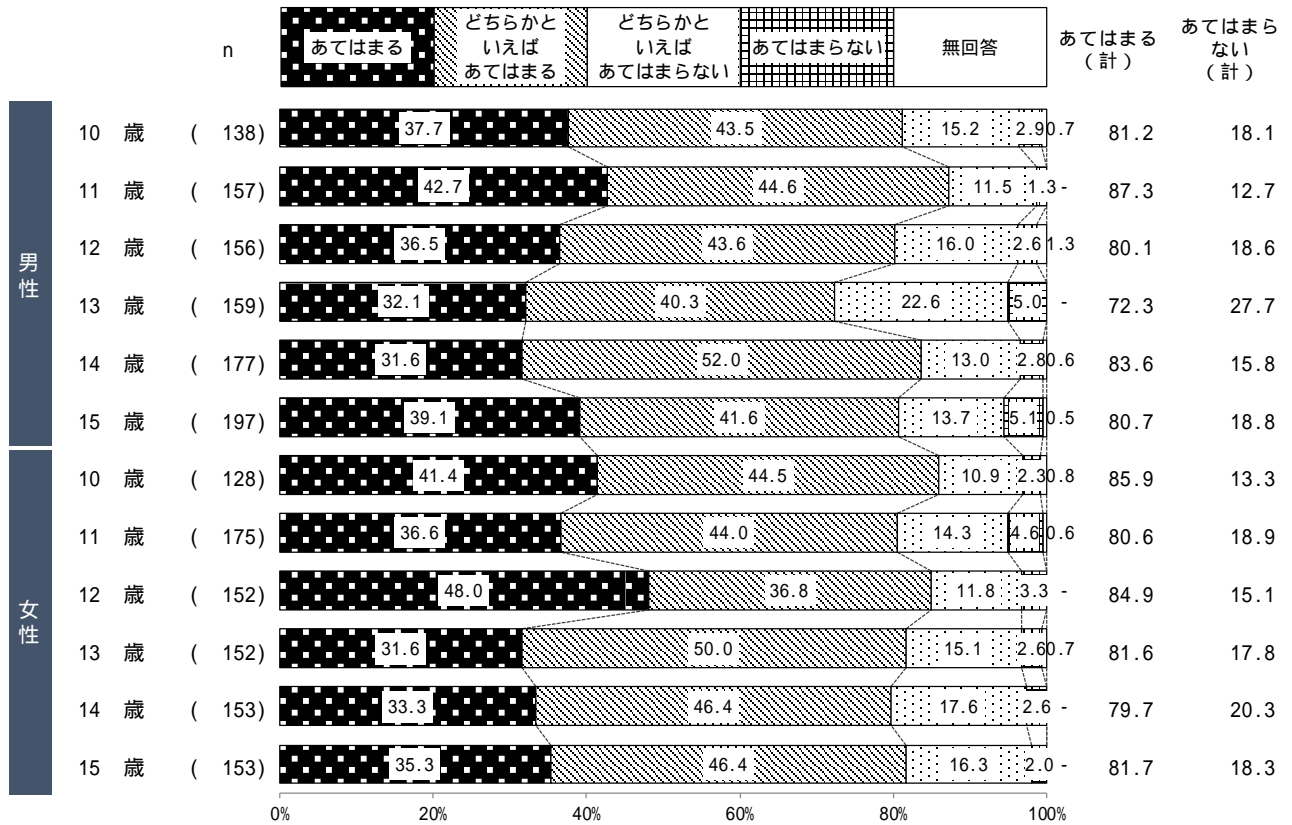
図表 2 - 1 - 1 - 4 自己認識:自分は親(保護者)から愛されていると思う(性・年齢別)



“うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む”というチャレンジ精神を性・年齢別にみると(図表2-1-1-5)「あてはまる」という回答者は、女性の12歳(48.0%)で半数近い。

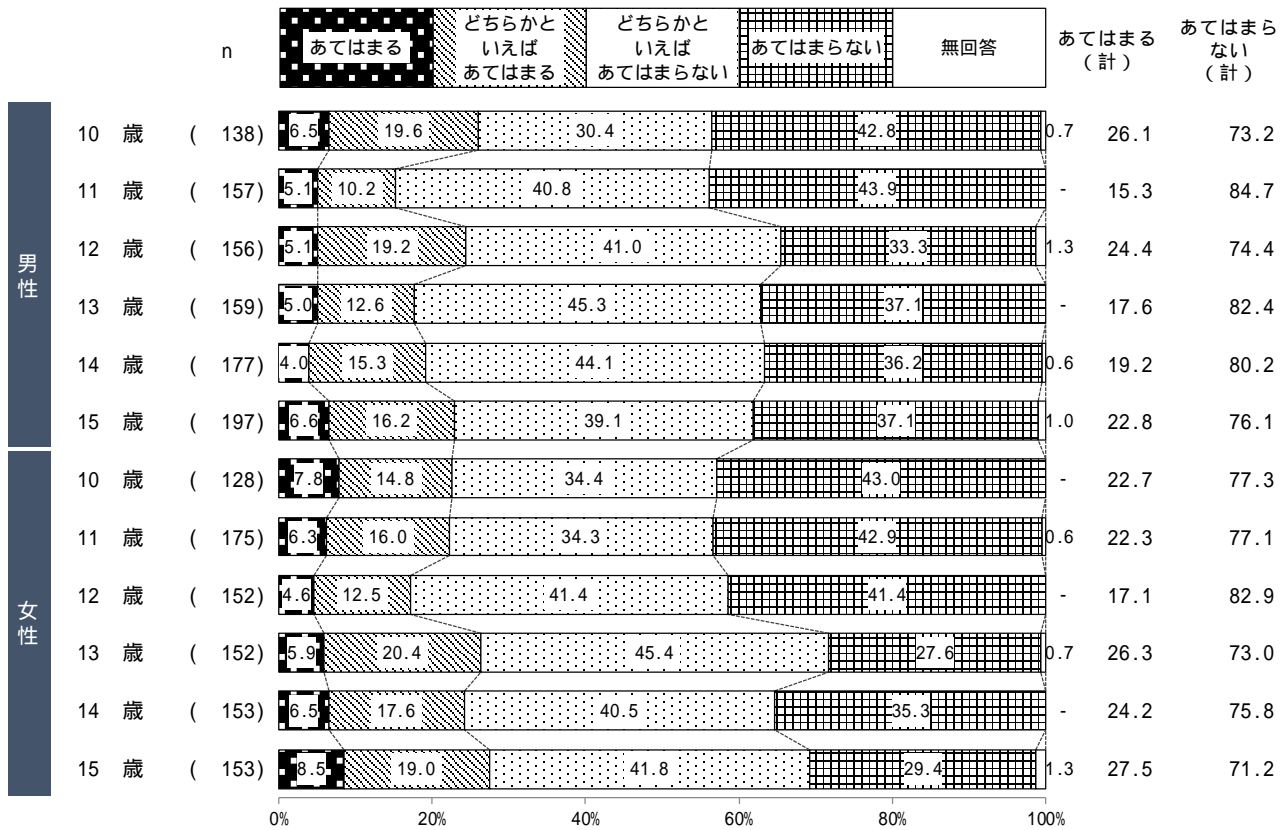
一方、男性の13歳では「どちらかといえばあてはまらない」が22.6%で、「あてはまらない」(5.0%)を合わせると、チャレンジ精神の低い層が3割近い。

図表2-1-1-5 自己認識:うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む(性・年齢別)



“自分は役に立たないと強く感じる”という自己有用感を性・年齢別にみると(図表2-1-1-6)「あてはまらない」もしくは「どちらかといえばあてはまらない」と回答した、自己有用感を持つ回答者は、男性の11歳(84.7%)、13歳(82.4%)、14歳(80.2%)と女性の12歳(82.9%)で、8割を上回っている。

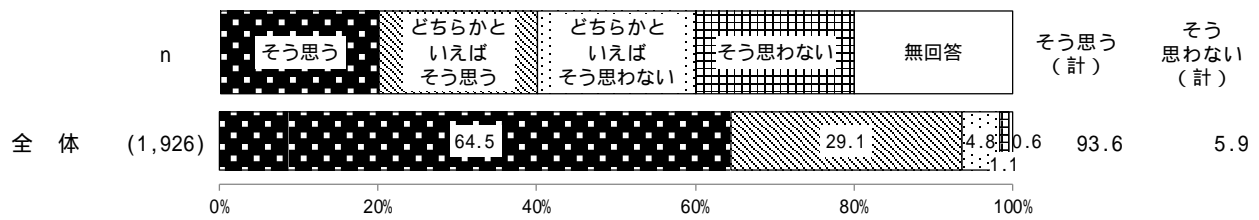
図表2-1-1-6 自己認識:自分は役に立たないと強く感じる(性・年齢別)



(2) 幸福感(問2)

問2 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(1つだけ)

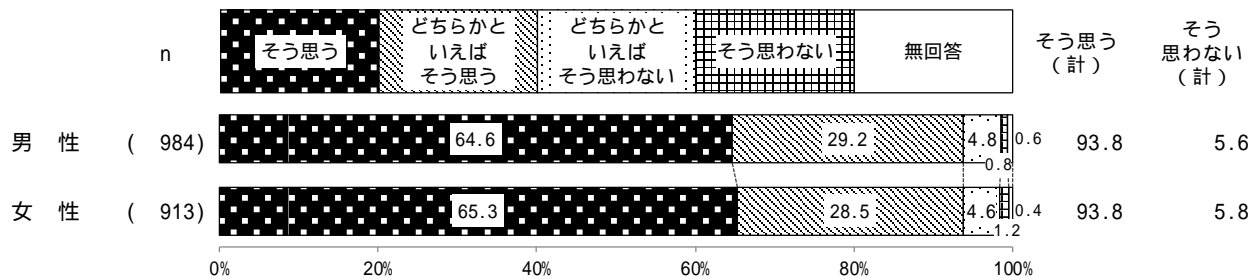
図表2-1-2-1 幸福感



今、自分が幸せだという実感について聞いたところ(図表2-1-2-1)「そう思う」という回答者が64.5%で、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、9割以上は幸福感を持っている。

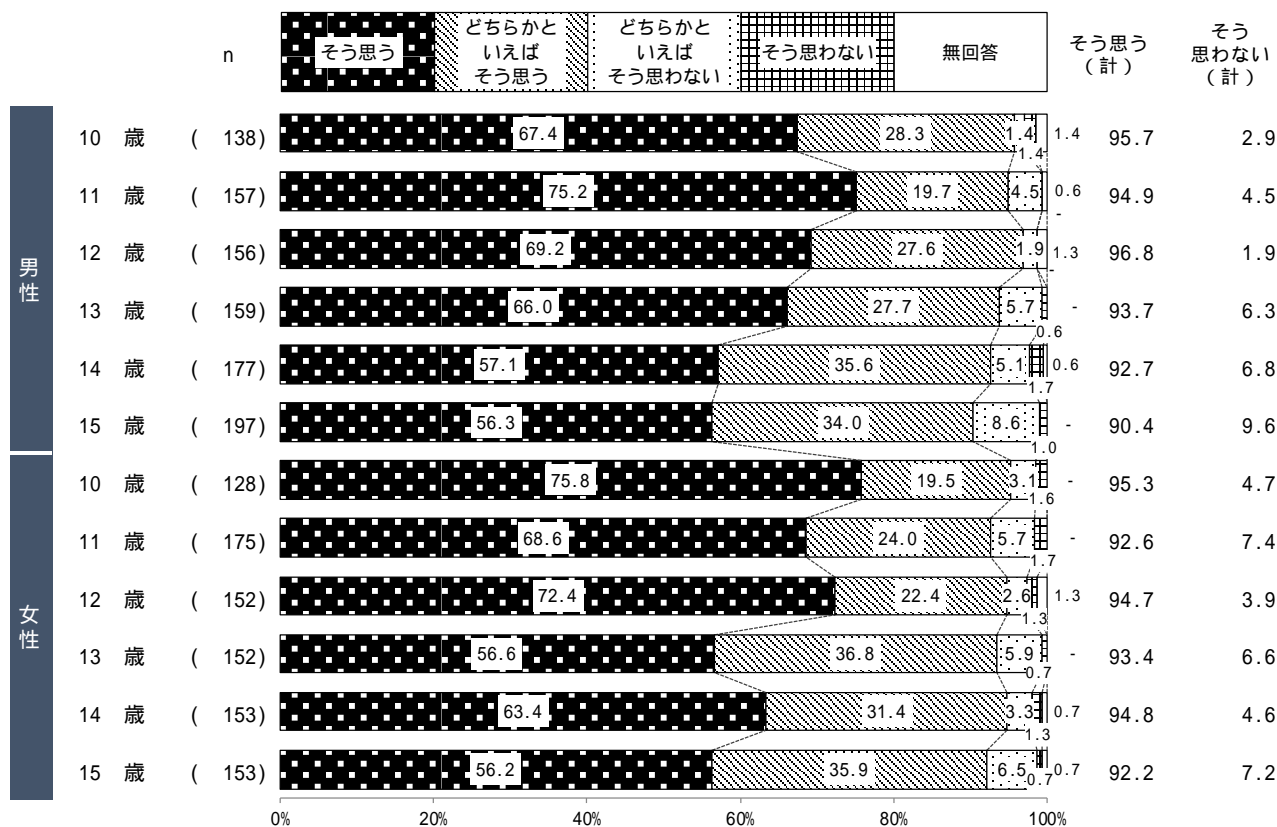
男女別にみても(図表2-1-2-2)、幸福感に大きな男女差はみられない。

図表2-1-2-2 幸福感(男女別)



幸福感を性・年齢別にみると(図表2-1-2-3)「そう思う」という回答者は、女性の10歳(75.8%)、男性の11歳(75.2%)、女性の12歳(72.4%)などで7割を上回っている。「どちらかといえばそう思う」を合わせると、いずれの性・年齢でも幸福感を実感する回答者が9割を上回っている。

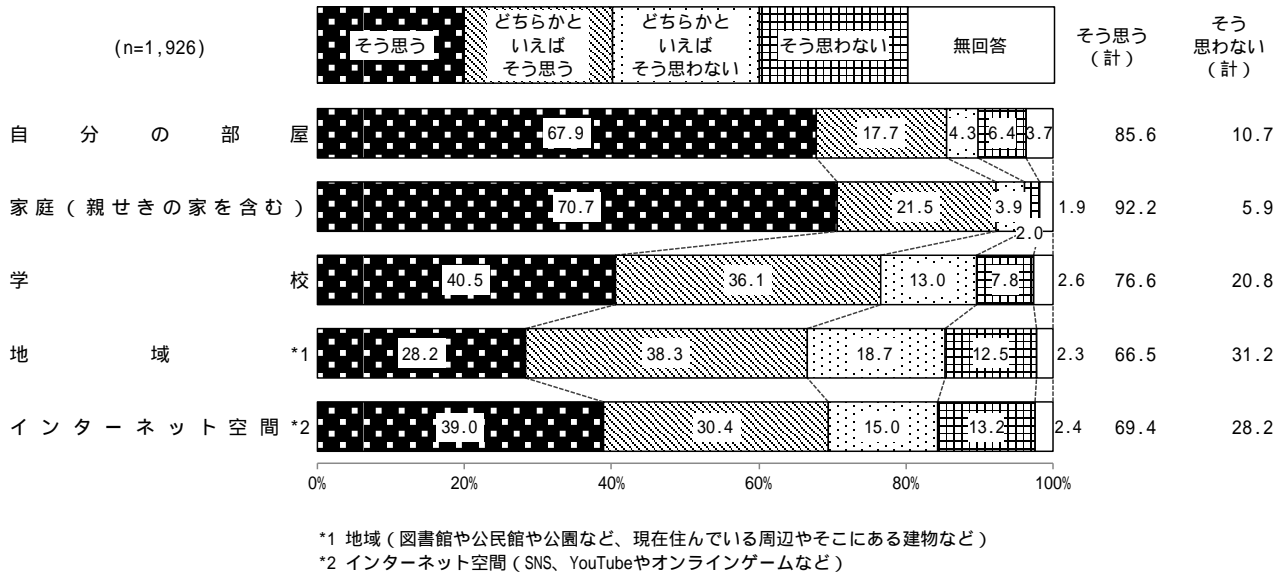
図表2-1-2-3 幸福感(性・年齢別)



(3) 居場所 (問3)

問3 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)になっていますか。

図表2-1-3-1 居場所



“自らの部屋”、“家庭(親せきの家を含む)”、“学校”、“地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる周辺やそこにある建物など)”、“インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)”の5つの場所が、回答者にとって居場所(ほっとできる場所、安心できる場所)になっているかを聞いた(図表2-1-3-1)。

「そう思う」という回答者が最も多いのは“家庭”の70.7%で、次いで“自らの部屋”が67.9%である。それぞれ、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、“家庭”は92.2%、“自らの部屋”は85.6%が居場所と感じられている。

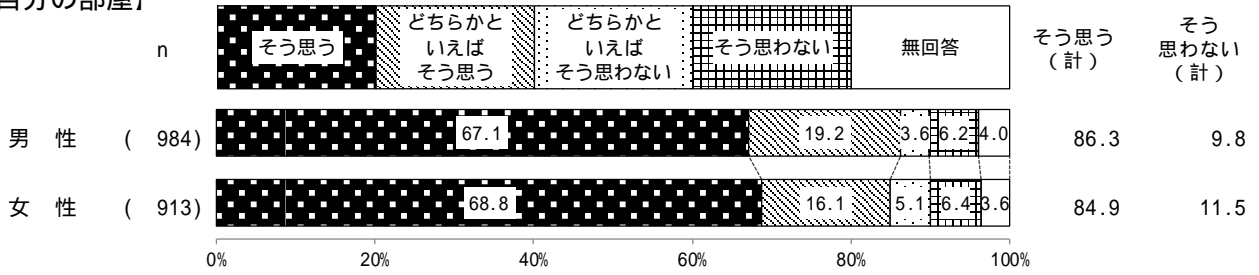
“学校”は、「そう思う」が40.5%、「どちらかといえばそう思う」が36.1%で、4人に3人以上は居場所であると感じている。『そう思わない』(「そう思わない」7.8%+「どちらかといえばそう思わない」13.0%)という回答者は約2割である。

“地域”と“インターネット空間”は、「そう思わない」(地域12.5%、インターネット空間13.2%)もしくは「どちらかといえばそう思わない」(地域18.7%、インターネット空間15.0%)と回答した『そう思わない』という回答者が、3割前後である。

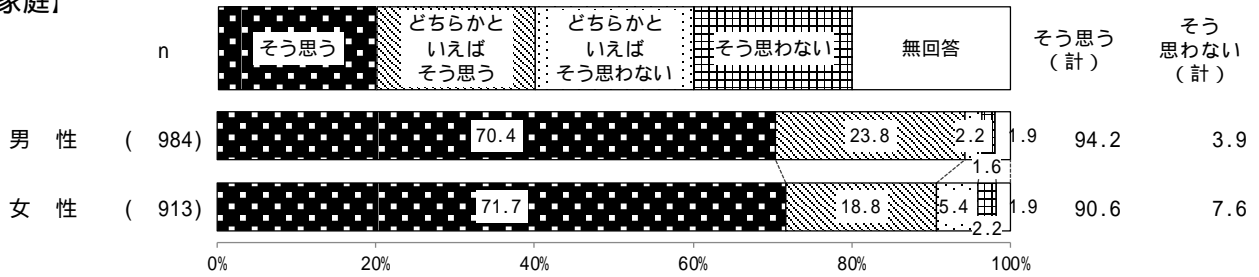
居場所を男女別にみると（図表 2-1-3-2）、いずれの居場所も、大きな男女差はみられない。

図表 2 - 1 - 3 - 2 居場所(男女別)

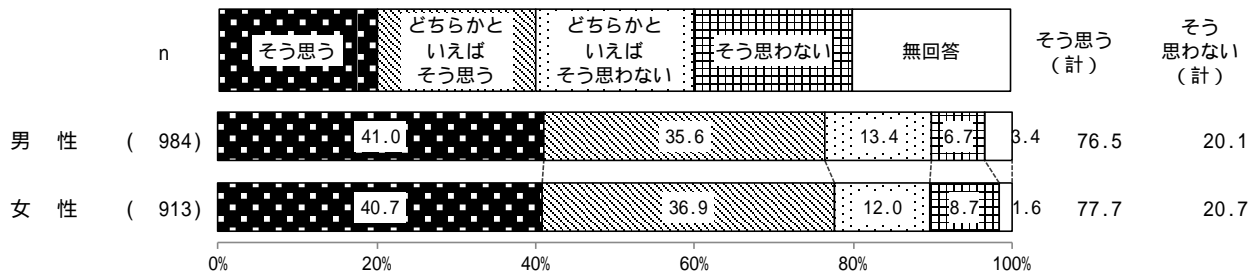
【自分の部屋】



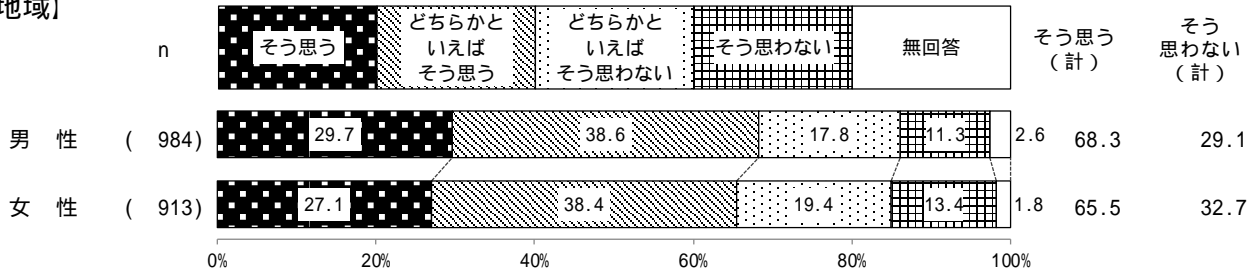
【家庭】



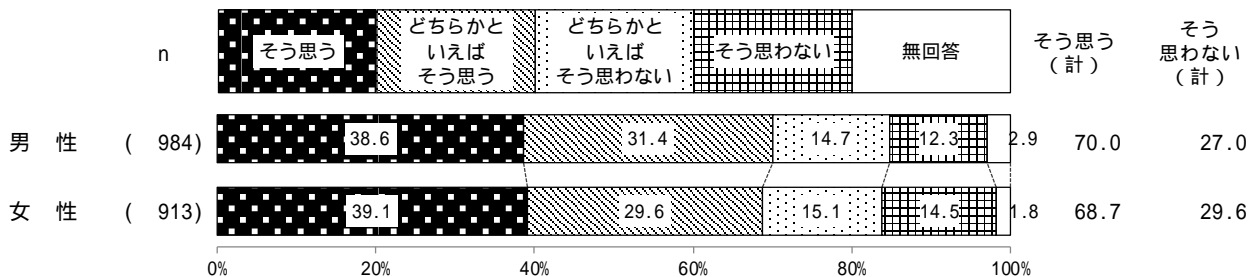
【学校】



【地域】



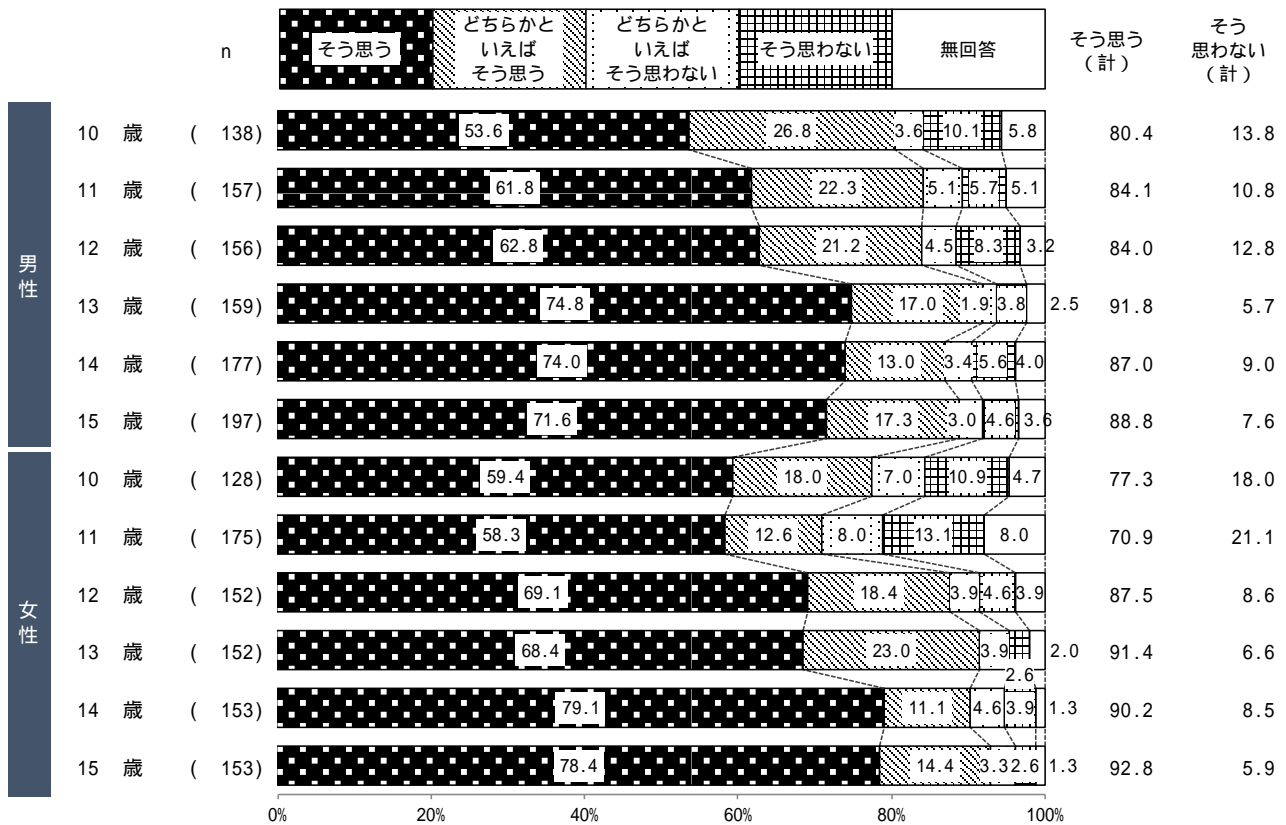
【インターネット空間】



居場所としての“自分の部屋”を性・年齢別にみると(図表2-1-3-3)、男性では、13歳以上になると「そう思う」という回答者が7割を上回る。

一方、女性では、「そう思う」という回答者は12歳(69.1%)と13歳(68.4%)で約7割となり、14歳(79.1%)と15歳(78.4%)では約8割となっている。それまでの10歳と11歳では、「そう思わない」(10歳10.9%、11歳13.1%)もしくは「どちらかといえばそう思わない」(10歳7.0%、11歳8.0%)という回答者が2割前後である。

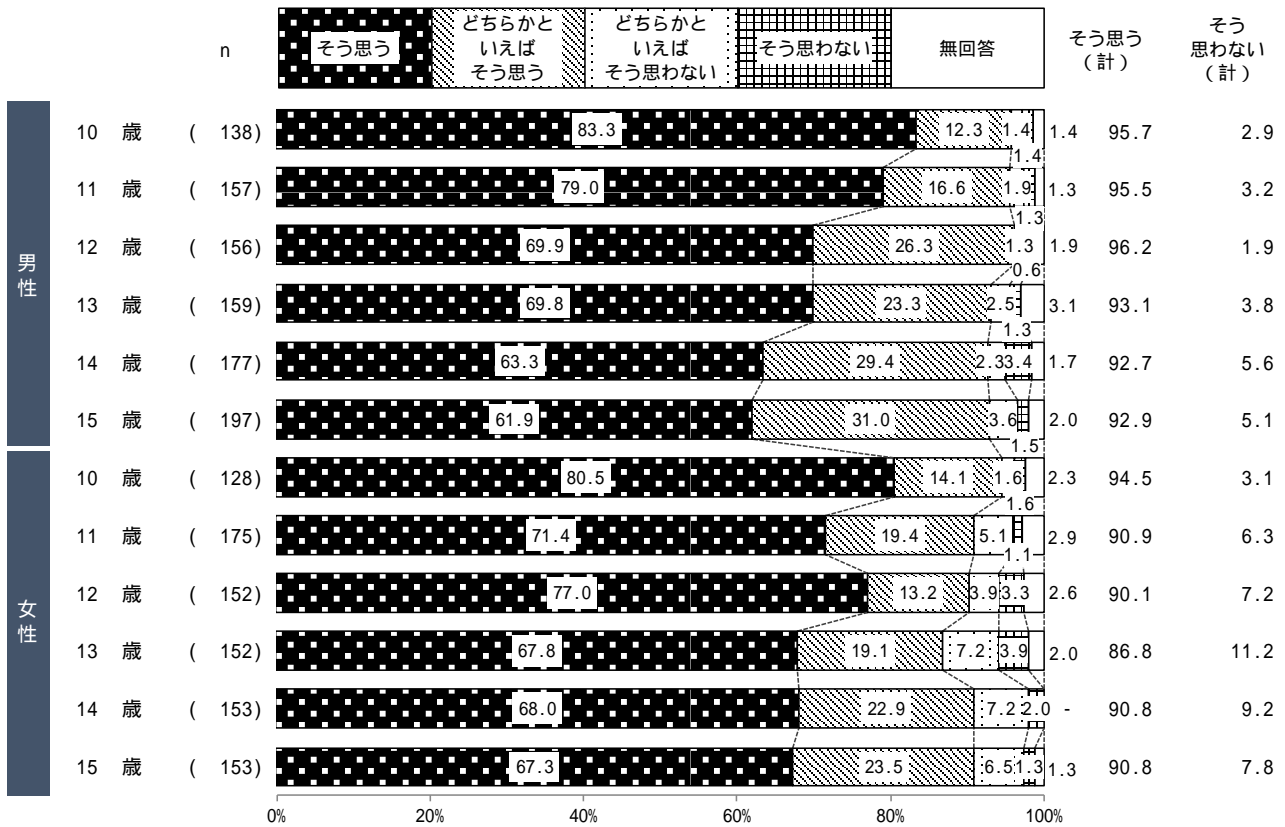
図表2-1-3-3 居場所:自分の部屋(性・年齢別)



居場所としての“家庭”を性・年齢別にみると(図表2-1-3-4) いずれの性・年齢層でも、「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した、家庭を居場所としてとらえる者が多数を占める。

「そう思う」と明確に肯定する回答者は、男性では年齢が下がるほど多く、10歳では83.3%である。一方、女性では、10歳と12歳で「そう思う」(10歳80.5%、12歳77.0%)という回答者が8割前後で、他の年齢層では7割前後となっている。

図表2-1-3-4 居場所:家庭(性・年齢別)

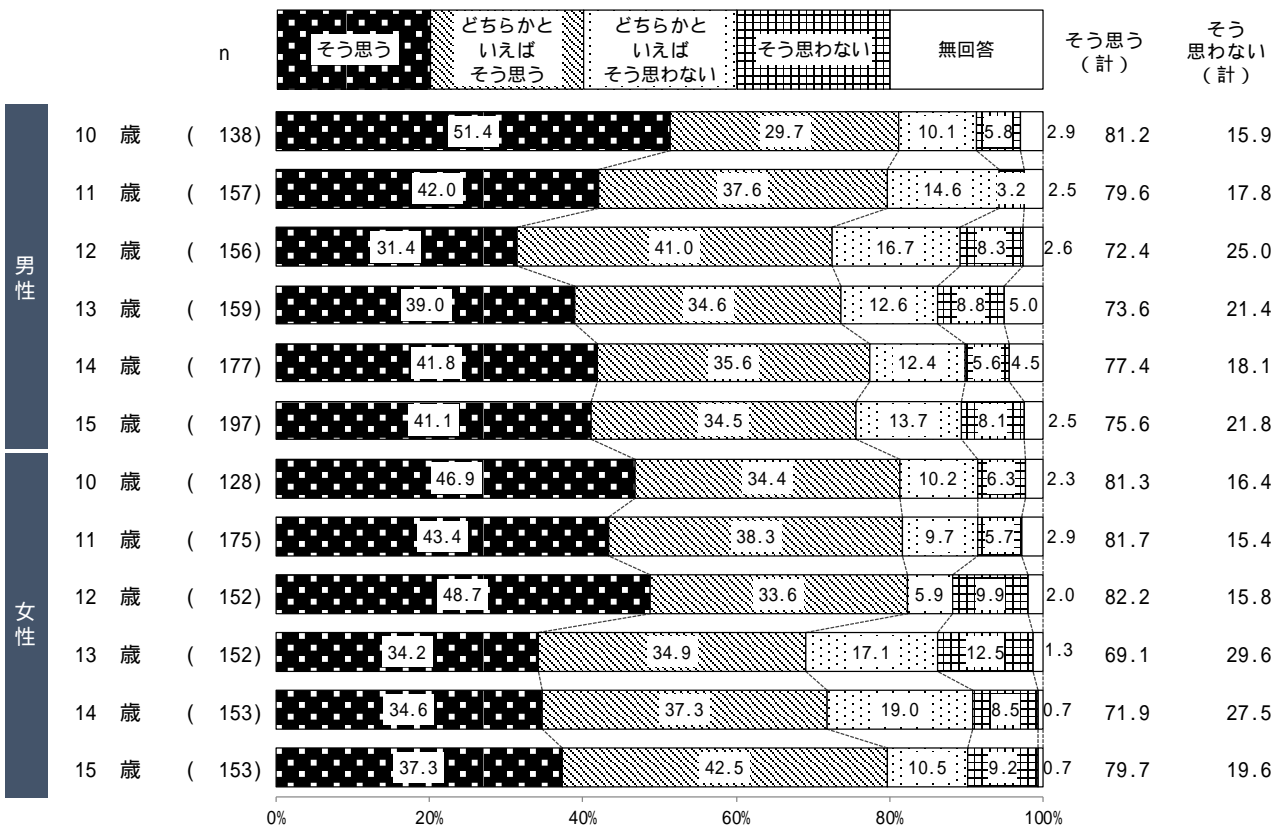


“学校”についてを性・年齢別にみると（図表2-1-3-5）いずれの性・年齢層でも「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した、学校を居場所としてとらえる回答者が約7～8割である。

その中で、「そう思う」と明確に学校を居場所としてとらえる回答者は、男性の10歳（51.4%）では過半数であるが、12歳（31.4%）で20ポイント減少し、代わって「どちらかといえばそう思う」が増加している。また、男性の12歳では4人に1人が、『そう思わない』（「そう思わない」8.3%+「どちらかといえばそう思わない」16.7%）と回答している。

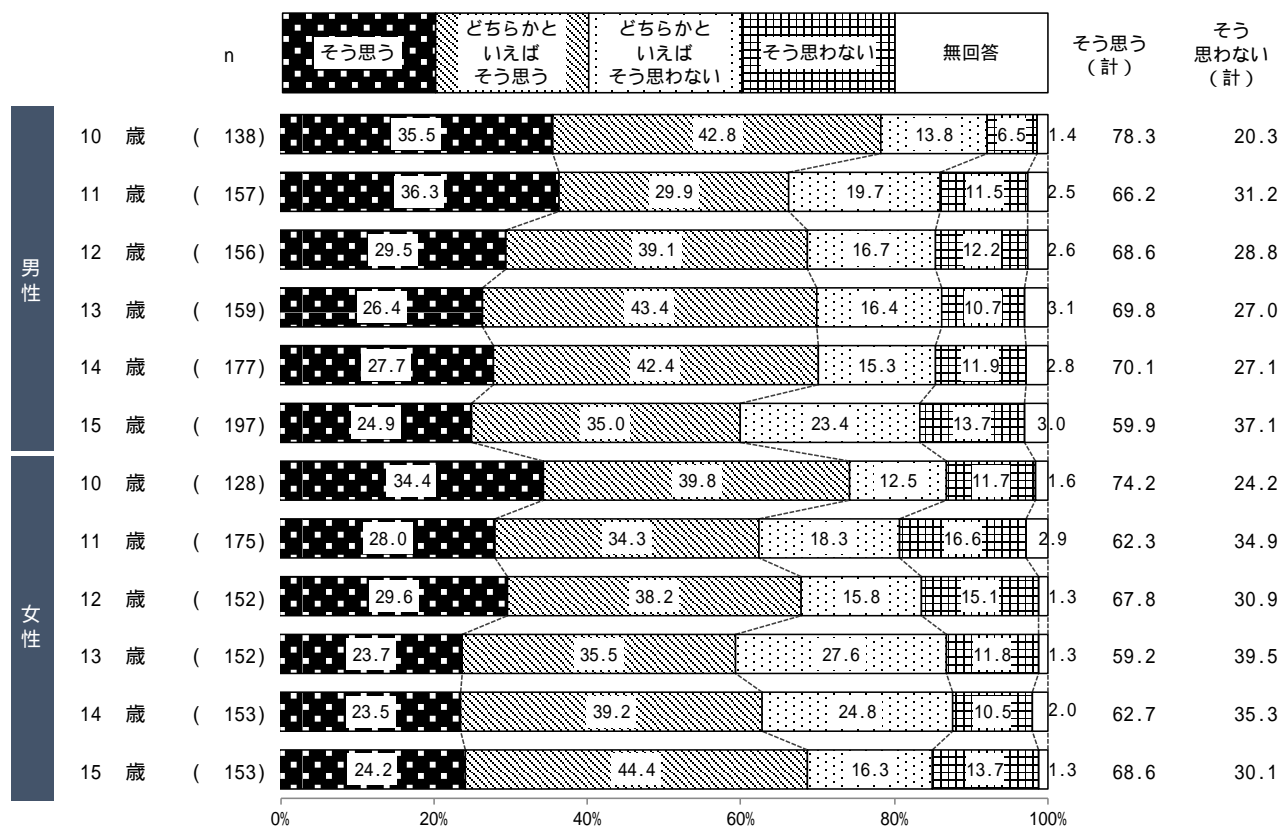
一方、女性では10歳から12歳までは「そう思う」が4割台であるが、13歳以上では3割台である。特に13歳と14歳では、「そう思わない」（13歳12.5%、14歳8.5%）もしくは「どちらかといえばそう思わない」（13歳17.1%、14歳19.0%）と回答した、学校をほっとできる、安心できる居場所とはとらえていない回答者が約3割である。

図表2-1-3-5 居場所:学校(性・年齢別)



図書館や公民館や公園など、現在住んでいる周辺やそこにある建物などの“地域”について性・年齢別にみると（図表2-1-3-6）いずれの性・年齢層でも「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した、地域を居場所としてとらえる回答者が約6～7割台であるが、男性の11歳以外は「どちらかといえばそう思う」という回答者の方が多い。

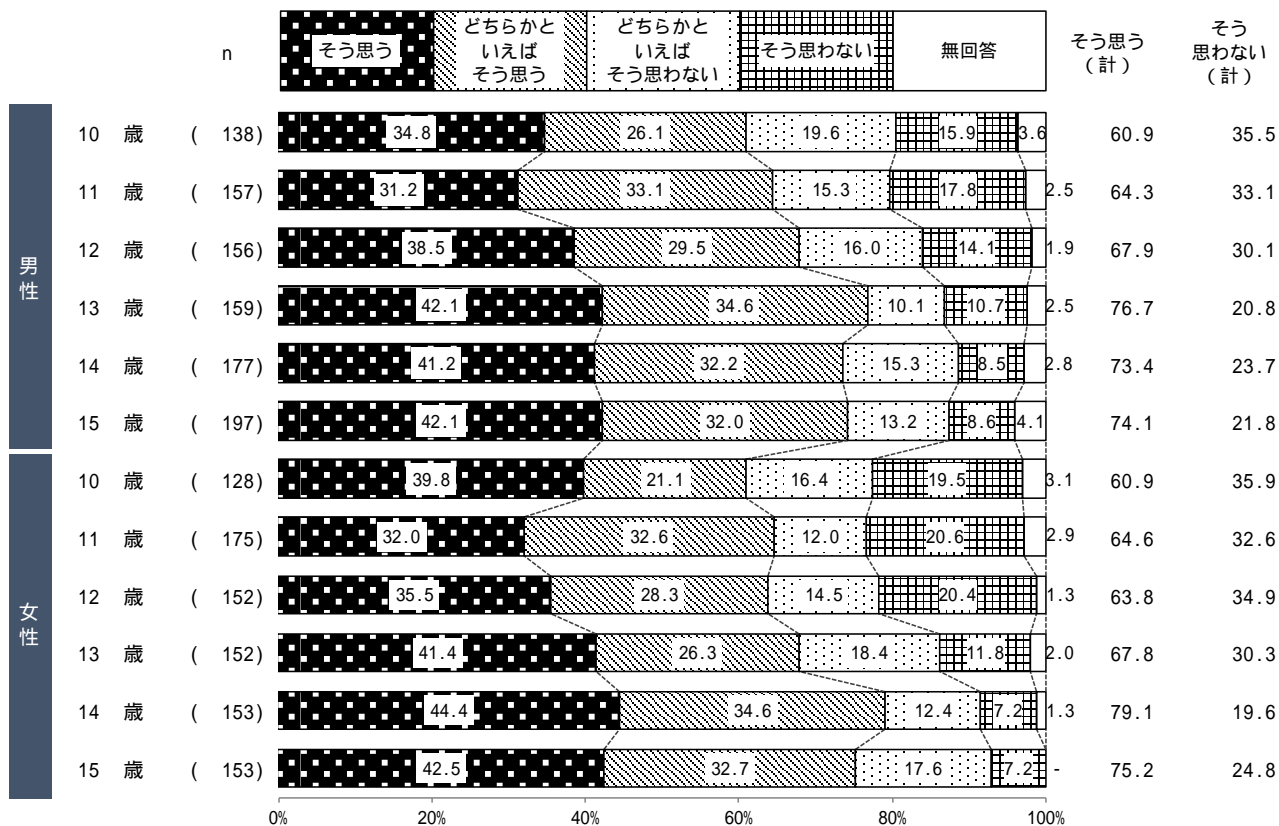
図表2-1-3-6 居場所:地域(性・年齢別)



SNS、YouTubeやオンラインゲームなどの“インターネット空間”について性・年齢別にみると(図表2-1-3-7) いずれの性・年齢層でも「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した、インターネット空間を居場所としてとらえる回答者が6～7割台である。

一方、「そう思わない」という回答者は、男女とも年齢が下がるほど高い傾向があり、女性の10歳～12歳(10歳19.5%、11歳20.6%、12歳20.4%)では2割前後である。

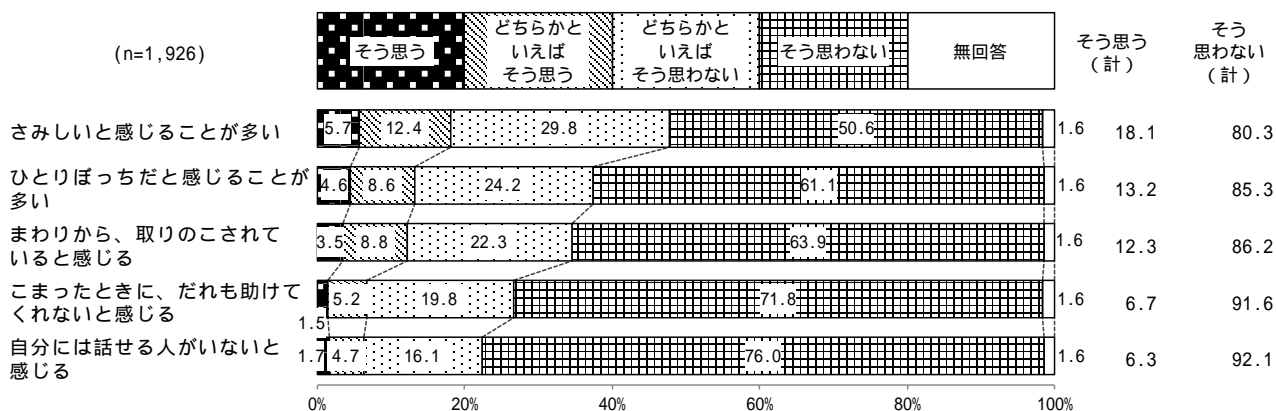
図表2-1-3-7 居場所:インターネット空間(性・年齢別)



(4) 孤独感(問4)

問4 それぞれの項目は、最近のあなたの気持ちにどのくらい近いですか。

図表2-1-4-1 孤独感



孤独感を5項目にわけて聞いた(図表2-1-4-1)

“さみしいと感じることが多い”は、「そう思う」という回答者が5.7%で、「どちらかといえばそう思う」(12.4%)を合わせると、『そう思う』(18.1%)という回答者は2割近い。

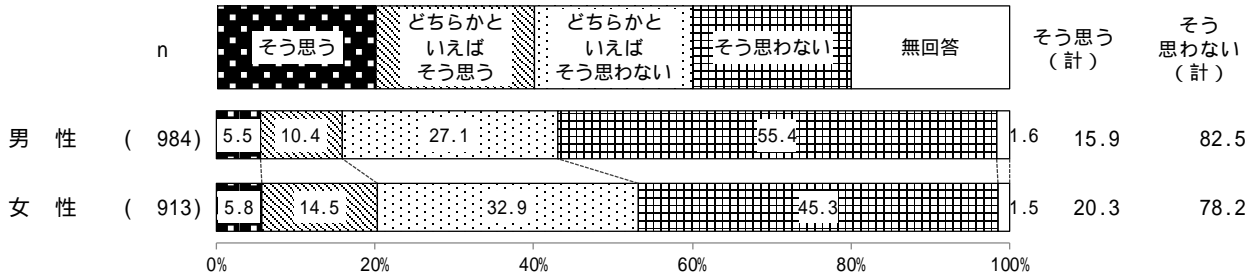
“ひとりぼっちだと感じる人が多い”と“まわりから、取りのこされていると感じる”は、ともに『そう思う』(“ひとりぼっち”13.2%、“取りのこされている”12.3%)という回答者が1割程度である。

“こまったときに、だれも助けてくれないと感じる”と“自分には話せる人がいないと感じる”について、『そう思う』(“助けてくれない”6.7%、“話せる人がいない”6.3%)という回答者はともに1割に届かず、7割以上は「そう思わない」(“助けてくれない”71.8%、“話せる人がいない”76.0%)と回答している。

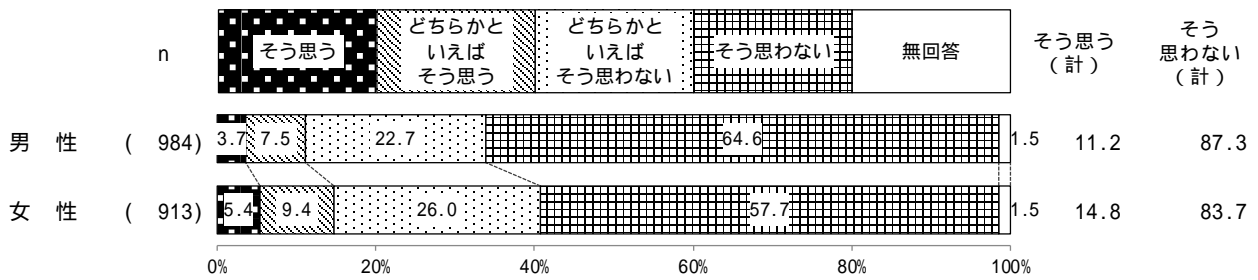
孤独感を男女別にみると（図表 2-1-4-2）、いずれの孤独感も大きな男女差はみられない。

図表 2 - 1 - 4 - 2 孤独感(男女別)

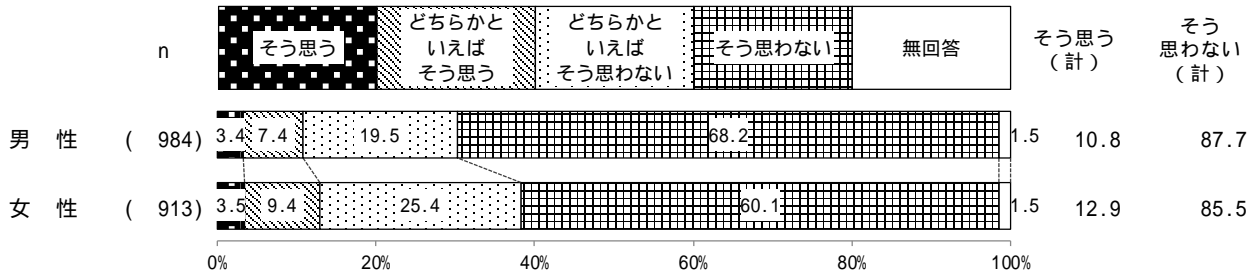
【さみしいと感じることが多い】



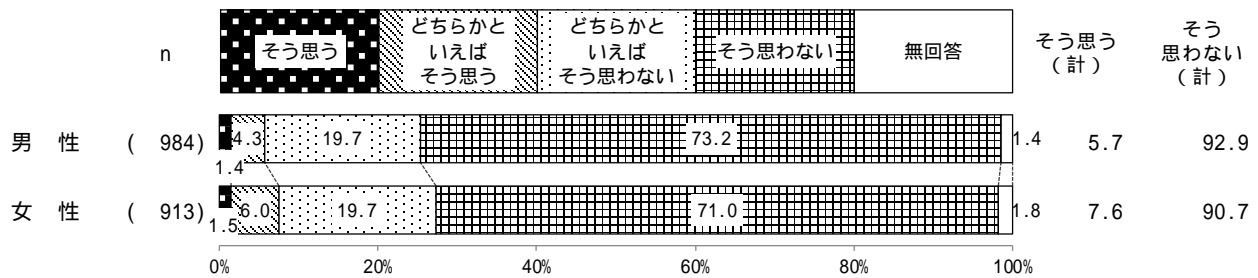
【ひとりぼっちと感じることが多い】



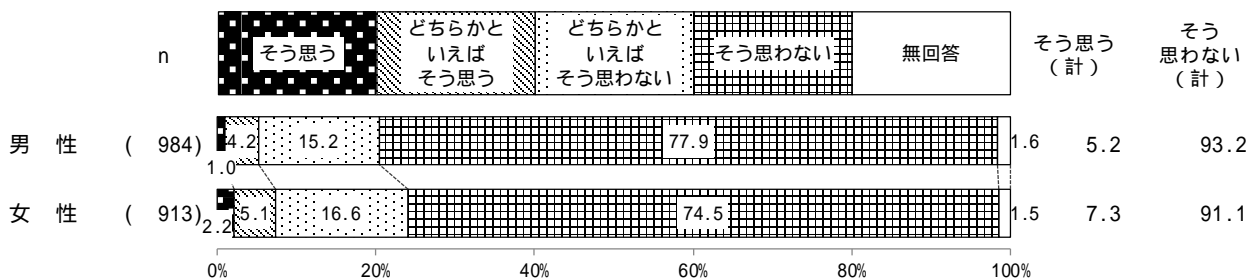
【まわりから、取りのこされていると感じる】



【こまったときに、だれも助けてくれないと感じる】

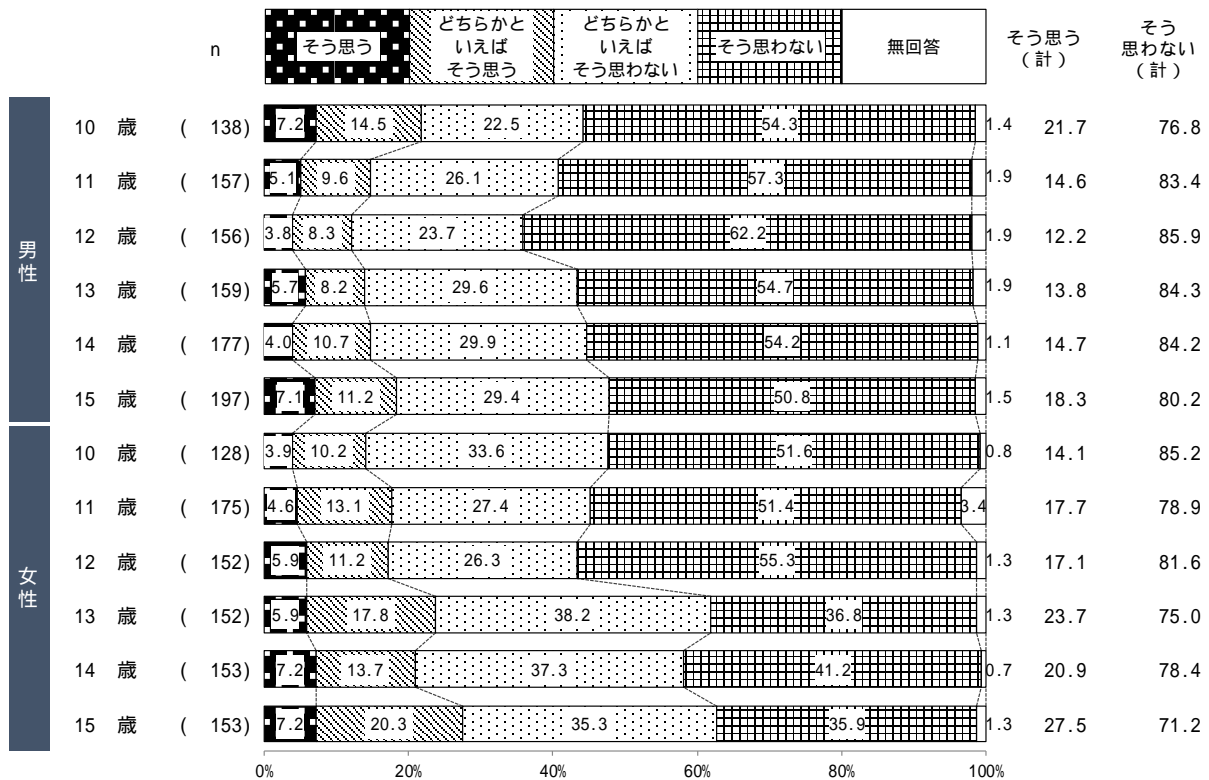


【自分には話せる人がいないと感じる】



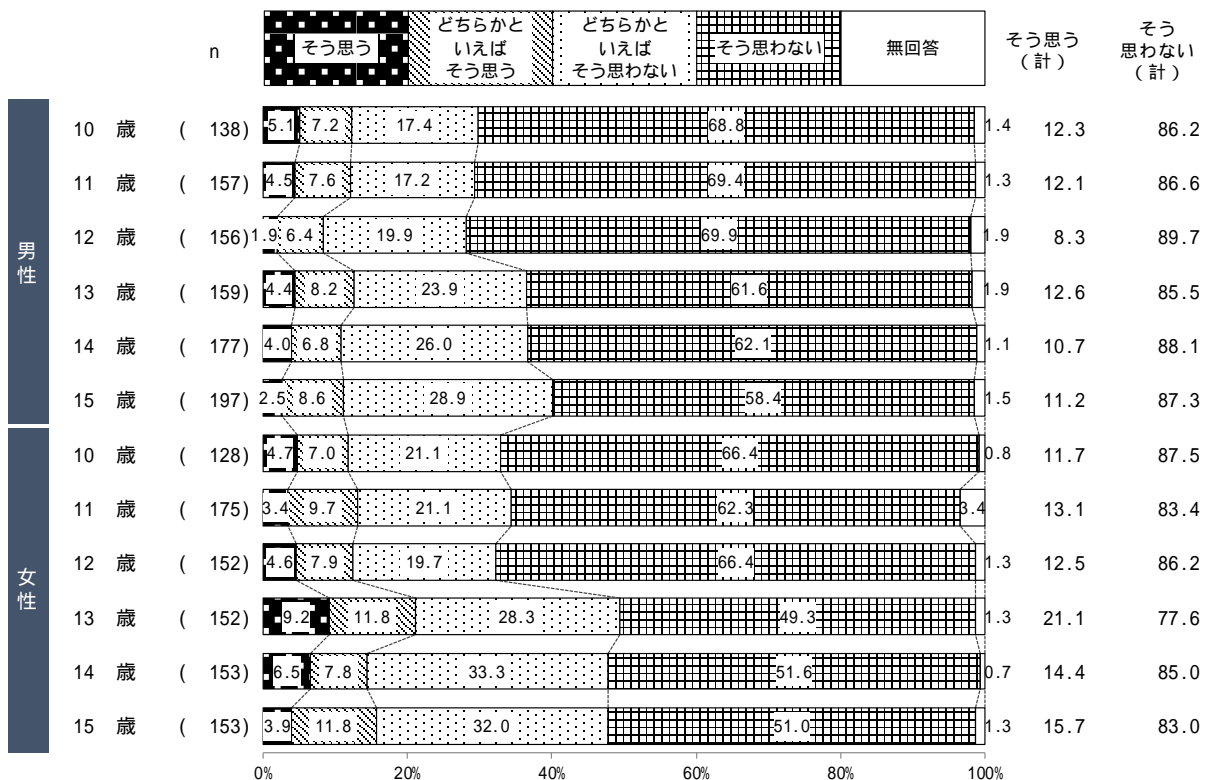
“さみしいと感じることが多い”について性・年齢別にみると(図表2-1-4-3) 女性の15歳で3割近くが、『そう思う』(「そう思う」7.2% + 「どちらかといえばそう思う」20.3%)と回答している。

図表2-1-4-3 孤独感:さみしいと感じることが多い(性・年齢別)



“ひとりぼっちだと感じる人が多い”を性・年齢別にみると(図表2-1-4-4) 女性の13歳で、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者が21.1%と、他の性・年齢層より高い。

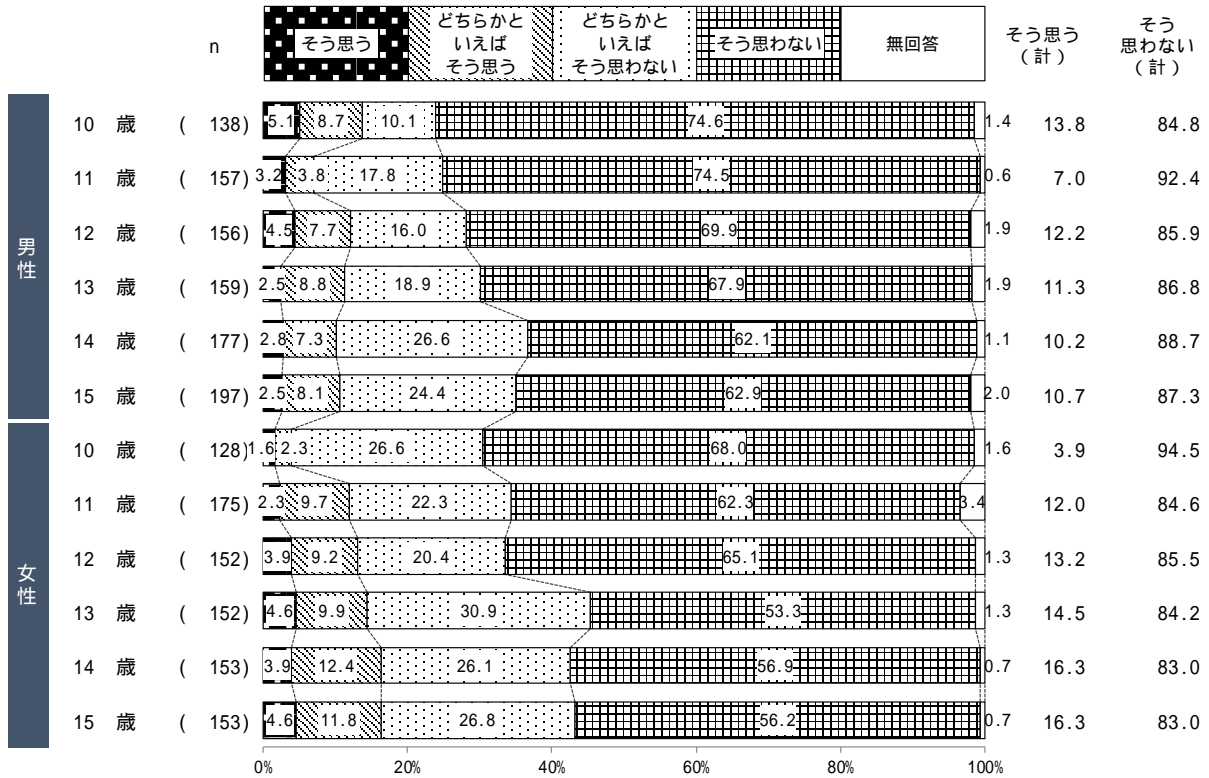
図表2-1-4-4 孤独感:ひとりぼっちだと感じる人が多い(性・年齢別)



“まわりから、取りのこされていると感じる”を性・年齢別にみると(図表2-1-4-5) 男性では『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者は、いずれの年齢でも1割前後である。

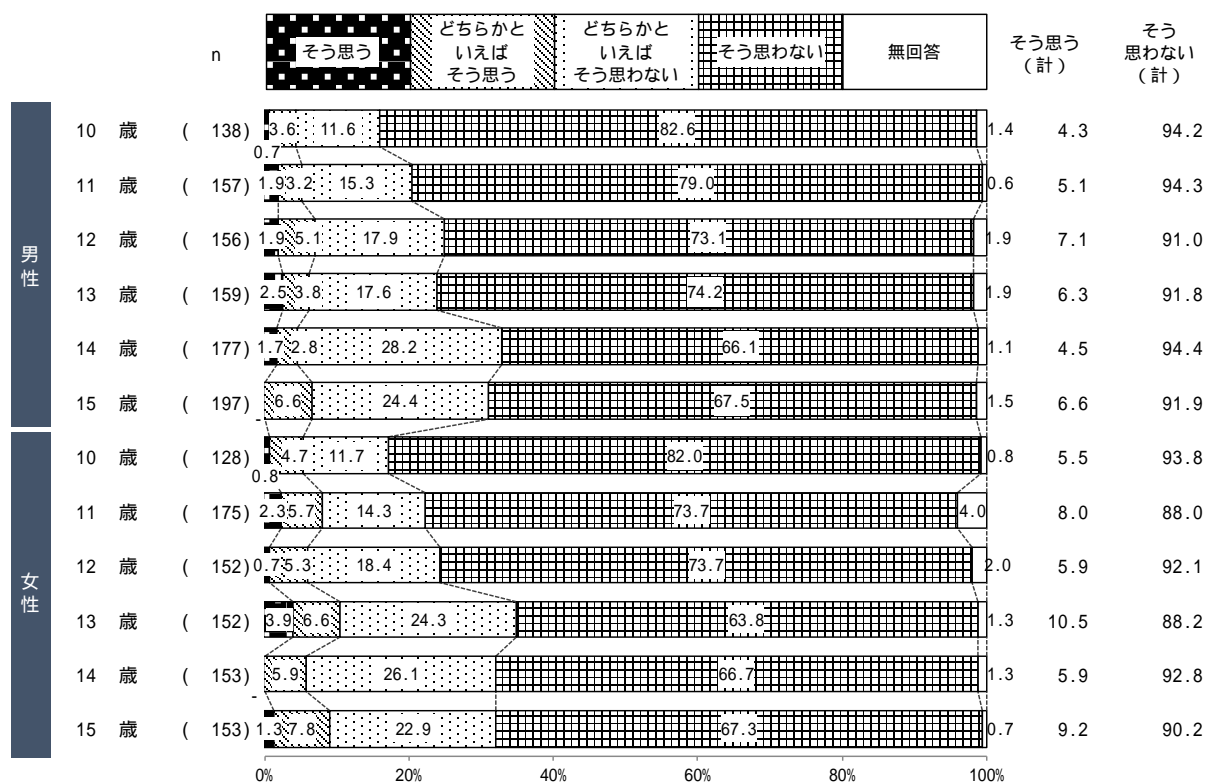
一方、女性の10歳では『そう思う』という回答者は3.9%であるが、11歳以上になると1割台となり、年齢が上がるほど高くなる。

図表2 - 1 - 4 - 5 孤独感:まわりから、取りのこされていると感じる(性・年齢別)



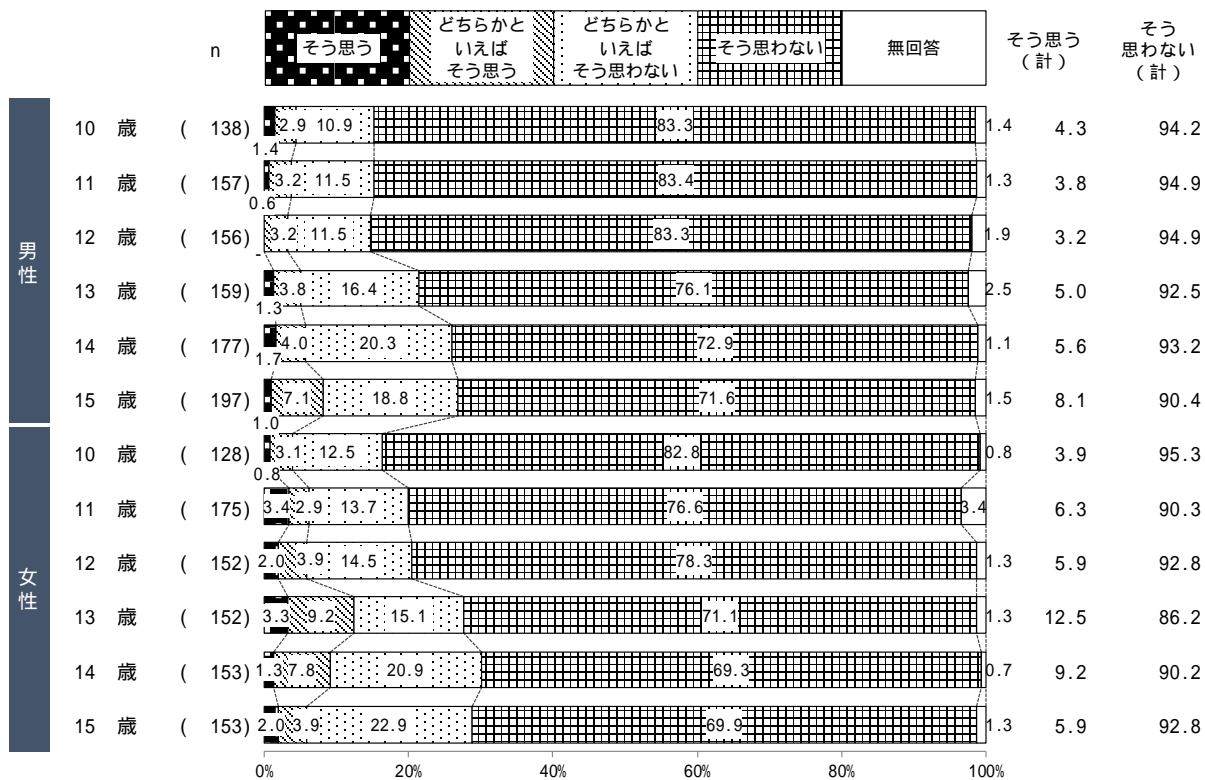
“こまったときに、だれも助けてくれないと感じる”を性・年齢別にみると(図表2-1-4-6)性・年齢による大きな差はみられないが、男女とも年齢が下がるほど「そう思わない」という回答者の割合が高い傾向があり、10歳(男性82.6%、女性82.0%)では8割を上回っている。

図表2-1-4-6 孤独感:こまったときに、だれも助けてくれないと感じる(性・年齢別)



“自分には話せる人がいないと感じる”を性・年齢別にみると(図表2-1-4-7)、女性の13歳で『そう思う』(「そう思う」3.3%+「どちらかといえばそう思う」9.2%)という回答者が、他の性・年齢層よりやや高い。

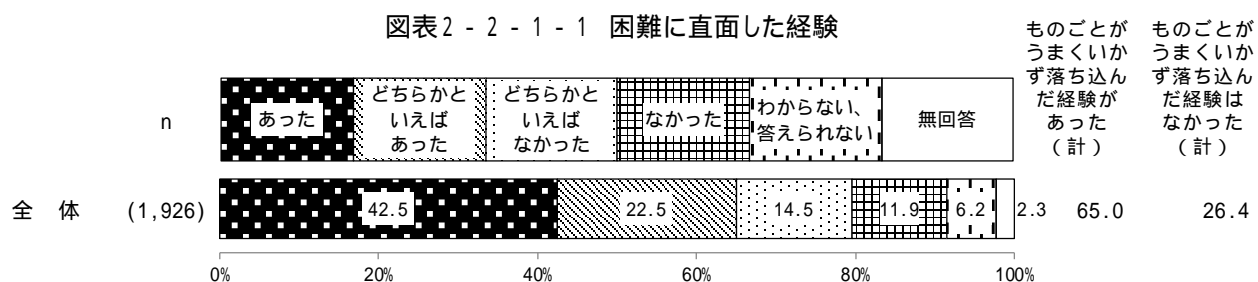
図表2 - 1 - 4 - 7 孤独感:自分には話せる人がいないと感じる(性・年齢別)



2. 子供・若者が抱える困難

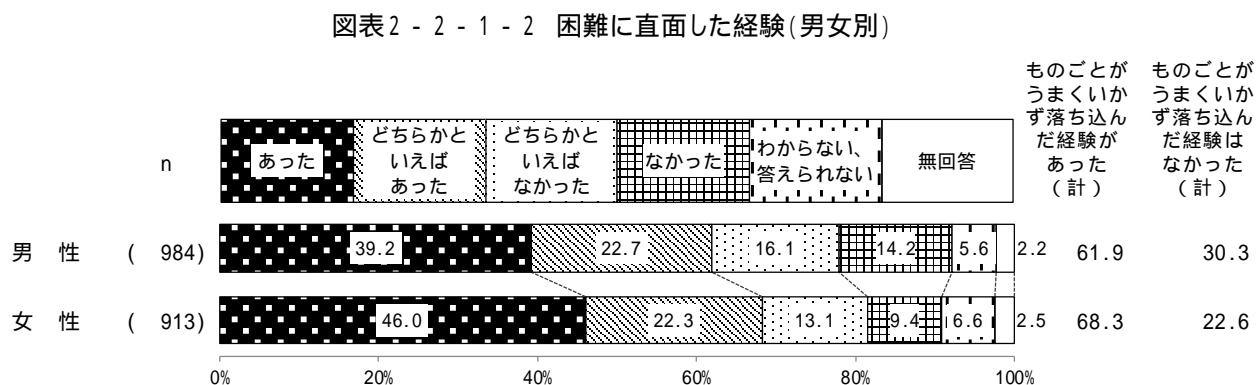
(1) 困難に直面した経験(問5)

問5 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)



今までに、ものごとがうまくいかず落ち込むような困難に直面した経験が「あった」という回答者は42.5%で、「どちらかといえばあった」(22.5%)を合わせると、6割以上が落ち込んだ経験が『あった』(65.0%)と回答している(図表2-2-1-1)。

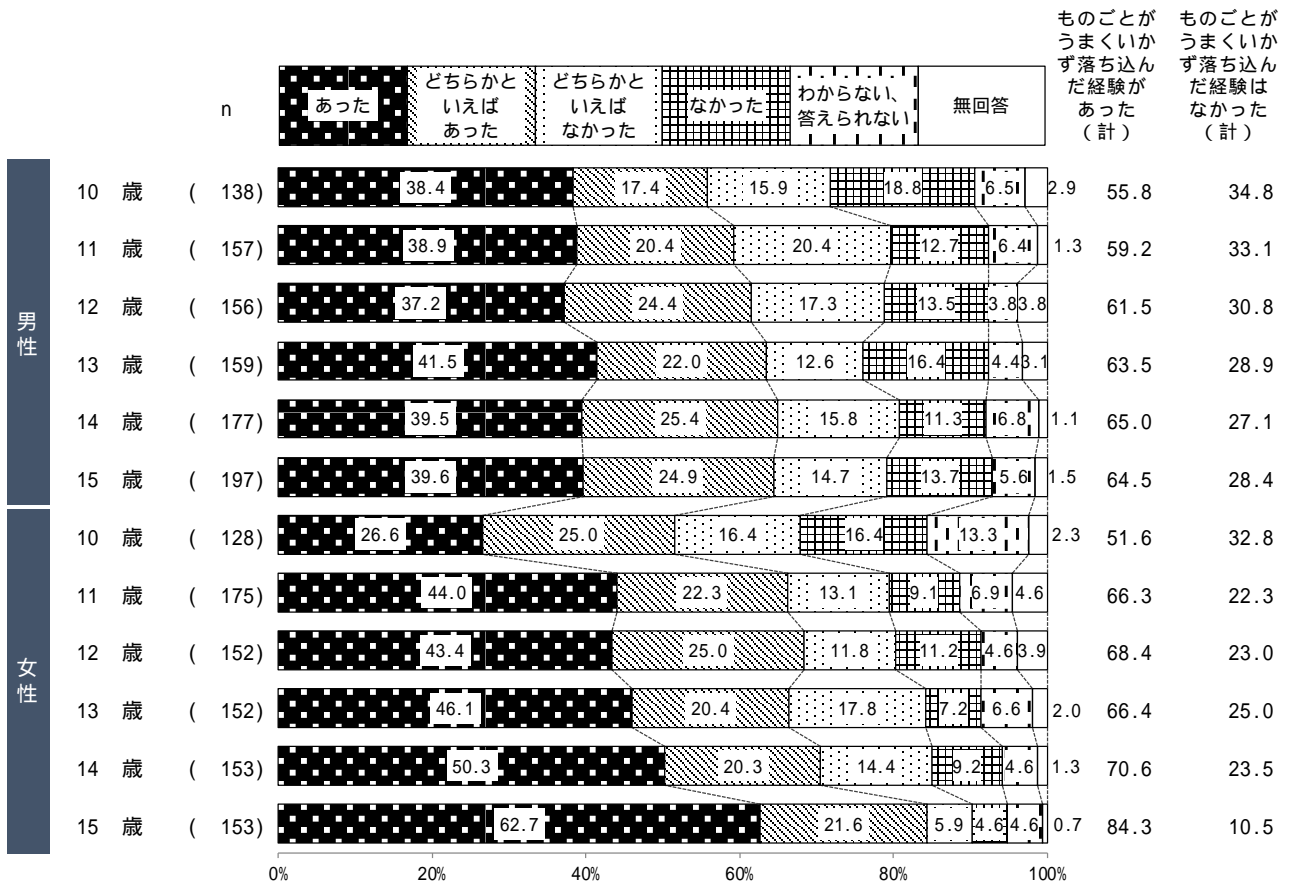
男女別にみると(図表2-2-1-2) 困難に直面した経験が「あった」(男性39.2%、女性46.0%)という回答者は、女性が男性を7ポイント上回っている。



性・年齢別にみると(図表2-2-1-3) 困難に直面した経験が「あった」という回答者の割合は、女性では年齢が上がるほど高い傾向があり、15歳では62.7%と、10歳(26.6%)を36ポイント上回っている。

一方、男性では、困難に直面した経験が「あった」という回答者の割合に、大きな年齢差はみられない。

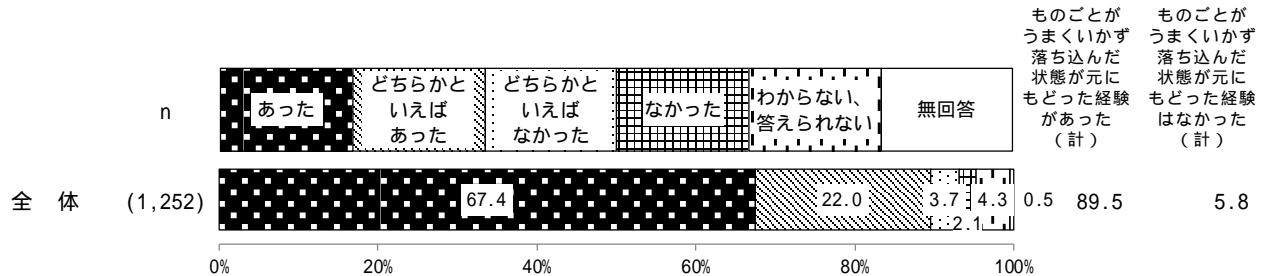
図表2-2-1-3 困難に直面した経験(性・年齢別)



(2) 困難を改善できた経験 (問6)

【問5で、「1 あった」または「2 どちらかといえばあった」と答えた人にお聞きします。】
 問6 あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態が元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。(1つだけ)

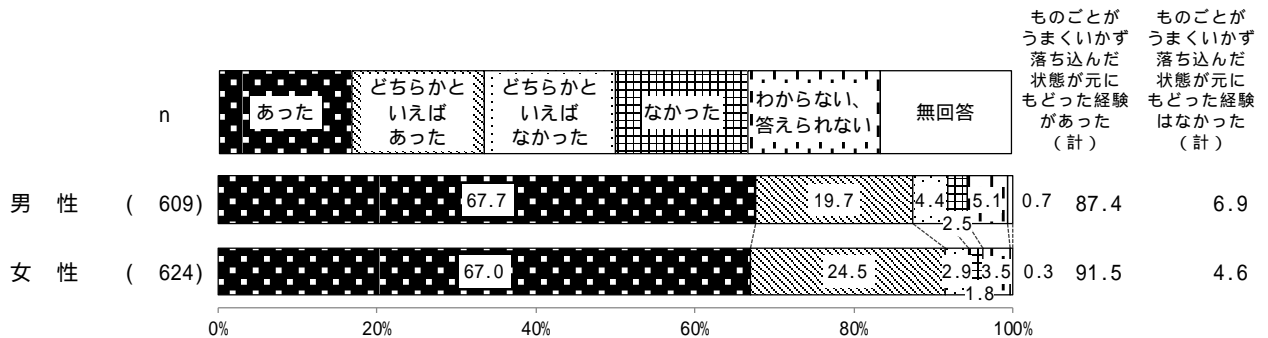
図表2-2-2-1 困難を改善できた経験



今までに困難に直面した経験があった回答者(1,252人)に、その状態が元にもどり困難を改善出来た経験の有無を聞いたところ(図表2-2-2-1)、67.4%は「あった」と回答し、「どちらかといえばあった」を合わせると、9割の回答者は改善できている。

男女別にみると(図表2-2-2-2)、困難を改善できた経験の有無に大きな男女差はみられない。

図表2-2-2-2 困難を改善できた経験(男女別)

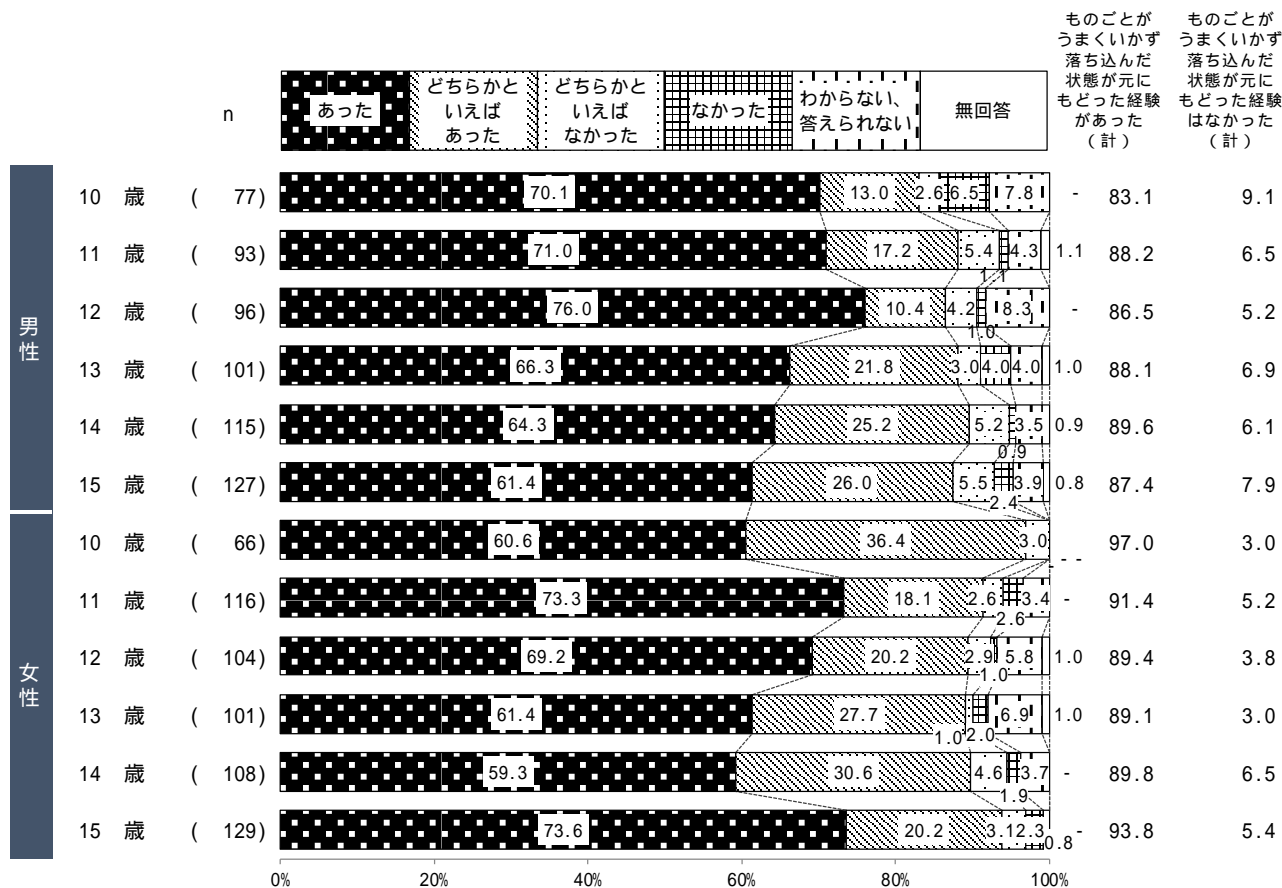


性・年齢別にみると（図表 2-2-2-3）男性の 12 歳で、改善できた経験が「あった」という回答者が 76.0%と高く、10 歳（70.1%）と 11 歳（71.0%）でも約 7 割である。

一方、女性では、11 歳（73.3%）と 15 歳（73.6%）で改善できた経験が「あった」という回答者が 7 割である。

「どちらかといえばあった」を合わせると、いずれの性・年齢層でも改善できた回答者が 8 割を上回っている。

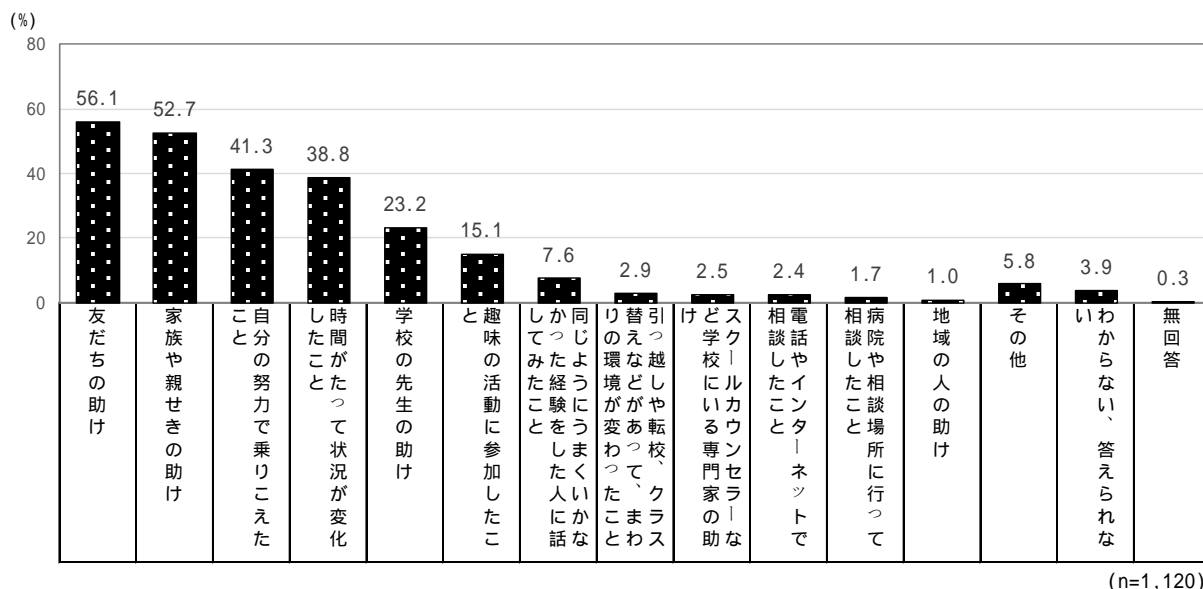
図表 2 - 2 - 2 - 3 困難を改善できた経験（性・年齢別）



(3) 困難を改善できた経験のきっかけ(問7)

【問6で、「1 あった」または「2 どちらかといえばあった」と答えた人にお聞きします。】
 問7 落ち込んだ状態が元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。
 (いくつでも)

図表2-2-3-1 困難を改善できた経験のきっかけ



今までに困難を改善できた経験があった回答者(1,120人)に、改善できたきっかけを複数回答で聞いたところ(図表2-2-3-1)「友だちの助け」が56.1%で第1位にあげられ、以下「家族や親せきの助け」(52.7%)、「自分の努力で乗りこえたこと」(41.3%)、「時間がたって状況が変化したこと」(38.8%)の順となっている。

男女別にみると(図表2-2-3-2)「友だちの助け」(男性53.2%、女性59.4%)は、女性が男性を6ポイント上回っている。

図表2-2-3-2 困難を改善できた経験のきっかけ(男女別)

| | n | 友だちの助け | 家族や親せきの助け | 自分の努力で乗りこえたこと | 時間がたって状況が変化したこと | 学校の先生の助け | と趣味の活動に参加したこと | してみた経験をした人にか話 | 同じような環境が変ったこと | 替えなどや転校、クラス | 引越した経験をしたこと | スクールカウンセラーの | 相談したこと | 病院や相談場所に行つて | 地域の人の助け | その他 | わからない、答えられない | 無回答 |
|----|-------|--------|-----------|---------------|-----------------|----------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|--------|-------------|---------|-----|--------------|-----|
| 男性 | (532) | 53.2 | 50.4 | 41.0 | 36.1 | 25.0 | 14.1 | 5.6 | 2.1 | 2.3 | 2.1 | 1.9 | 1.7 | 5.5 | 4.1 | 0.2 | | |
| 女性 | (571) | 59.4 | 55.3 | 41.7 | 41.5 | 21.4 | 15.6 | 9.5 | 3.7 | 2.6 | 2.8 | 1.6 | 0.4 | 6.3 | 3.5 | 0.4 | | |

性・年齢別にみると(図表2-2-3-3) 男性では、10歳で「学校の先生の助け」(39.1%)が第3位と、他の性・年齢層よりも上位に入っている。また、13歳で、全体では第3位であった「自分の努力で乗り越えたこと」(51.7%)が第1位にあげられている。

一方、女性では、10歳と11歳で「家族や親せきの助け」(10歳67.2%、11歳51.9%)が第1位である。

図表2-2-3-3 困難を改善できた経験のきっかけ(性・年齢別)

(%)

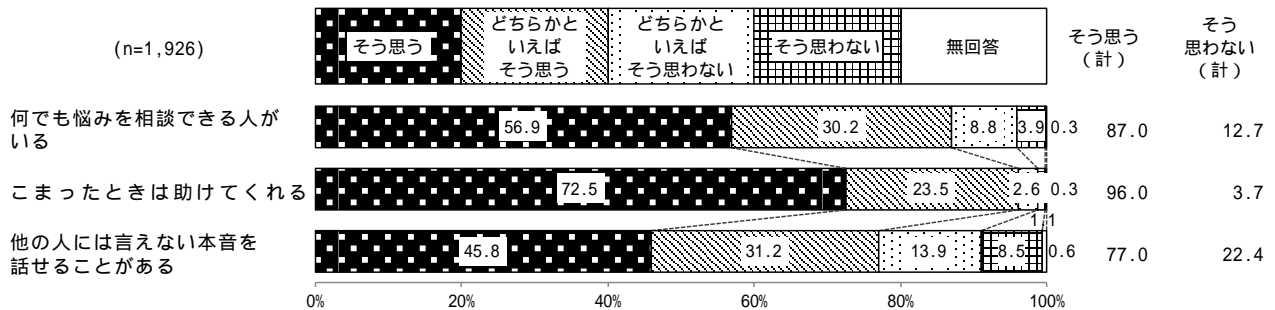
| | n | 友だちの助け | 家族や親せきの助け | 自分の努力で乗り越えたこと | 時間がたつて状況が変化 | 学校の先生の助け | と趣味の活動に参加したこ | かしてみた経験をした人に話 | 同じようにうまくいったこと | り環境が変わったこと | 引越したり転校、クラス | けどスクールカウンセラーの助 | 相談したこと | 電話やインターネットで | 相談したこと | 病院や相談場所に行つて | 地域の人の助け | その他 | 答えられない、 | 無回答 |
|-----------|-----------|--------|-----------|---------------|-------------|----------|--------------|---------------|---------------|------------|-------------|----------------|--------|-------------|--------|-------------|---------|-----|---------|-----|
| 男性 | 10歳 (64) | 53.1 | 67.2 | 32.8 | 25.0 | 39.1 | 6.3 | 3.1 | - | 1.6 | - | 4.7 | 4.7 | 1.6 | 1.6 | - | - | - | - | |
| | 11歳 (82) | 56.1 | 57.3 | 41.5 | 37.8 | 26.8 | 13.4 | 8.5 | 1.2 | 4.9 | - | - | - | 7.3 | 6.1 | - | - | - | - | |
| | 12歳 (83) | 60.2 | 50.6 | 34.9 | 33.7 | 24.1 | 7.2 | 6.0 | 1.2 | - | 3.6 | 2.4 | 2.4 | 8.4 | 1.2 | - | - | - | - | |
| | 13歳 (89) | 43.8 | 43.8 | 51.7 | 34.8 | 18.0 | 14.6 | 5.6 | 3.4 | 2.2 | 4.5 | 2.2 | 1.1 | 3.4 | 5.6 | 1.1 | - | - | - | |
| | 14歳 (103) | 44.7 | 45.6 | 37.9 | 33.0 | 28.2 | 18.4 | 1.9 | 2.9 | 2.9 | 1.0 | - | 1.0 | 7.8 | 6.8 | - | - | - | - | |
| 15歳 (111) | 61.3 | 45.0 | 44.1 | 46.8 | 18.9 | 19.8 | 8.1 | 2.7 | 1.8 | 2.7 | 2.7 | 1.8 | 3.6 | 2.7 | - | - | - | - | - | |
| 女性 | 10歳 (64) | 59.4 | 67.2 | 34.4 | 34.4 | 20.3 | 20.3 | 10.9 | 3.1 | 3.1 | - | 3.1 | - | 7.8 | 6.3 | - | - | - | - | |
| | 11歳 (106) | 50.0 | 51.9 | 35.8 | 40.6 | 16.0 | 7.5 | 5.7 | 2.8 | 0.9 | - | 0.9 | - | 7.5 | 3.8 | - | - | - | - | |
| | 12歳 (93) | 57.0 | 51.6 | 47.3 | 37.6 | 28.0 | 10.8 | 3.2 | 2.2 | 3.2 | 2.2 | 1.1 | - | 8.6 | 3.2 | - | - | - | - | |
| | 13歳 (90) | 64.4 | 53.3 | 41.1 | 38.9 | 16.7 | 18.9 | 15.6 | 3.3 | 2.2 | 5.6 | 1.1 | - | 4.4 | 3.3 | - | - | - | - | |
| | 14歳 (97) | 58.8 | 53.6 | 40.2 | 42.3 | 18.6 | 18.6 | 11.3 | 6.2 | 2.1 | 4.1 | 2.1 | 1.0 | 5.2 | 2.1 | 2.1 | - | - | - | |
| 15歳 (121) | 66.1 | 57.9 | 47.9 | 50.4 | 27.3 | 19.0 | 10.7 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 1.7 | 0.8 | 5.0 | 3.3 | - | - | - | - | | |

3. 他者との関わり方

(1) 家族・親族との関わり方(問8)

問8 家族・親せきとあなたのかかわりは、どのようなものですか。

図表2-3-1-1 家族・親族との関わり方



他者との関わり方として、家族・親族との関わり方を聞いた(図表2-3-1-1)

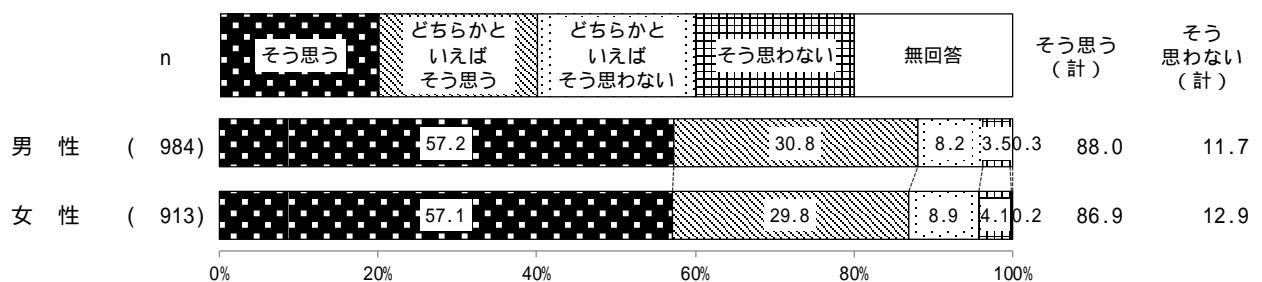
「そう思う」という回答者が最も多いのは、「こまったときは助けてくれる」の72.5%で、次いで「何でも悩みを相談できる人がいる」が56.9%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が45.8%である。

「他の人には言えない本音を話せることがある」については、2割以上が『そう思わない』(「そう思わない」8.5%+「どちらかといえばそう思わない」13.9%)と回答している。

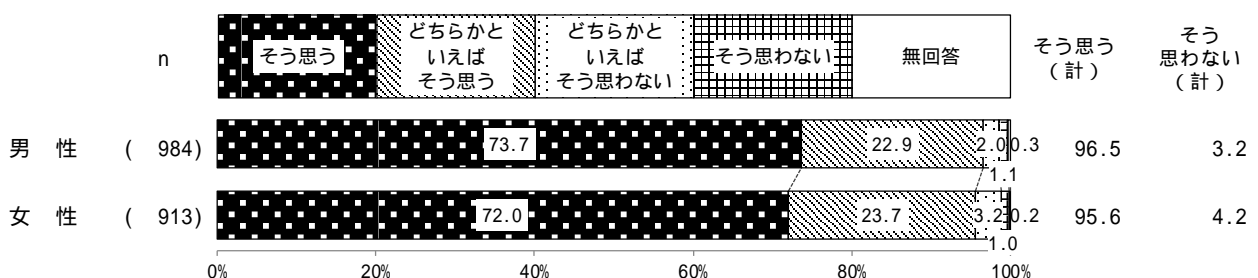
家族・親族との関わり方を男女別にみると(図表2-3-1-2) いずれの関わり方も大きな男女差はみられない。

図表2-3-1-2 家族・親族との関わり方(男女別)

【何でも悩みを相談できる人がいる】

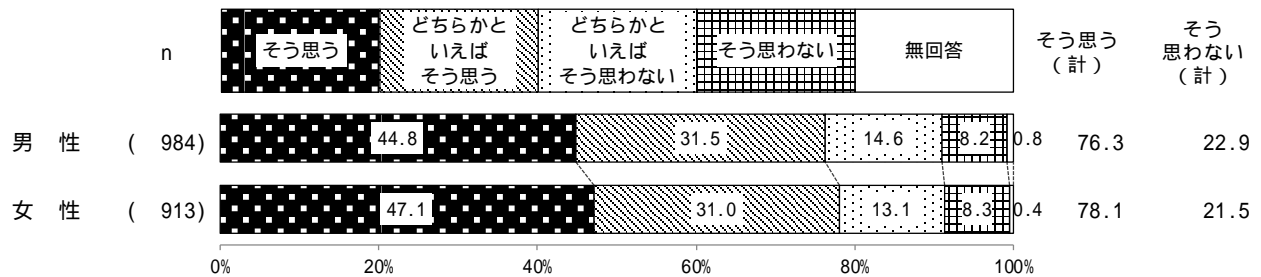


【こまったときは助けてくれる】



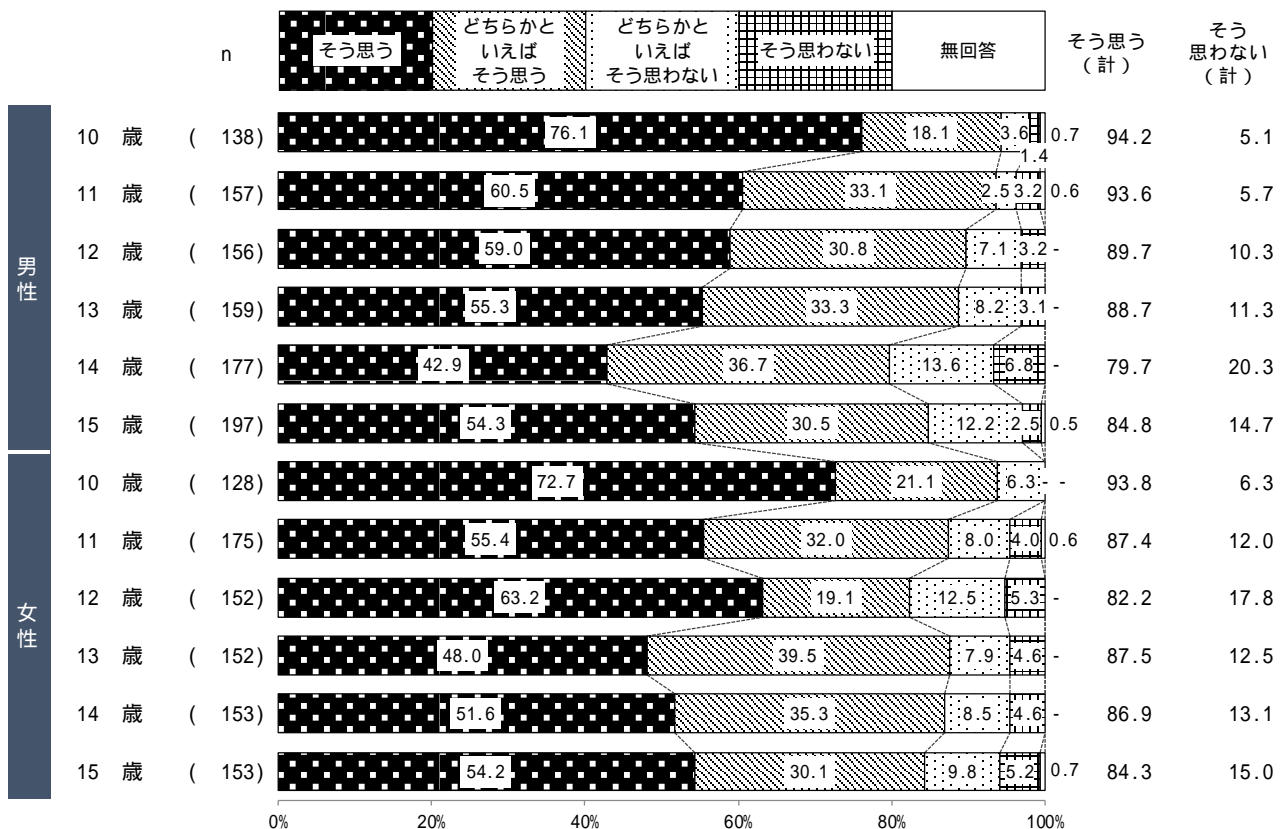
図表2 - 3 - 1 - 2 家族・親族との関わり方(男女別)・つづき

【他の人には言えない本音を話せることがある】



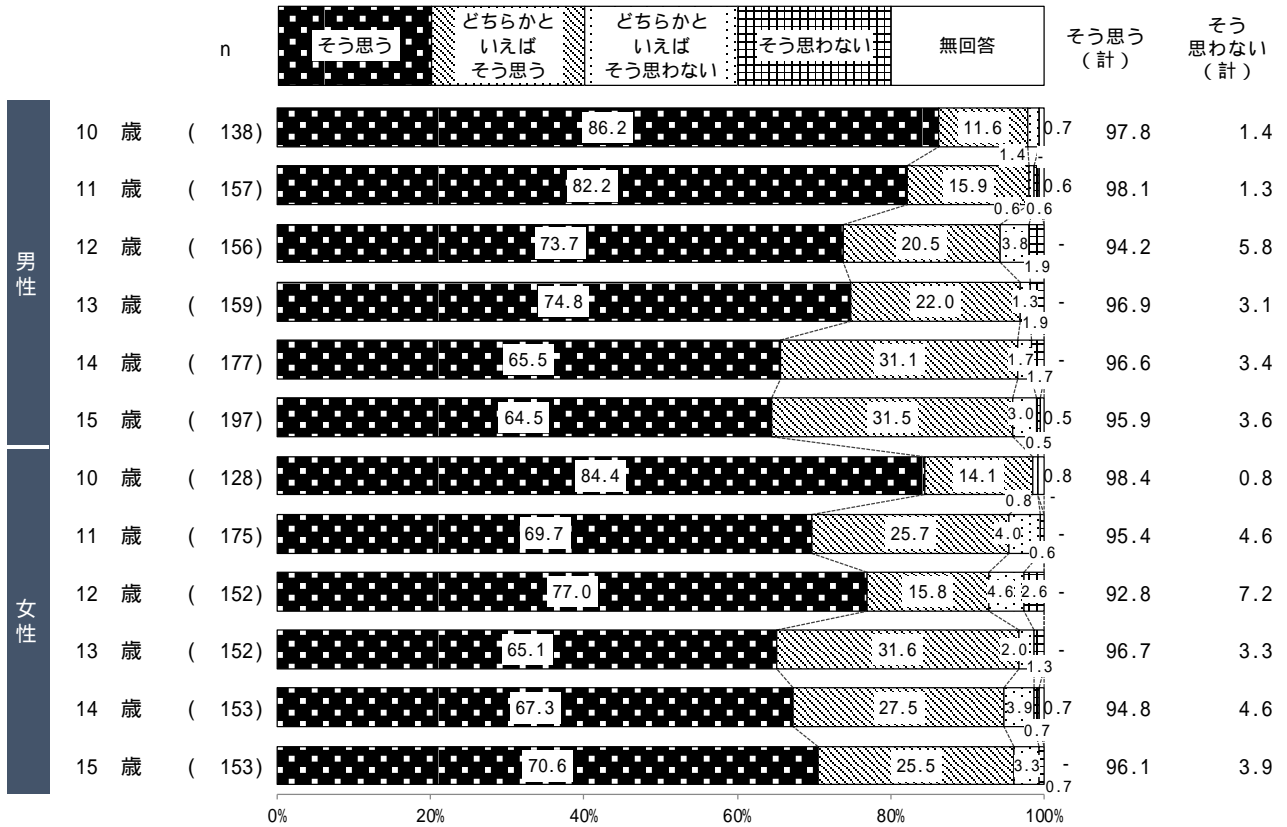
家族・親族との関わり方としての“何でも悩みを相談できる人がいる”を性・年齢別にみると(図表2-3-1-3) 男性では14歳までは年齢が上がるほど、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)という回答者の割合が高く、14歳では20.3%であるが、15歳では14.7%に減少し、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者(84.8%)の割合が、男性の14歳(79.7%)より高い。

図表2 - 3 - 1 - 3 家族・親族との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性・年齢別)



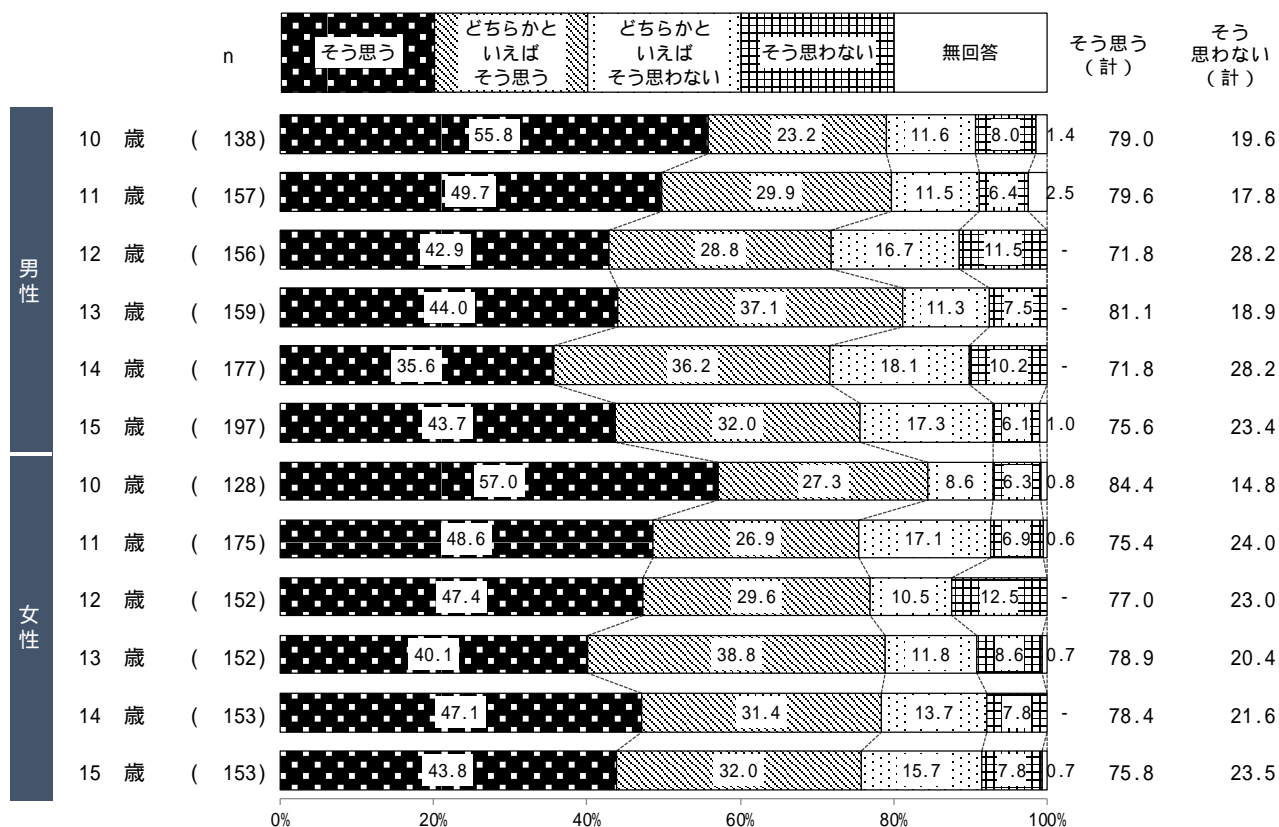
“こまったときは助けてくれる”を性・年齢別にみると(図表2-3-1-4)、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」という回答者の割合は、いずれの性・年齢層でも9割を上回っている。「そう思う」と明確に肯定する回答者は、男性では低年齢層ほど高い傾向がみられる。女性の10歳(84.4%)でも、8割を上回っている。

図表2-3-1-4 家族・親族との関わり方:こまったときは助けてくれる(性・年齢別)



“他の人には言えない本音を話せることがある”を性・年齢別にみると(図表2-3-1-5) いずれの性・年齢層でも『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者の割合が7割を上回り、そのうち「そう思う」の割合は低年齢層に高い傾向がある。

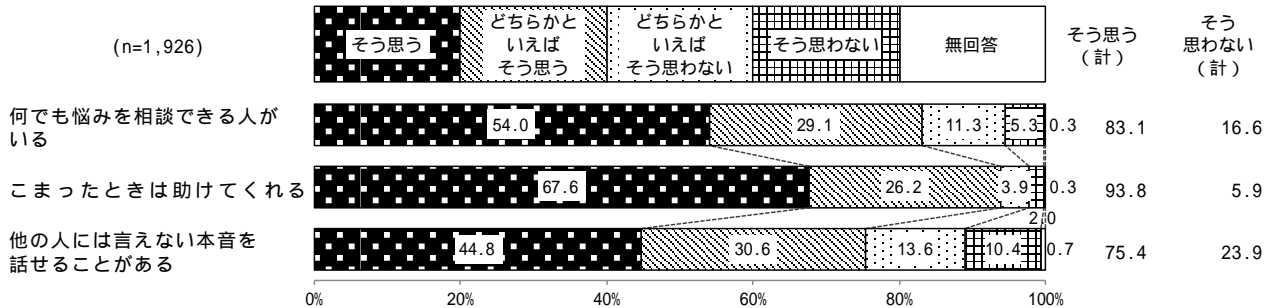
図表2 - 3 - 1 - 5 家族・親族との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある(性・年齢別)



(2) 学校で出会った友人との関わり方 (問9)

問9 学校で出会った友だち(現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

図表2-3-2-1 学校で出会った友人との関わり方

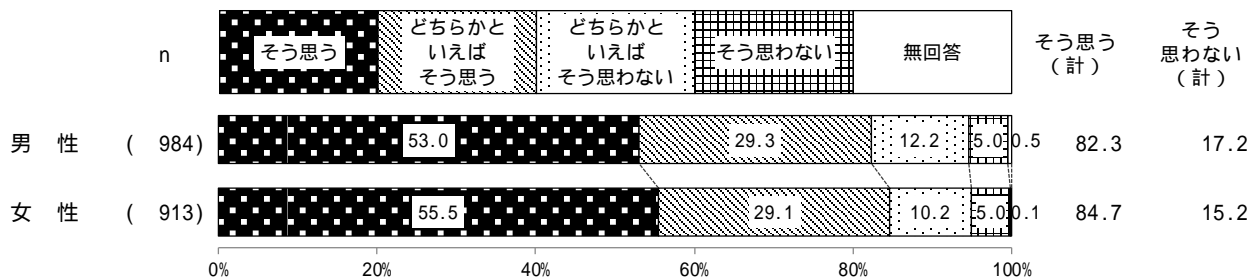


現在通っている学校やこれまでに通っていた学校の友だちなど、学校で出会った友人との関わり方としては、“こまったときは助けてくれる”について「そう思う」という回答者が67.6%で最も多く、“何でも悩みを相談できる人がいる”は54.0%、“他の人には言えない本音を話せることがある”が44.8%である(図表2-3-2-1)。

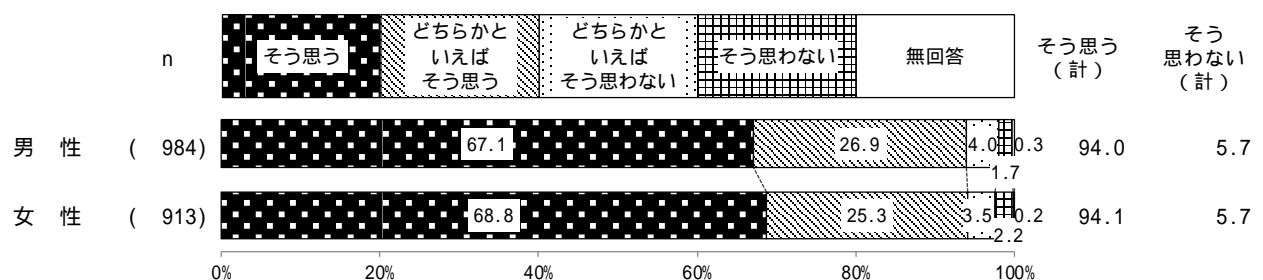
友人との関わり方を男女別にみると(図表2-3-2-2)“他の人には言えない本音を話せることがある”について「そう思う」という回答者の割合は、女性(47.4%)が男性(42.7%)よりやや高い。

図表2-3-2-2 学校で出会った友人との関わり方(男女別)

【何でも悩みを相談できる人がいる】

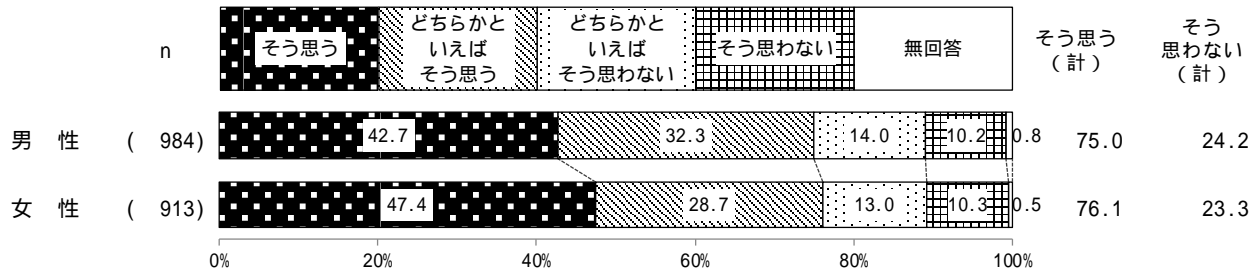


【こまったときは助けてくれる】



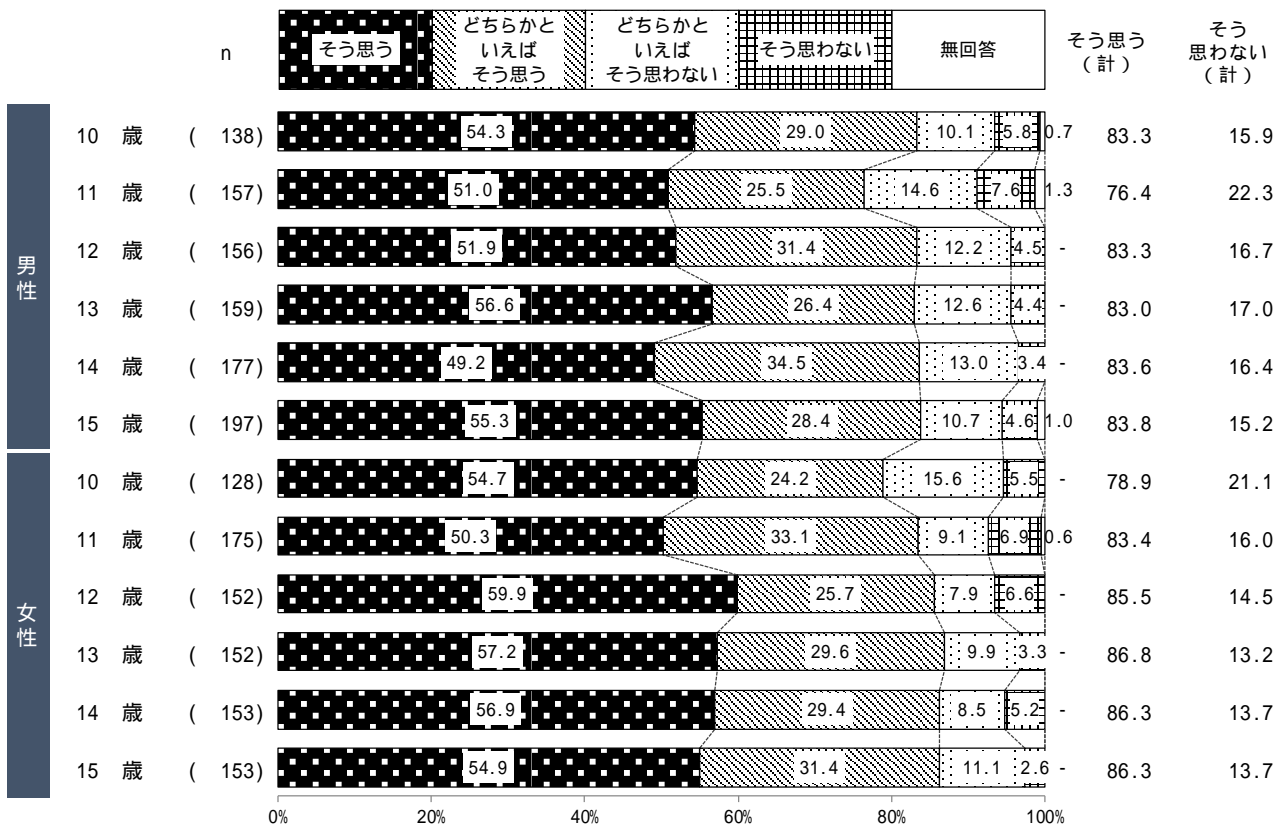
図表2-3-2-2 学校で出会った友人との関わり方(男女別)・つづき

【他の人には言えない本音を話せることがある】



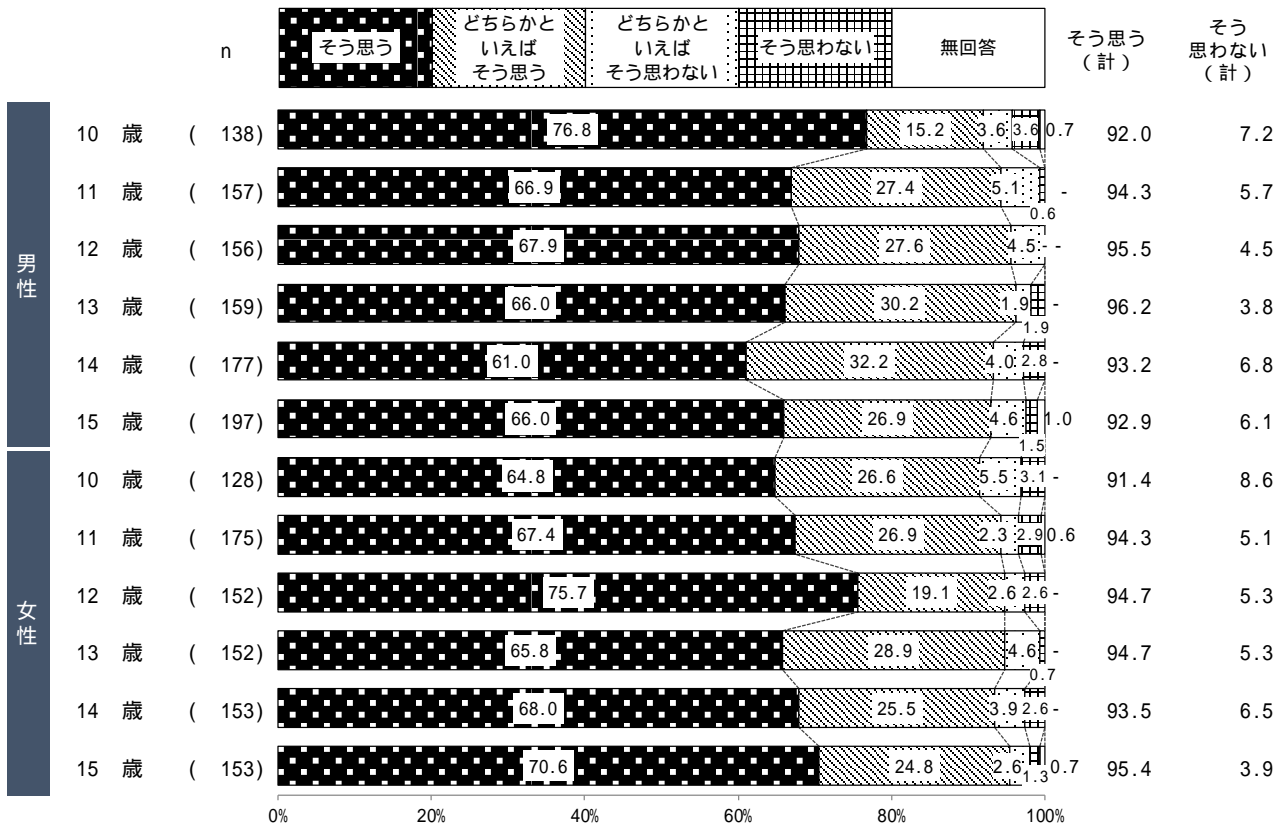
学校で出会った友人との関わり方として“何でも悩みを相談できる人がある”を性・年齢別にみると(図表2-3-2-3) いずれの性・年齢層でも「そう思う」という回答者がほぼ5割台で、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者が7割以上を占める。

図表2-3-2-3 学校で出会った友人との関わり方:何でも悩みを相談できる人がある(性・年齢別)



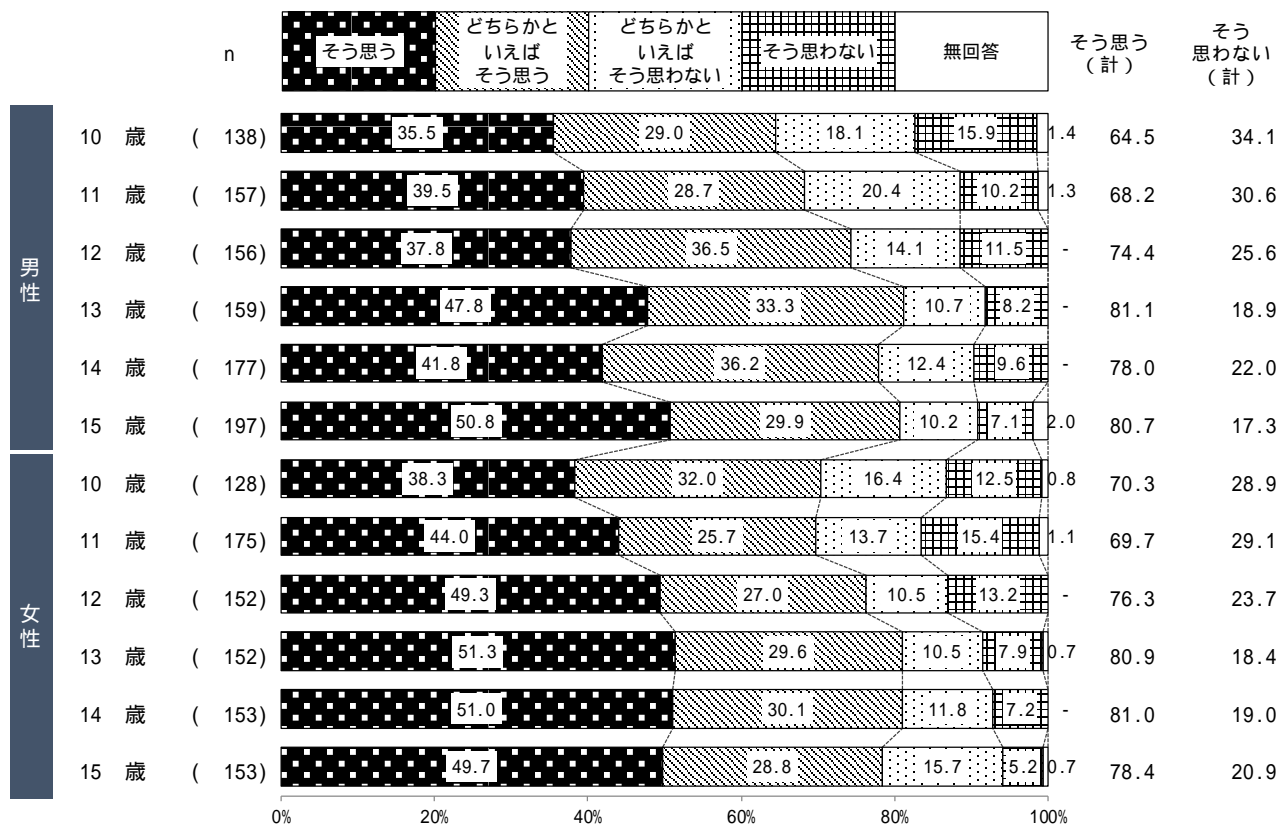
“こまったときは助けてくれる”を性・年齢別にみると(図表2-3-2-4) いずれの性・年齢層でも、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」という回答者が9割を上回り、そのうち「そう思う」と明確に肯定する回答者の割合は男性の10歳(76.8%)と女性の12歳(75.7%)と15歳(70.6%)で7割を上回って、他の性・年齢層より高い。

図表2-3-2-4 学校で出会った友人との関わり方:こまったときは助けてくれる(性・年齢別)



“他の人には言えない本音を話せることがある”について性・年齢別にみると(図表2-3-2-5)「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』という回答者は、男女とも低年齢の10歳(男性34.1%、女性28.9%)と11歳(男性30.6%、女性29.1%)で3割前後である。

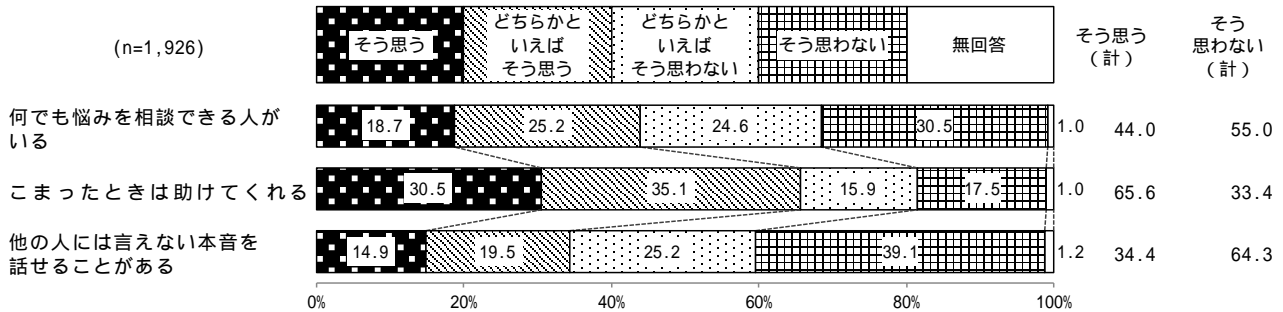
図表2-3-2-5 学校で出会った友人との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある(性・年齢別)



(3) 地域の人との関わり方 (問10)

問10 地域の人(近所の人、塾や習い事での友だちなど)とあなたのかかわりは、どのようなものですか。

図表2-3-3-1 地域の人との関わり方



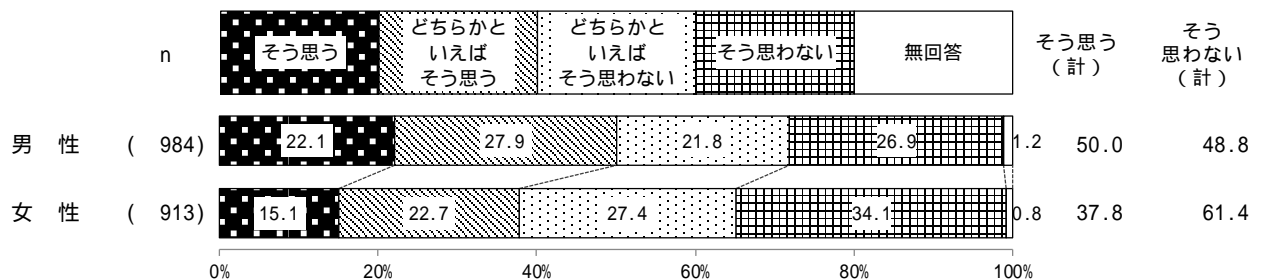
近所の人、塾や習い事での友だちなど地域の人との関わり方を聞いたところ(図表2-3-3-1) いずれの項目も「そう思う」という回答者の割合は、これまでにみた家族・親族や学校で出会った友人との関わり方よりも低く、「こまったときは助けてくれる」は30.5%、「何でも悩みを相談できる人がいる」は18.7%、「他の人には言えない本音話せることがある」は14.9%である。

これに対して、「そう思わない」という回答者は、「何でも悩みを相談できる人がいる」が30.5%、「他の人には言えない本音話せることがある」が39.1%で、「どちらかといえばそう思わない」を合わせると、どちらも過半数が『そう思わない』(「何でも相談」55.0%、「本音話せる」64.3%)と回答している。

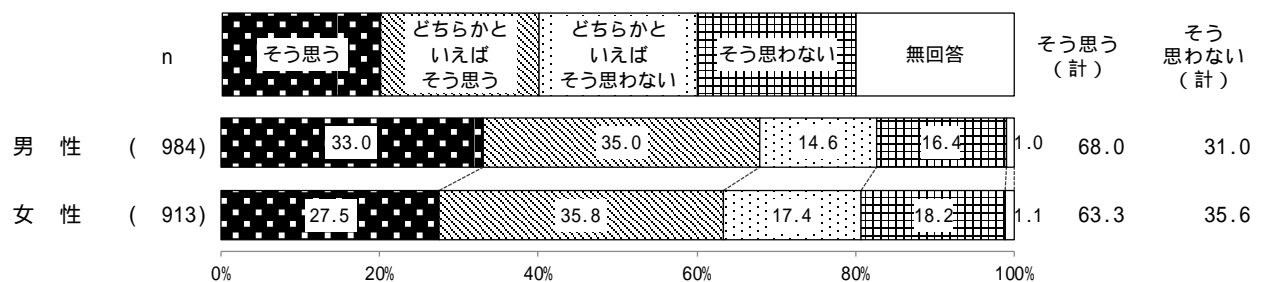
地域の人との関わり方を男女別にみると(図表2-3-3-2) いずれの項目も『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」という回答者は男性より女性に多く、特に「何でも悩みを相談できる人がいる」(男性48.8%、女性61.4%)は13ポイントの男女差がある。

図表2-3-3-2 地域の人との関わり方(男女別)

【何でも悩みを相談できる人がいる】

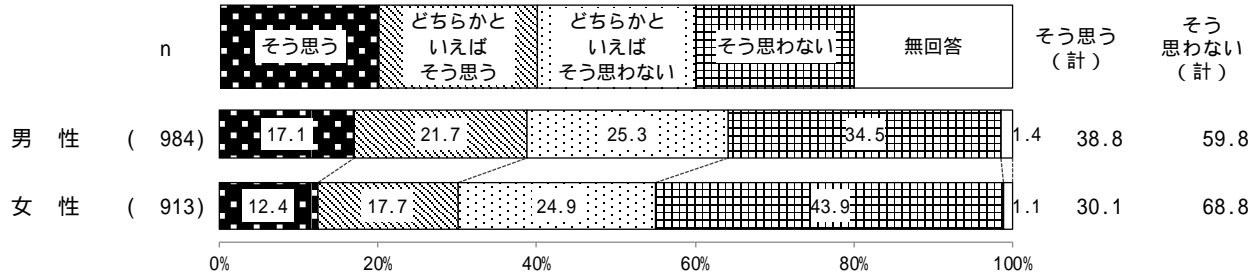


【こまったときは助けてくれる】



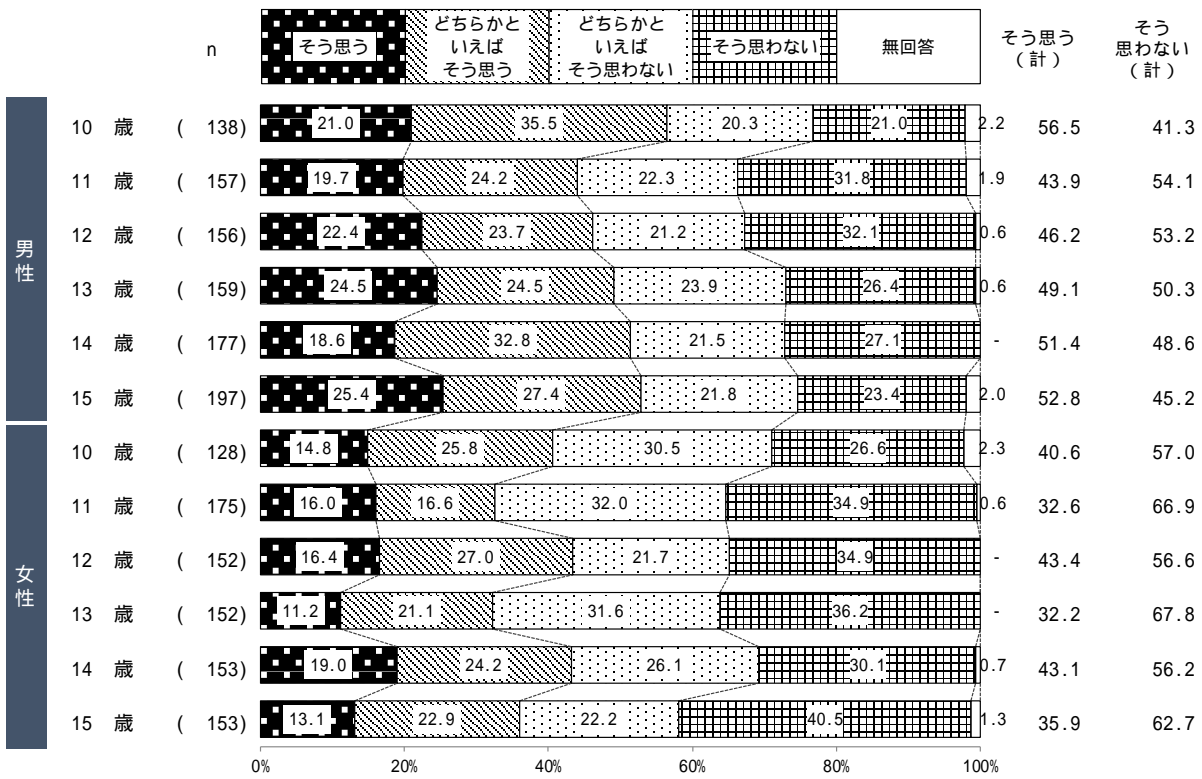
図表2 - 3 - 3 - 2 地域の人との関わり方(男女別)・つづき

【他の人には言えない本音を話せることがある】



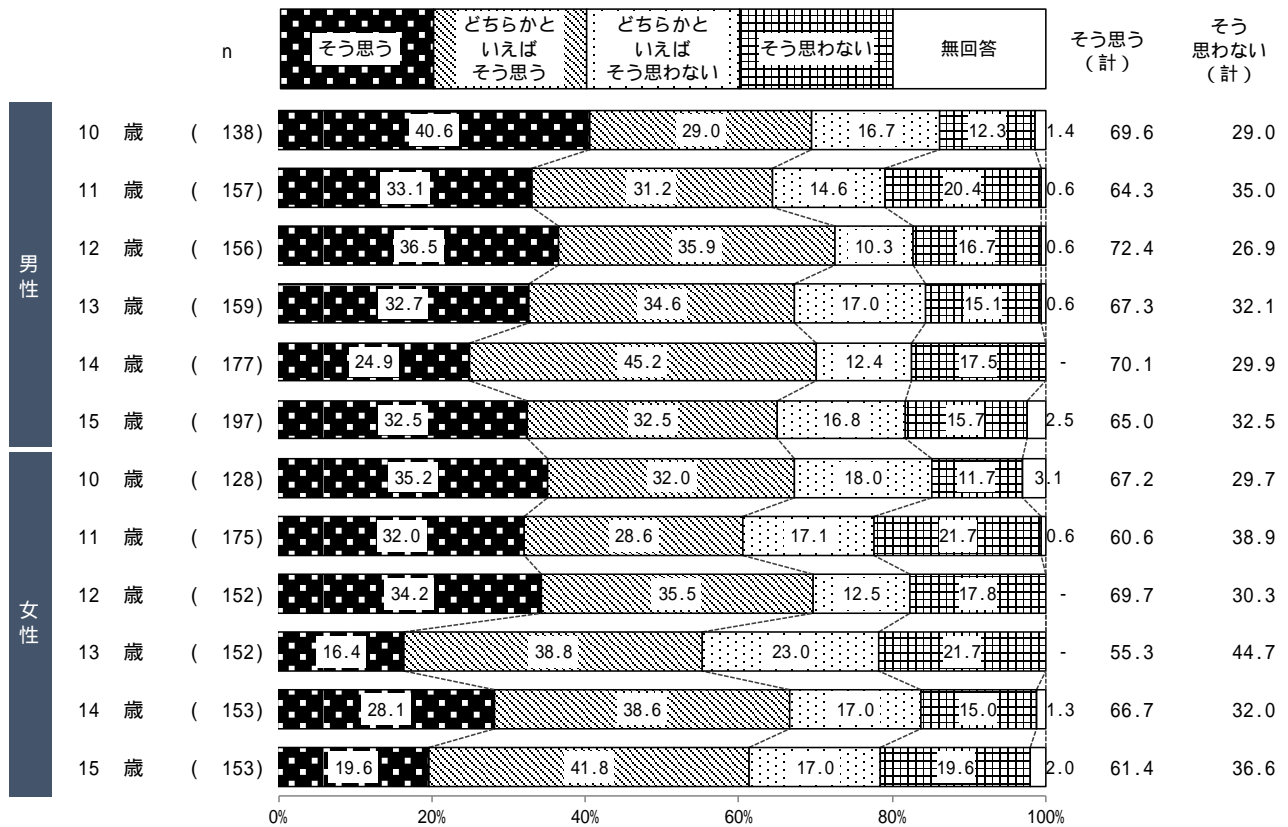
地域の人に「何でも悩みを相談できる人がいる」について性・年齢別にみると(図表2-3-3-3)「そう思わない」という回答者は女性の15歳で40.5%である。「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』では、女性の13歳(67.8%)と11歳(66.9%)で7割近い。

図表2 - 3 - 3 - 3 地域の人との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性・年齢別)



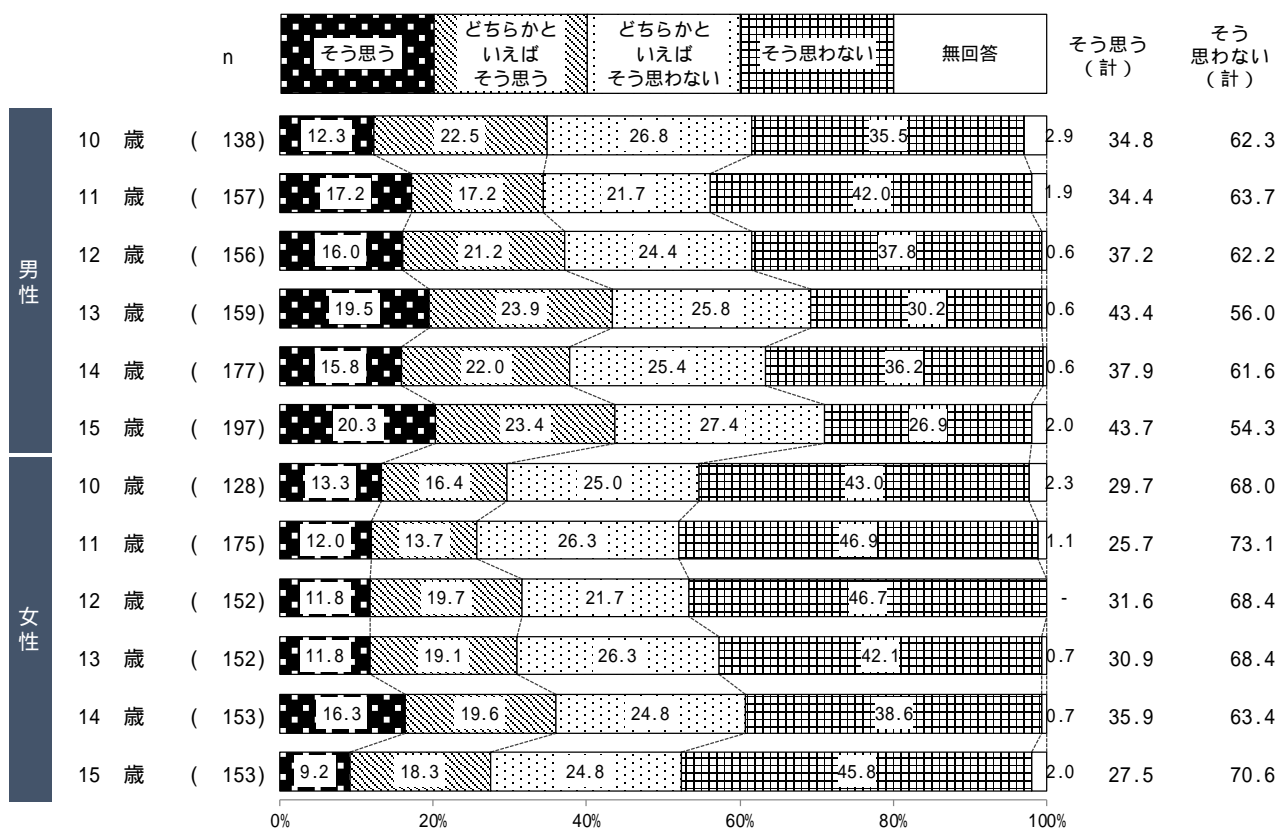
“こまったときは助けてくれる”について『そう思わない』（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）という回答者は、13歳の女性の44.7%で、同年齢の男性（32.1%）との差がみられる（図表2-3-3-4）。

図表2-3-3-4 地域の人との関わり方:こまったときは助けてくれる(性・年齢別)



“他の人には言えない本音を話せることがある”について性・年齢別にみると(図表2-3-3-5) いずれの性・年齢層でも、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)が過半数で、女性では6～7割前後である。

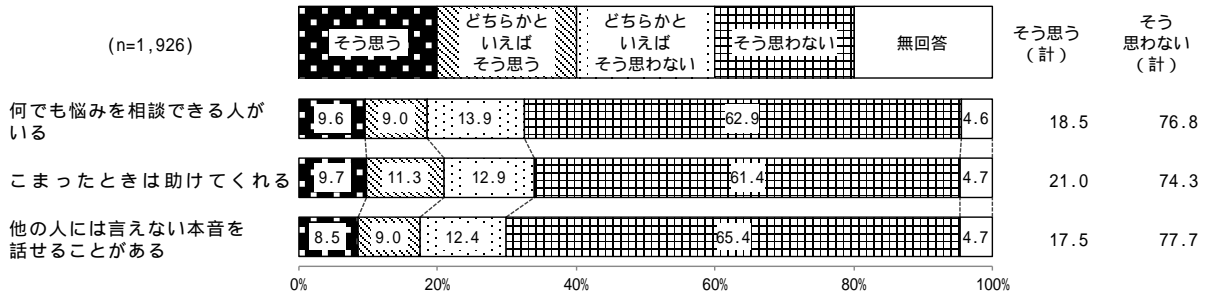
図表2-3-3-5 地域の人との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある(性・年齢別)



(4) インターネット上での人との関わり方(問11)

問11 インターネット上における人やグループ(実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループ)と、あなたのかかわりは、どのようなものですか。

図表2-3-4-1 インターネット上での人との関わり方

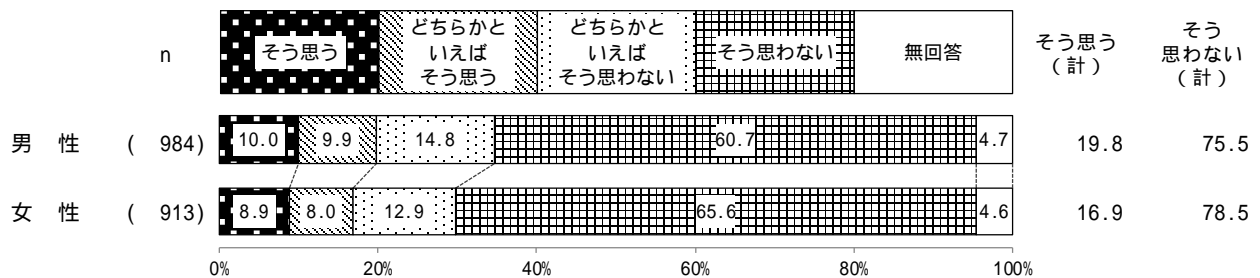


実際には会ったことがない、または、何回か会ったことはあっても、基本的にはインターネット中心の付き合いの人やグループとの関わり方をみると(図表2-3-4-1)“何でも悩みを相談できる人がいる”“こまったときは助けてくれる”“他の人には言えない本音を話せることがある”のいずれも、「そう思う」(“何でも相談”9.6%、“こまったとき”9.7%、“本音を話せる”8.5%)という回答者は1割を下回り、「そう思わない」(“何でも相談”62.9%、“こまったとき”61.4%、“本音を話せる”65.4%)という回答者が6割台である。

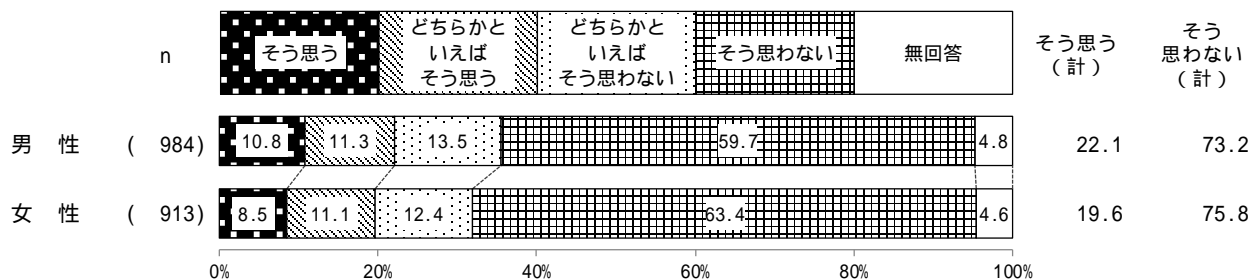
インターネット上での人との関わり方を男女別にみても(図表2-3-4-2)大きな男女差はみられない。

図表2-3-4-2 インターネット上での人との関わり方(男女別)

【何でも悩みを相談できる人がいる】

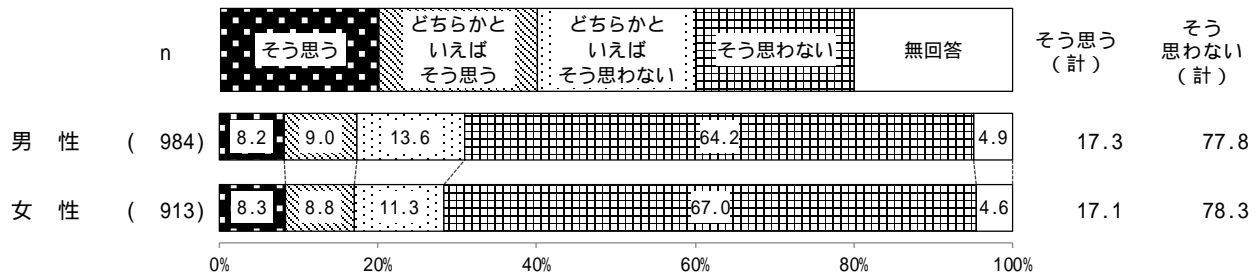


【こまったときは助けてくれる】



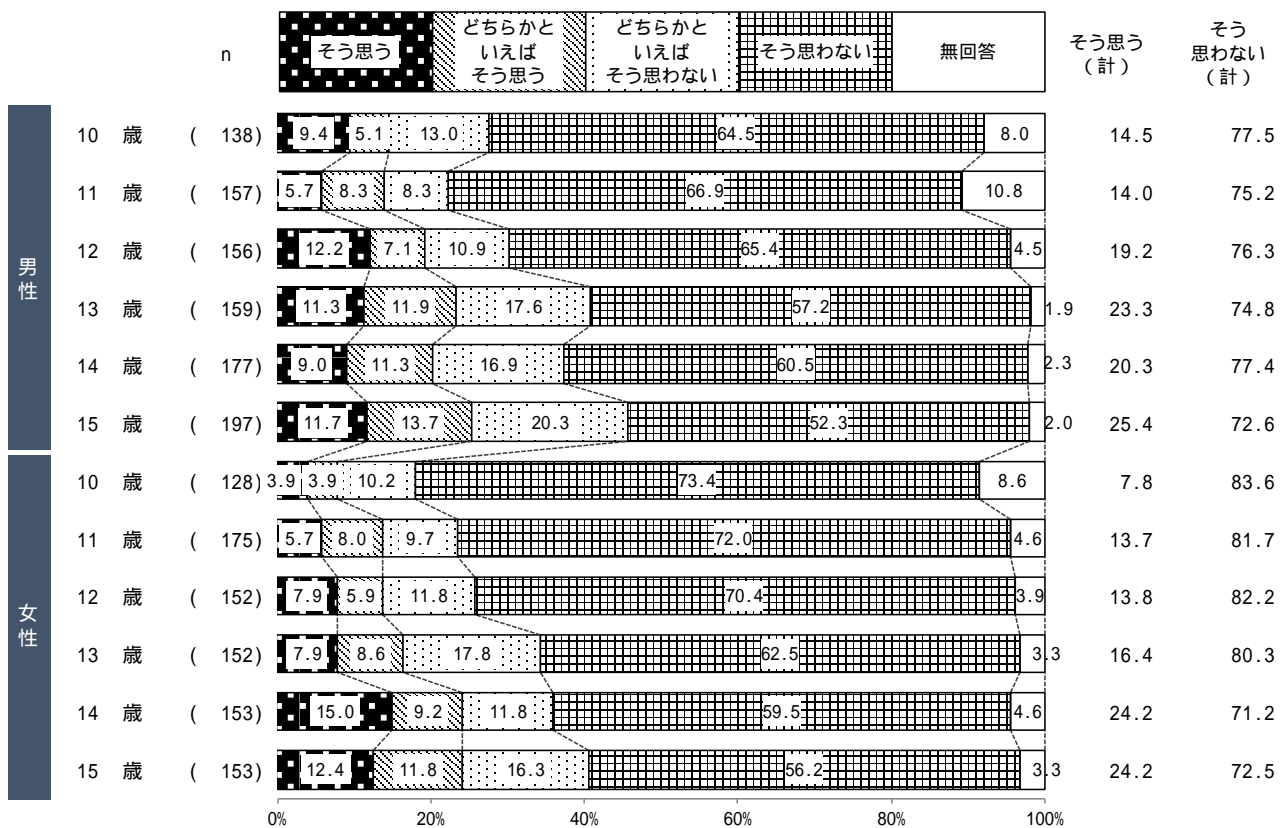
図表2-3-4-2 インターネット上での人との関わり方(男女別)・つづき

【他の人には言えない本音を話せることがある】

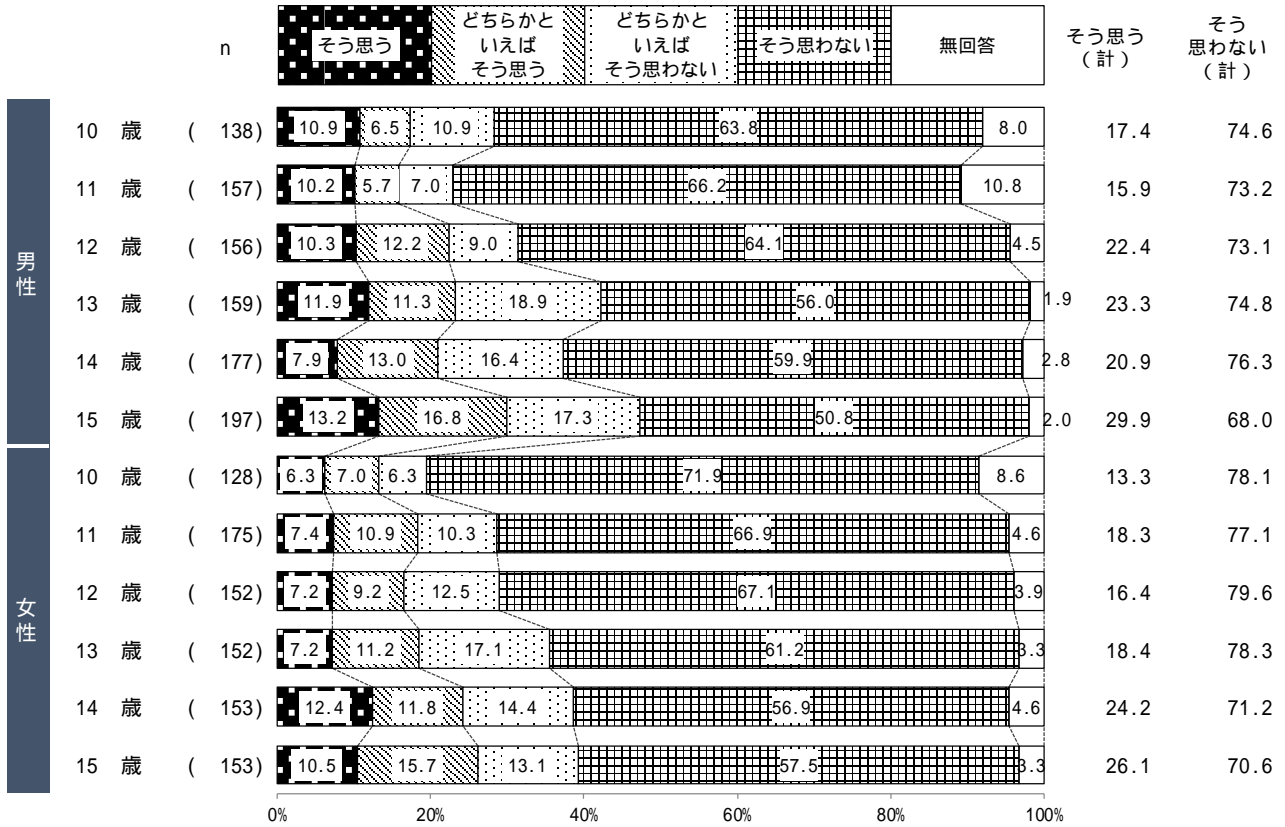


インターネット上での人との関わり方を性・年齢別にみると(図表2-3-4-3~図表2-3-4-5)、いずれの項目も、男女とも低年齢層ほど「そう思わない」という回答者割合が高い傾向がみられる。

図表2-3-4-3 インターネット上での人との関わり方:何でも悩みを相談できる人がいる(性・年齢別)

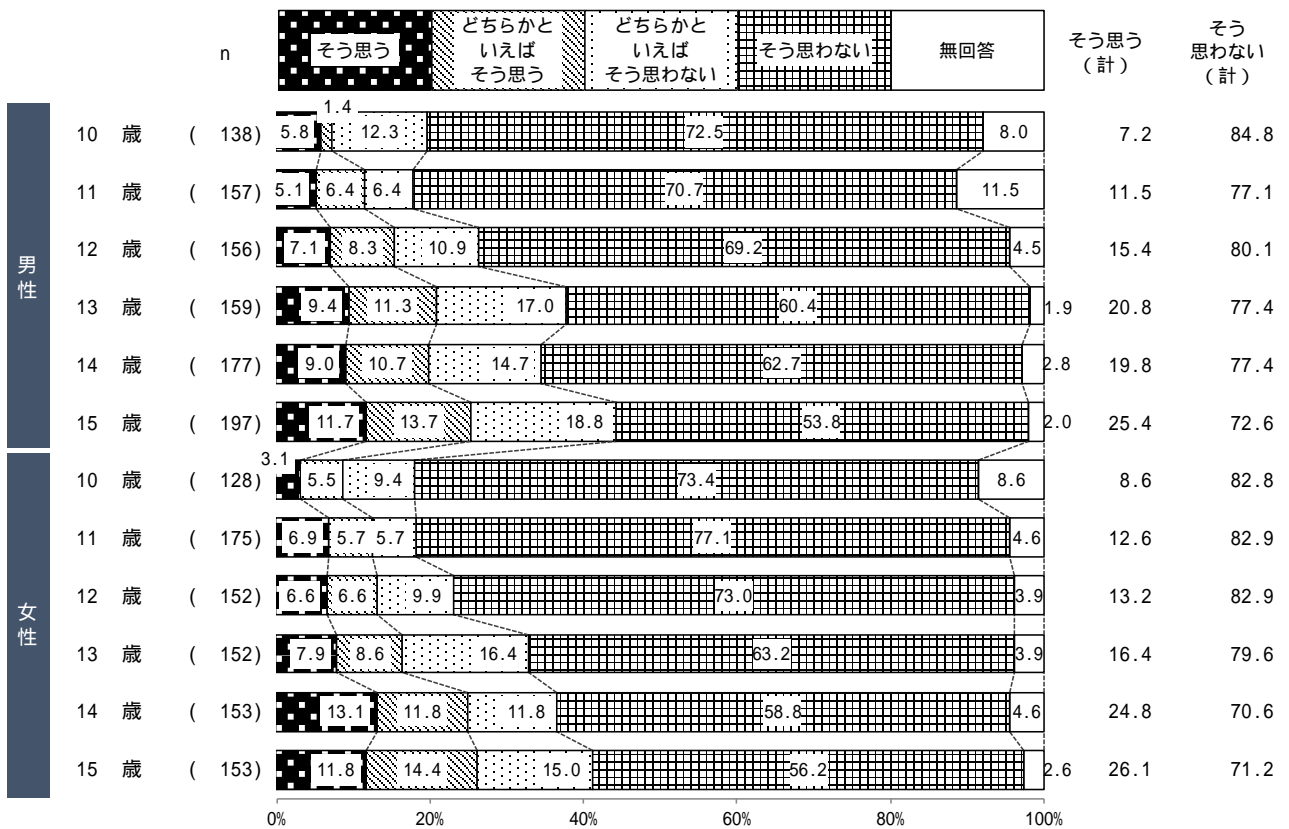


図表2 - 3 - 4 - 4 インターネット上での人との関わり方:こまったときは助けてくれる(性・年齢別)



図表2 - 3 - 4 - 5 インターネット上での人との関わり方:他の人には言えない本音を話せることがある(性・年齢別)

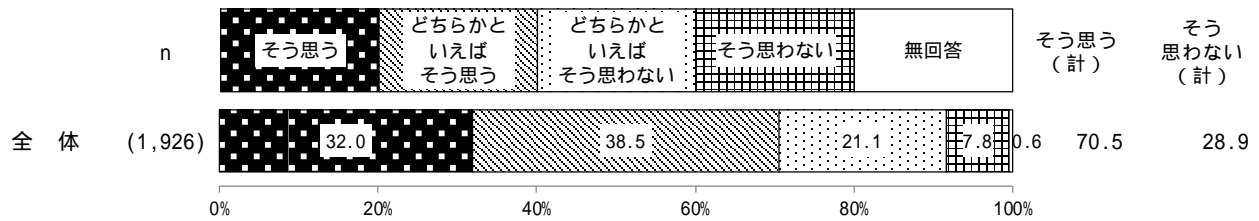
(性・年齢別)



(5) 他者と付き合う際の関係 (問 12)

問 12 あなたは、だれとでもすぐに仲良くなれる方ですか。(1つだけ)

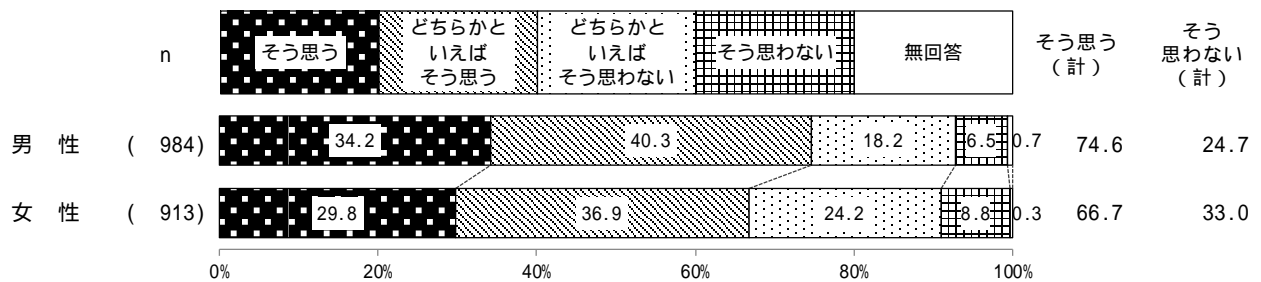
図表 2 - 3 - 5 - 1 他者と付き合う際の関係



他者と付き合う際の関係として、だれとでもすぐに仲良くなれるかを聞いたところ (図表 2-3-5-1) 「そう思う」という回答者は 32.0% で、「どちらかといえばそう思う」(38.5%) を合わせると、7割がだれとでもすぐに仲良くなれると『思う』と回答している。

男女別にみると (図表 2-3-5-2) だれとでもすぐに仲良くなれると『思う』回答者 (男性 74.6%、女性 66.7%) の割合は、男性が女性を 8ポイント上回っている。

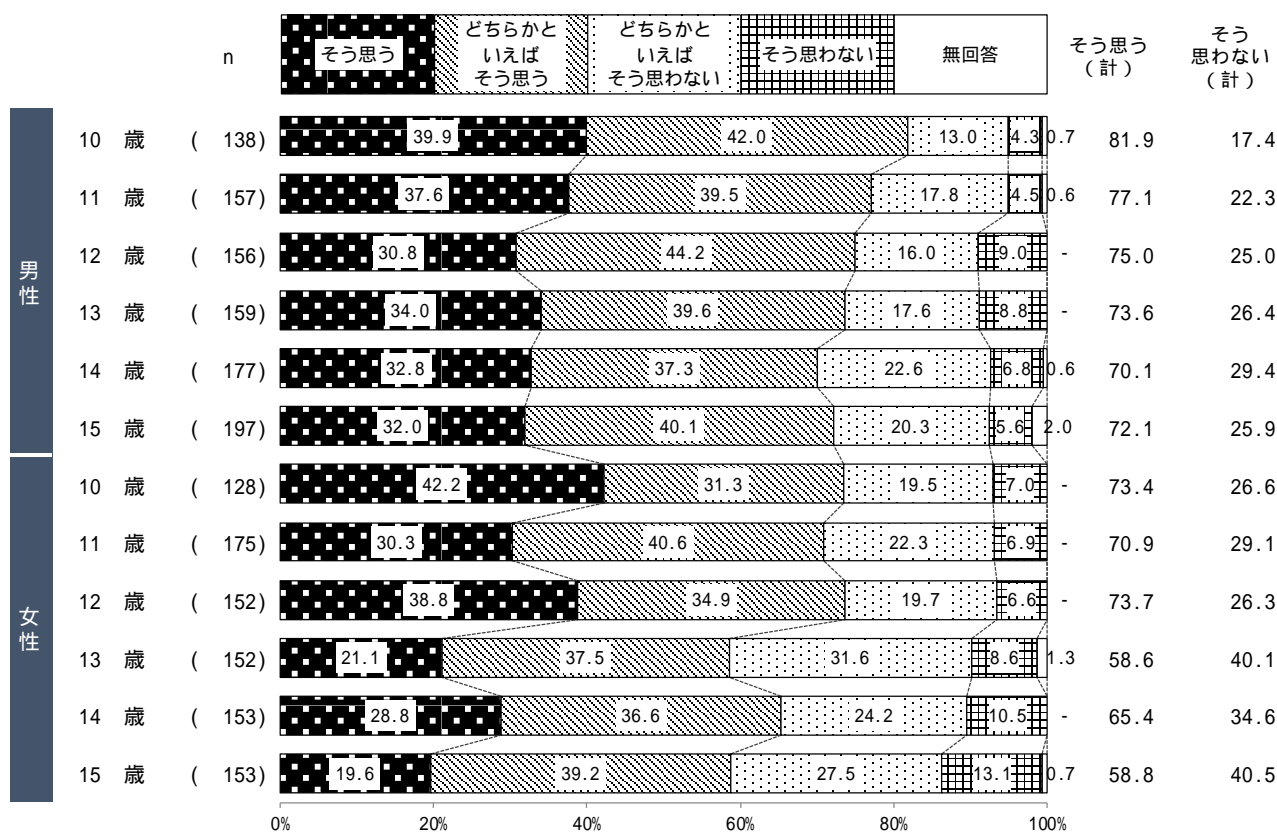
図表 2 - 3 - 5 - 2 他者と付き合う際の関係 (男女別)



性・年齢別にみると（図表2-3-5-3）男性では低年齢層ほど『そう思う』（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」といって回答者が多い傾向があり、15歳では72.1%であるのに対して、10歳では81.9%が肯定している。「そう思う」と明確に肯定する回答者はいずれの年齢も3割台である。

一方、女性でも同様に、低年齢層の方が肯定的な傾向であるが、10歳と15歳では『そう思う』（10歳73.4%、15歳58.8%）に15ポイントの差があり、男性の場合より年齢による差が大きい。

図表2 - 3 - 5 - 3 他者と付き合う際の関係(性・年齢別)

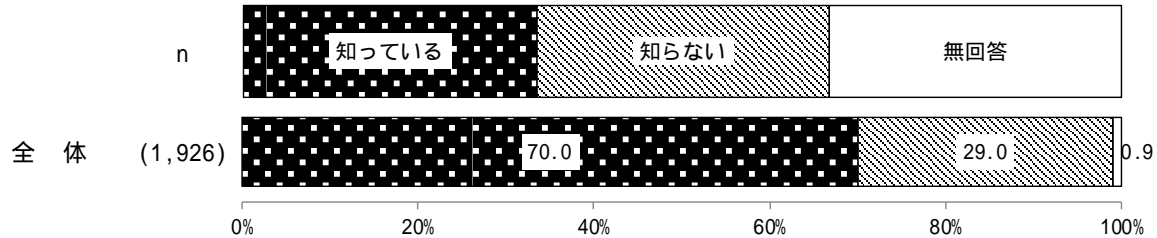


4 . 支援機関

(1) 相談・支援機関の認知度 (問 13)

問 13 あなたは、家庭や学校以外で、悩みやこまりごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。(1 つだけ)

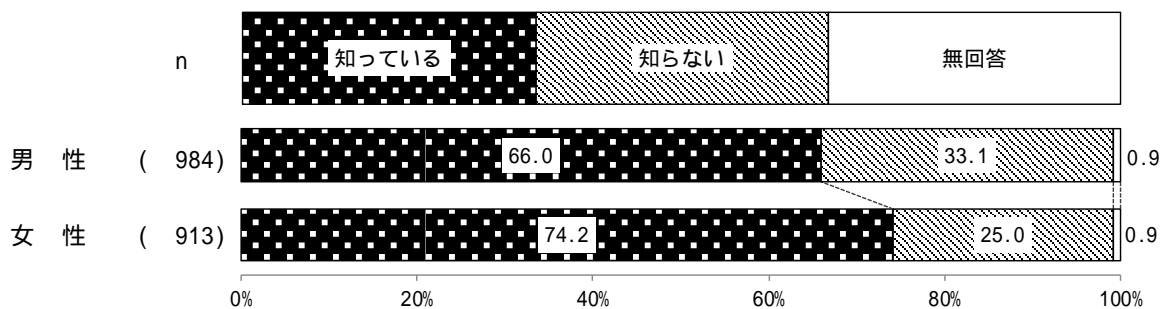
図表 2 - 4 - 1 - 1 相談・支援機関の認知度



家庭や学校以外での相談・支援機関の認知度を聞いたところ (図表 2-4-1-1) 「知っている」という回答者は 70.0% である。

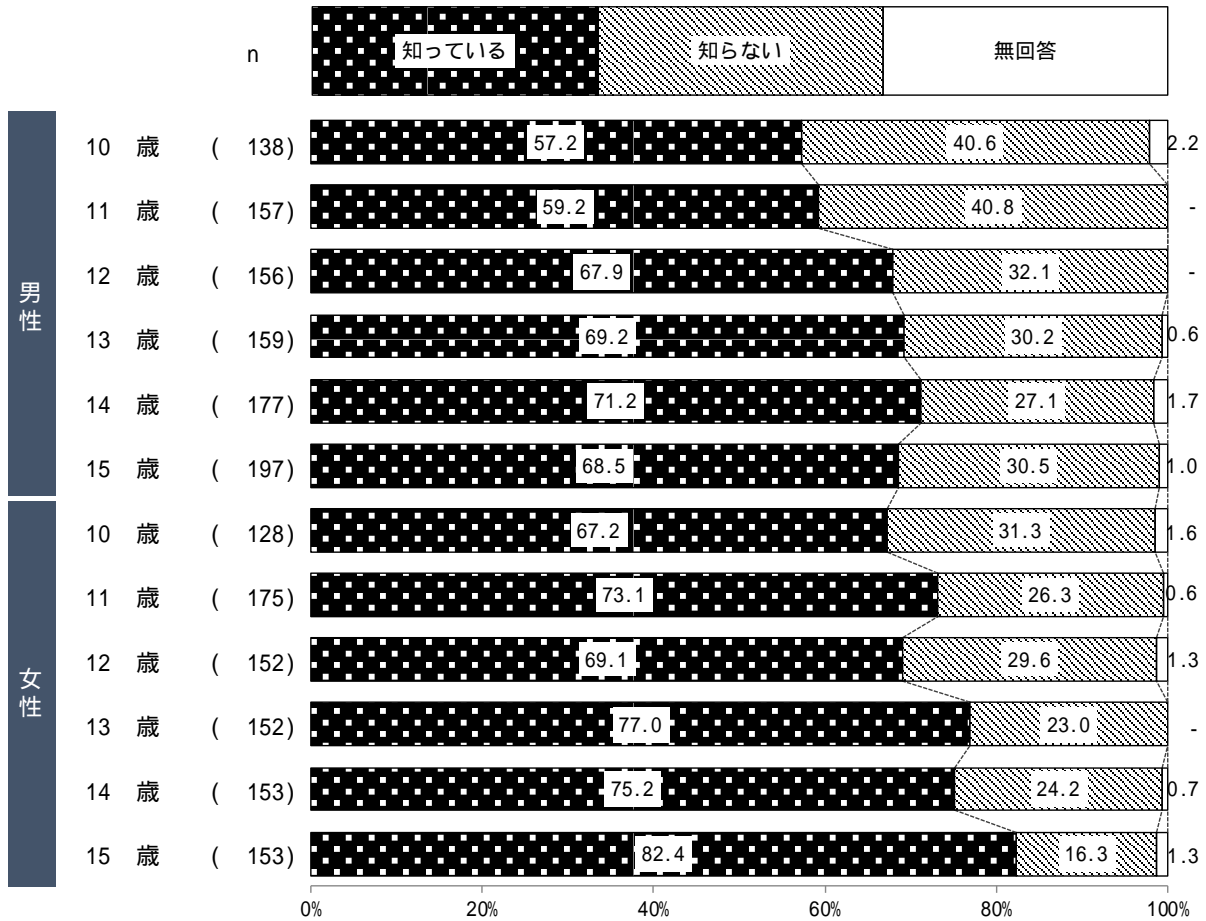
男女別にみると (図表 2-4-1-2) 相談・支援機関の認知度 (「知っている」 男性 66.0%、女性 74.2%) は、女性が男性を 8 ポイント上回っている。

図表 2 - 4 - 1 - 2 相談・支援機関の認知度 (男女別)



相談・支援機関の認知度を性・年齢別にみると（図表2-4-1-3）男女とも年齢が高い層ほど認知度も高い傾向がみられる。特に、女性の15歳では、認知度が82.4%と高い。

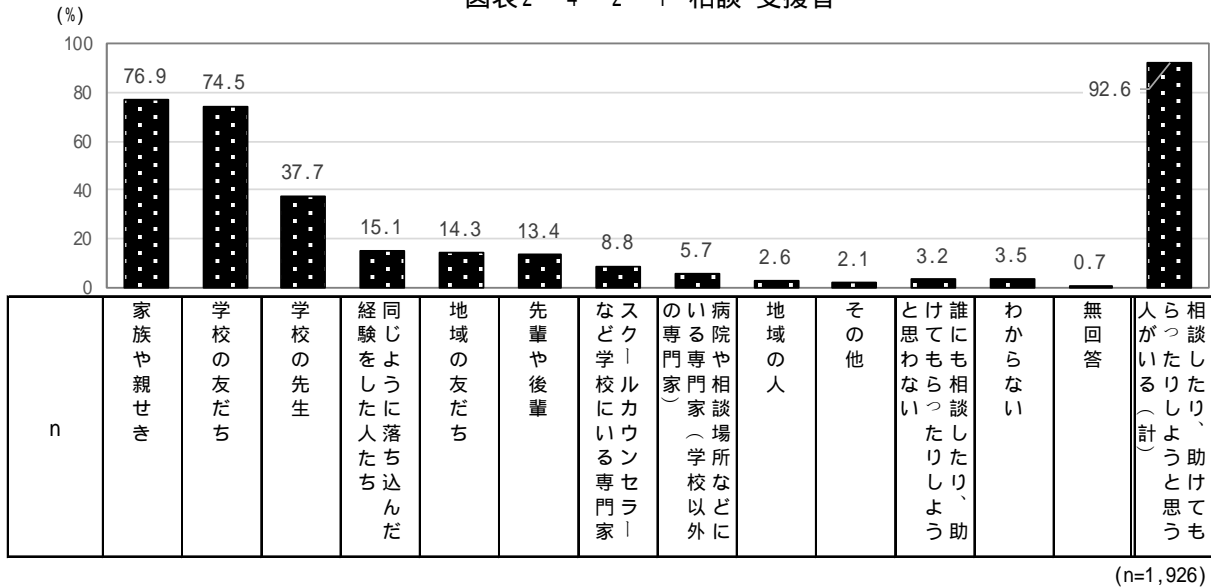
図表2 - 4 - 1 - 3 相談・支援機関の認知度(性・年齢別)



(2) 相談・支援者(問14)

問14 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、どういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。あてはまるものすべてを選んでください。
(いくつでも)

図表2-4-2-1 相談・支援者



ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、助けてもらったりしやすいと感じる相手としては(図表2-4-2-1)「家族や親せき」(76.9%)と「学校の友だち」(74.5%)が7割台で上位にあげられ、次いで「学校の先生」が37.7%である。

「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」は3.2%で、9割以上は相談・支援者がいる。

男女別にみると(図表2-4-2-2)上位の「家族や親せき」(男性77.6%、女性76.9%)と「学校の友だち」(男性73.6%、女性76.3%)に男女差はみられないが、「学校の先生」(男性41.2%、女性34.5%)は男性が女性を7ポイント上回っている。「地域の友だち」(男性17.5%、女性11.1%)も男性が6ポイント上回っている。

図表2-4-2-2 相談・支援者(男女別)

| | n | 家族や親せき | 学校の友だち | 学校の先生 | 同じように落ち込んだ経験をした人たち | 地域の友だち | 先輩や後輩 | スクールカウンセラーなど学校にいる専門家 | 病院や相談場所などにいる専門家(学校以外) | 地域の人 | その他 | 誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない | わからない | 無回答 | 相談したり、助けてもらったりしようと思っている(計) |
|----|-------|--------|--------|-------|--------------------|--------|-------|----------------------|-----------------------|------|-----|---------------------------|-------|-----|----------------------------|
| 男性 | (984) | 77.6 | 73.6 | 41.2 | 13.4 | 17.5 | 13.7 | 7.4 | 6.0 | 3.2 | 1.3 | 2.8 | 3.5 | 0.7 | 93.0 |
| 女性 | (913) | 76.9 | 76.3 | 34.5 | 16.6 | 11.1 | 12.9 | 10.2 | 5.3 | 2.0 | 2.8 | 3.2 | 3.1 | 0.7 | 93.1 |

性・年齢別にみると(図表2-4-2-3) いずれの性・年齢層でも、上位3項目は同様である。

男性では、「家族や親せき」と「学校の先生」は低年齢層ほど多くあげられる傾向があり、特に10歳では「家族や親せき」が94.9%である。「学校の友だち」は、年齢差が小さく、ほぼ7割台となっている。また、「地域の友だち」は15歳(20.8%)で、「先輩や後輩」は14歳(24.3%)で、他の性・年齢層よりやや高い。

一方、女性では、「家族や親せき」と「学校の友だち」が年齢差なく上位にあげられているが、「家族や親せき」は、男子同様に10歳(87.5%)で高くなっている。「学校の先生」は、14歳までは年齢が上がるほど低くなるが、15歳では36.6%と、14歳の回答より7ポイント高い。

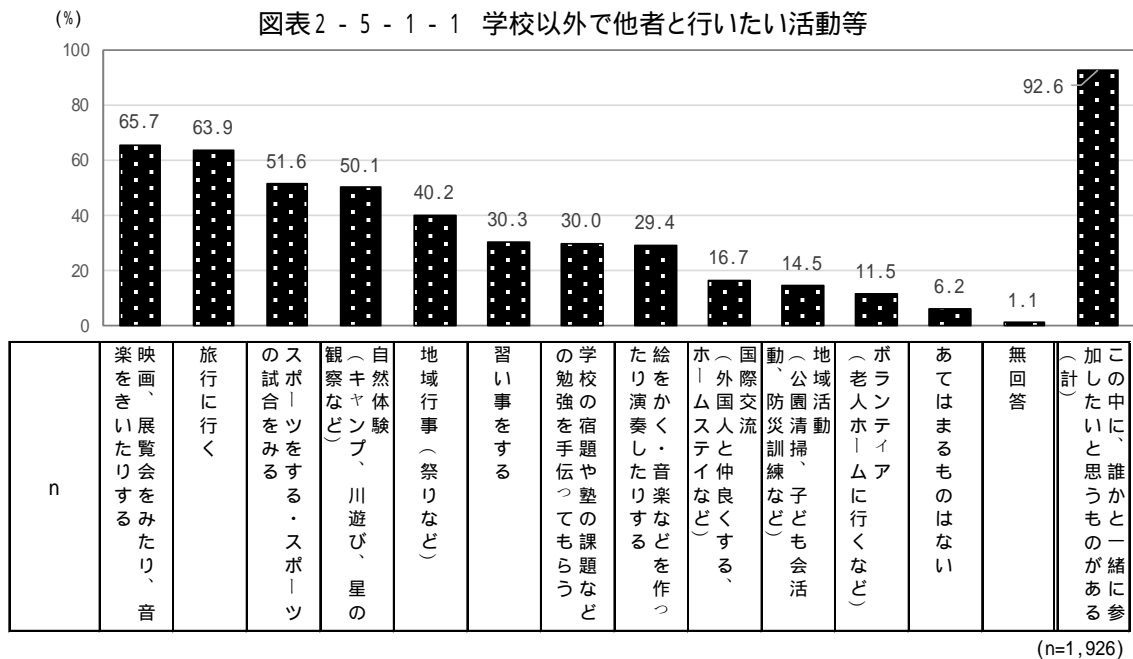
図表2 - 4 - 2 - 3 相談・支援者(性・年齢別)

| | | (%) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|--------|--------|-------|--------------------|--------|-------|----------------------|-------------|------------|------|-----|-------|---------------------|-------|-----|---------------------------|
| n | | 家族や親せき | 学校の友だち | 学校の先生 | 同じように落ち込んだ経験をした人たち | 地域の友だち | 先輩や後輩 | スクールカウンセラーなど学校にいる専門家 | いる専門家(学校以外) | 病院や相談場所などに | 地域の人 | その他 | と知らない | 誰にも相談したり、助けを求めたりしよう | わからない | 無回答 | 人がいたり、助けを求めたり、助けを思っている(計) |
| 男性 | 10歳 (138) | 94.9 | 68.8 | 52.9 | 15.2 | 15.9 | 7.2 | 5.8 | 5.8 | 1.4 | 1.4 | - | 0.7 | 1.4 | 97.8 | | |
| | 11歳 (157) | 86.6 | 71.3 | 42.0 | 9.6 | 16.6 | 7.0 | 8.3 | 6.4 | 3.8 | 0.6 | 1.3 | 4.5 | - | 94.3 | | |
| | 12歳 (156) | 78.2 | 77.6 | 41.7 | 14.7 | 17.3 | 9.0 | 7.7 | 7.1 | 5.8 | 1.9 | 1.9 | 1.3 | - | 96.8 | | |
| | 13歳 (159) | 74.2 | 76.1 | 39.6 | 16.4 | 18.2 | 15.7 | 9.4 | 8.2 | 3.8 | 1.3 | 3.8 | 3.1 | - | 93.1 | | |
| | 14歳 (177) | 70.1 | 75.1 | 41.8 | 12.4 | 15.3 | 24.3 | 9.0 | 3.4 | 1.7 | 1.7 | 2.3 | 4.5 | 1.7 | 91.5 | | |
| | 15歳 (197) | 67.5 | 72.1 | 32.5 | 12.7 | 20.8 | 16.2 | 4.6 | 5.6 | 2.5 | 1.0 | 6.6 | 5.6 | 1.0 | 86.8 | | |
| 女性 | 10歳 (128) | 87.5 | 76.6 | 43.8 | 10.2 | 11.7 | 4.7 | 10.9 | 3.1 | 3.9 | 3.1 | 1.6 | 1.6 | 1.6 | 95.3 | | |
| | 11歳 (175) | 78.9 | 76.6 | 36.0 | 16.0 | 13.1 | 7.4 | 12.6 | 4.0 | 1.7 | 1.7 | 4.0 | 2.9 | 0.6 | 92.6 | | |
| | 12歳 (152) | 77.6 | 74.3 | 32.9 | 17.1 | 12.5 | 13.2 | 11.2 | 7.2 | 1.3 | 3.3 | 5.3 | 5.3 | - | 89.5 | | |
| | 13歳 (152) | 73.0 | 76.3 | 29.6 | 15.8 | 9.2 | 17.1 | 10.5 | 5.9 | 2.0 | 2.0 | 4.6 | 2.6 | - | 92.8 | | |
| | 14歳 (153) | 71.2 | 77.1 | 29.4 | 21.6 | 9.2 | 18.3 | 5.9 | 3.9 | 2.0 | 3.3 | 1.3 | 3.9 | 0.7 | 94.1 | | |
| | 15歳 (153) | 74.5 | 77.1 | 36.6 | 18.3 | 10.5 | 16.3 | 9.8 | 7.2 | 1.3 | 3.9 | 2.0 | 2.0 | 1.3 | 94.8 | | |

5. 学校以外で他者と行う活動

(1) 学校以外で他者と行いたい活動等(問15)

問15 学校以外で、だれかと一緒に参加したいと思うものを選んでください。(いくつでも)



学校以外で、だれかと一緒に参加したいと思う活動を聞いたところ(図表2-5-1-1)、「映画、展覧会をみたり、音楽をきいたりする」(65.7%)と「旅行に行く」(63.9%)が6割台で上位にあげられ、以下「スポーツをする・スポーツの試合をみる」(51.6%)、「自然体験(キャンプ、川遊び、星の観察など)」(50.1%)、「地域行事(祭りなど)」(40.2%)などの順となっている。

男女別にみると(図表2-5-1-2)男女とも「映画、展覧会をみたり、音楽をきいたりする」(男性61.4%、女性71.0%)と「旅行に行く」(男性61.1%、女性67.5%)が上位にあげられている。男性では、以下「スポーツをする・スポーツの試合をみる」(59.3%)、「自然体験」(50.6%)、「地域行事」(36.0%)の順にあげられ、女性では「自然体験」(50.3%)、「地域行事」(45.2%)、「スポーツをする・スポーツの試合をみる」(43.5%)、「絵をかく・音楽などを作ったり演奏したりする」(40.6%)の順となっている。

図表2-5-1-2 学校以外で他者と行いたい活動等(男女別)

| | n | 映画、展覧会をみたり、音楽をきいたりする | 旅行に行く | スポーツをする・スポーツの試合をみる | 自然体験(キャンプ、川遊び、星の観察など) | 地域行事(祭りなど) | 習い事をする | 学校の宿題や塾の課題などを勉強を手伝ってもらう | 絵をかく・音楽などを作ったり演奏したりする | 外国人と仲良くする、ホームステイなど | 国際交流(公園清掃、子ども会活動、防災訓練など) | 地域活動(老人ホームに行くなど) | あてはまるものはない | 無回答 | この中に、誰かと一緒に参加したいと思うものがある(計) |
|----|-------|----------------------|-------|--------------------|-----------------------|------------|--------|-------------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|------------------|------------|-----|-----------------------------|
| 男性 | (984) | 61.4 | 61.1 | 59.3 | 50.6 | 36.0 | 28.2 | 25.5 | 18.4 | 14.4 | 14.3 | 9.9 | 8.0 | 1.3 | 90.7 |
| 女性 | (913) | 71.0 | 67.5 | 43.5 | 50.3 | 45.2 | 33.2 | 34.8 | 40.6 | 19.2 | 15.1 | 13.5 | 4.2 | 0.8 | 95.1 |

性・年齢別にみると(図表2-5-1-3)全体で上位項目であった「映画、展覧会をみたり、音楽をきいたりする」「旅行に行く」「スポーツをする・スポーツの試合をみる」「自然体験」「地域行事」は、男性のすべての年齢と女性の13歳～15歳までで、上位5項目以内あげられている。

一方、女性の10歳～12歳では、「スポーツをする・スポーツの試合をみる」に代わって「絵をかく・音楽などを作ったり演奏したりする」が上位5項目以内あげられている。

図表2-5-1-3 学校以外で他者と行いたい活動等(性・年齢別)

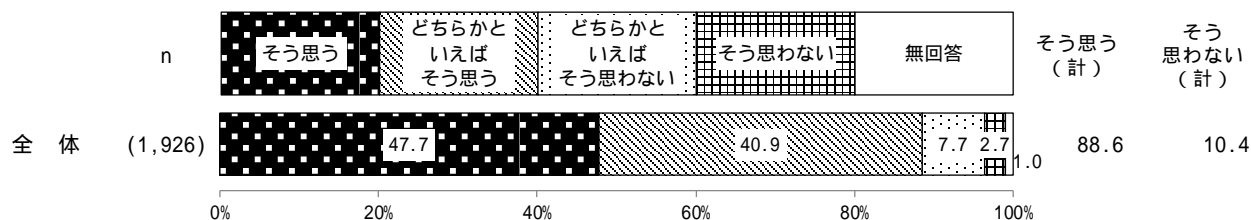
| | | n | 映画、展覧会をみたり、音楽をきいたりする | 旅行に行く | スポーツをする・スポーツの試合をみる | 自然体験(キャンプ、川遊び、星の観察など) | 地域行事(祭りなど) | 習い事をする | 学校の宿題や塾の課題などの勉強を手伝ってもらおう | 絵をかく・音楽などを作ったり演奏したりする | ホームステイなど(外国人と仲良くする、国際交流) | 地域活動(公園清掃、子ども会活動、防災訓練など) | ボランティア(老人ホームに行くなど) | あてはまるものはない | 無回答 | (%) この中に、誰かと一緒に参加したいと思うものがある |
|-----|-------|-------|----------------------|-------|--------------------|-----------------------|------------|--------|--------------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|------------|------|---------------------------------|
| 男性 | 10歳 | (138) | 37.0 | 54.3 | 45.7 | 53.6 | 30.4 | 30.4 | 18.1 | 20.3 | 11.6 | 18.1 | 5.8 | 7.2 | 2.9 | 89.9 |
| | 11歳 | (157) | 61.1 | 64.3 | 54.1 | 59.2 | 45.9 | 32.5 | 23.6 | 21.0 | 10.8 | 12.7 | 11.5 | 7.0 | - | 93.0 |
| | 12歳 | (156) | 66.7 | 63.5 | 55.1 | 50.6 | 38.5 | 33.3 | 28.8 | 17.9 | 13.5 | 16.7 | 10.9 | 6.4 | 1.3 | 92.3 |
| | 13歳 | (159) | 66.7 | 60.4 | 63.5 | 46.5 | 31.4 | 23.9 | 28.9 | 14.5 | 13.8 | 11.9 | 10.1 | 9.4 | 0.6 | 89.9 |
| | 14歳 | (177) | 66.7 | 56.5 | 62.1 | 48.6 | 42.4 | 26.0 | 24.3 | 19.2 | 17.5 | 15.3 | 11.9 | 7.3 | 2.3 | 90.4 |
| 15歳 | (197) | 65.5 | 66.0 | 70.6 | 46.7 | 27.9 | 24.4 | 27.9 | 17.8 | 17.8 | 12.2 | 8.6 | 10.2 | 1.0 | 88.8 | |
| 女性 | 10歳 | (128) | 62.5 | 66.4 | 36.7 | 60.2 | 46.9 | 41.4 | 32.8 | 46.9 | 18.0 | 19.5 | 16.4 | 5.5 | 1.6 | 93.0 |
| | 11歳 | (175) | 55.4 | 67.4 | 37.1 | 50.9 | 41.7 | 33.7 | 30.3 | 40.6 | 17.1 | 18.3 | 13.1 | 6.9 | 0.6 | 92.6 |
| | 12歳 | (152) | 69.1 | 67.8 | 40.8 | 49.3 | 47.4 | 40.1 | 34.2 | 41.4 | 20.4 | 19.1 | 13.8 | 4.6 | 0.7 | 94.7 |
| | 13歳 | (152) | 77.6 | 67.8 | 50.0 | 46.1 | 48.7 | 25.7 | 43.4 | 38.8 | 13.8 | 9.9 | 9.2 | 3.9 | - | 96.1 |
| | 14歳 | (153) | 80.4 | 69.3 | 52.9 | 45.8 | 41.2 | 30.1 | 34.0 | 37.9 | 23.5 | 13.7 | 17.0 | 2.0 | 0.7 | 97.4 |
| 15歳 | (153) | 81.7 | 66.0 | 43.1 | 51.0 | 46.4 | 29.4 | 34.6 | 39.2 | 22.2 | 10.5 | 11.8 | 2.0 | 1.3 | 96.7 | |

6 . 社会参加

(1) 社会貢献への意欲 (問 16)

問 16 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1 つだけ)

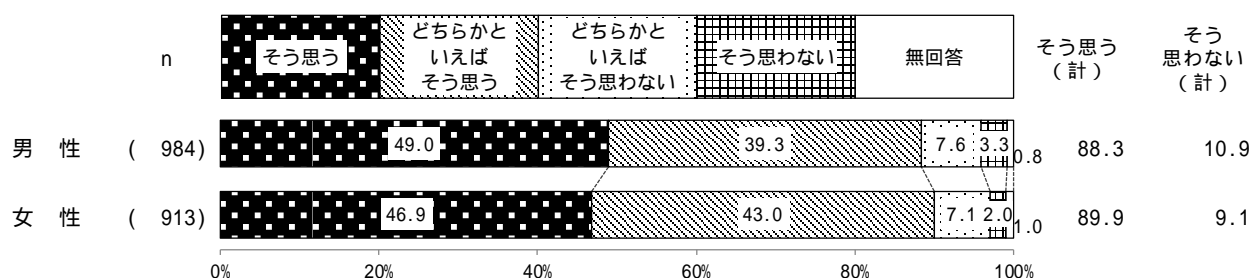
図表 2 - 6 - 1 - 1 社会貢献への意欲



「社会のために役立つことをしたい」と思うかを聞いたところ(図表 2-6-1-1) 「そう思う」(47.7%) という回答者は半数近く、「どちらかといえばそう思う」(40.9%) を合わせると、9 割近くが社会貢献への意欲を示している。

男女別にみても (図表 2-6-1-2) 大きな男女差はみらない。

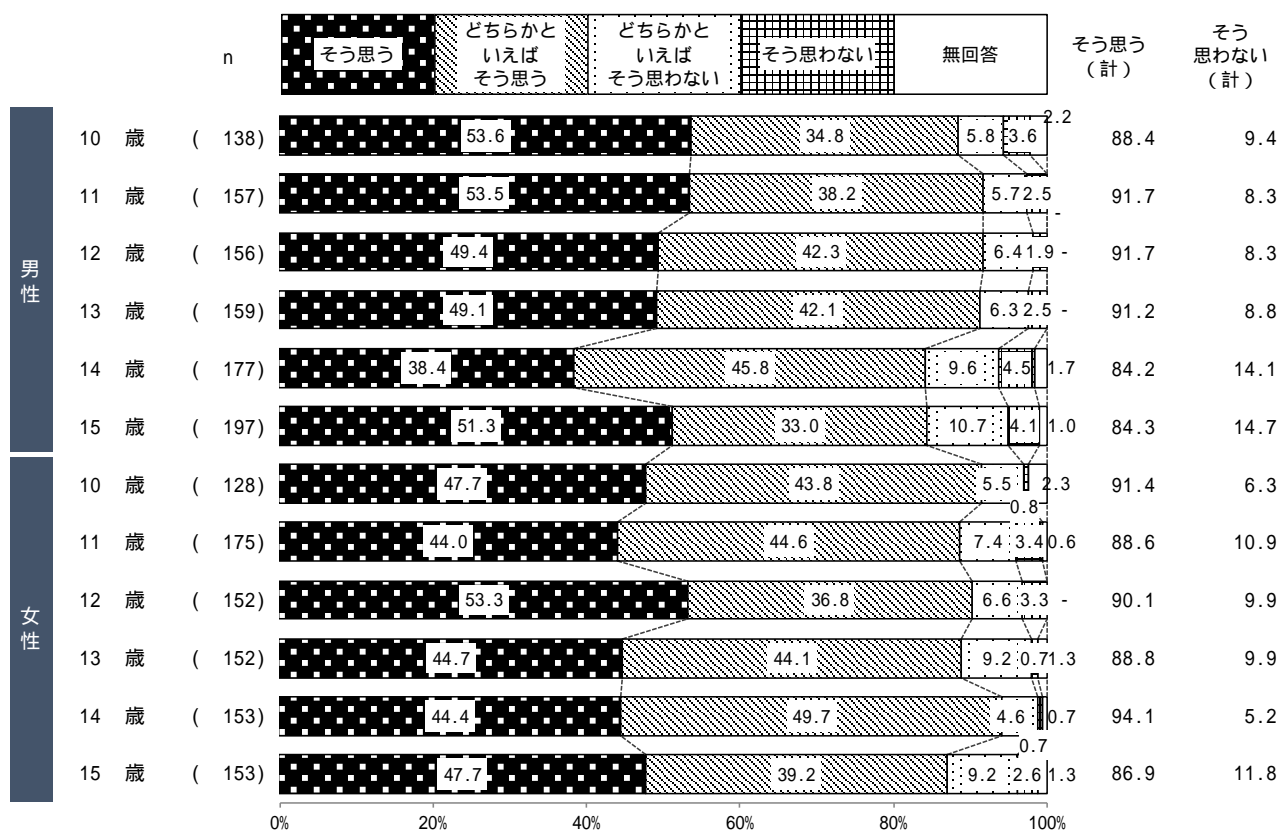
図表 2 - 6 - 1 - 2 社会貢献への意欲 (男女別)



性・年齢別にみると(図表2-6-1-3) 男性の10~13歳では「そう思う」という回答者が5割前後で、「どちらかといえばそう思う」を合わせた社会貢献への意欲を示す回答者が9割前後であるが、14歳になると「そう思う」(38.4%)と明確な意欲を示す回答者が10ポイント以上減少し、「そう思わない」(4.5%)もしくは「どちらかといえばそう思わない」(9.6%)という回答者の増加がみられる。15歳では「そう思う」(51.3%)という回答者が5割となるが、代わって「どちらかといえばそう思う」という回答者(33.0%)が減少し、『そう思わない』(「そう思わない」4.1%+「どちらかといえばそう思わない」10.7%)という回答者が14歳と同程度である。

一方、女性では、いずれの年齢でも、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)という回答者が9割前後で、特に12歳では「そう思う」(53.3%)と明確な意欲を示す回答者の割合が、女性では最も高い。

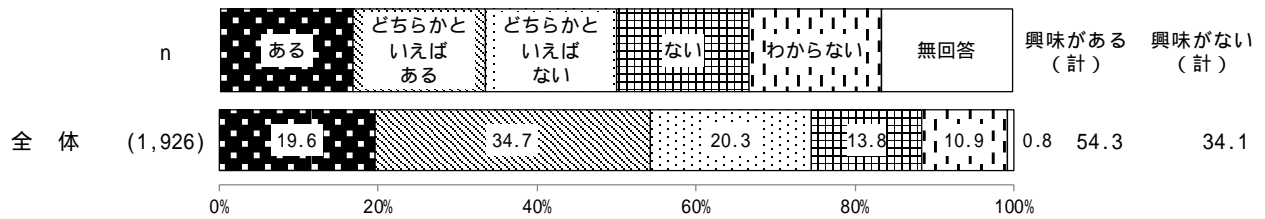
図表2-6-1-3 社会貢献への意欲(性・年齢別)



(2) ボランティア活動への興味 (問 17)

問 17 あなたは、ボランティア活動に興味がありますか。(1つだけ)

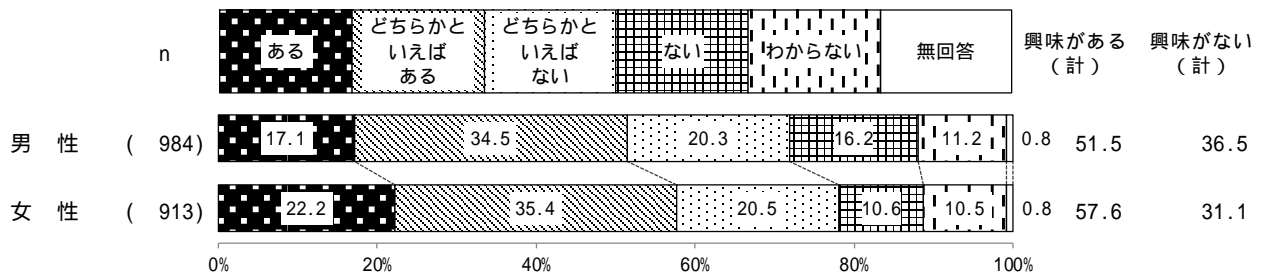
図表2-6-2-1 ボランティア活動への興味



ボランティア活動への興味を聞いたところ(図表2-6-2-1)、「ある」という回答者は19.6%で、「どちらかといえばある」(34.7%)を合わせると、過半数は興味を持っている。

男女別にみると(図表2-6-2-2)、ボランティア活動への興味が「ある」(男性17.1%、女性22.2%)という回答者は、女性が男性を5ポイント上回っている。

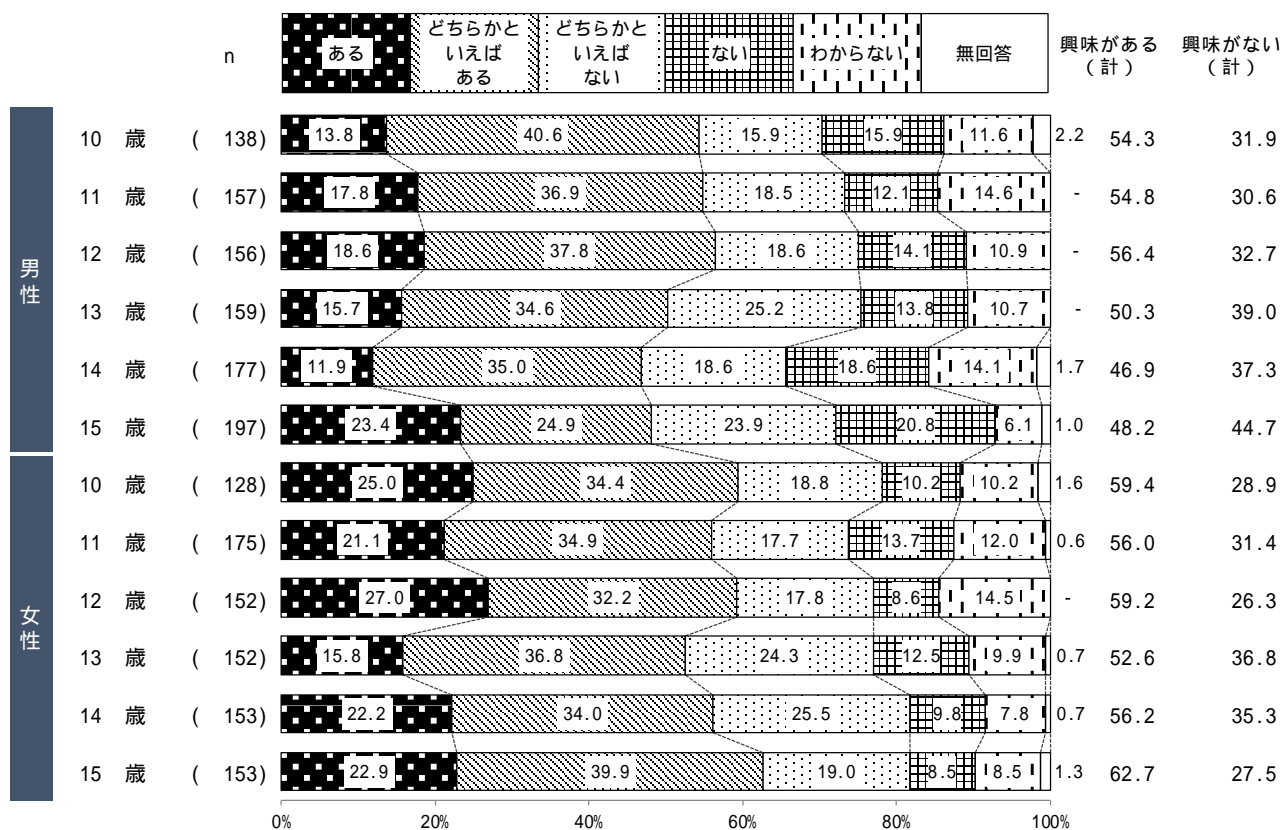
図表2-6-2-2 ボランティア活動への興味(男女別)



性・年齢別にみると（図表2-6-2-3）男性ではボランティア活動に興味がある層（「ある」+「どちらかといえばある」）は、年齢が上がるほど減少する傾向があるものの、15歳では「ある」と強い興味を示す回答者が23.4%と、男性では最も高い。

一方、女性では、13歳で興味がある回答者（52.6%）の割合が他の年齢層よりやや低いが、15歳（62.7%）では6割を上回って、最も高い。

図表2-6-2-3 ボランティア活動への興味(性・年齢別)

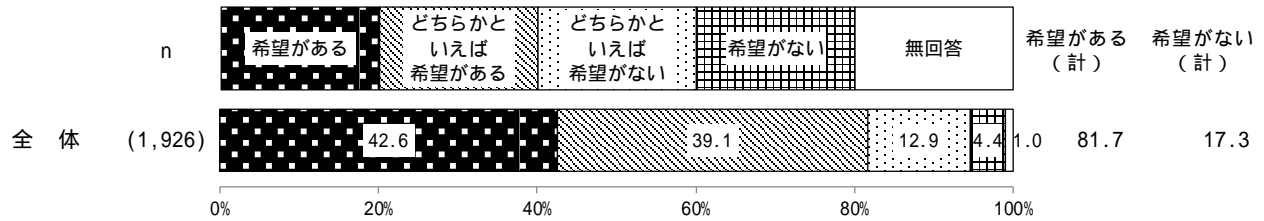


7. 将来像

(1) 将来への希望(問18)

問18 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つだけ)

図表2-7-1-1 将来への希望

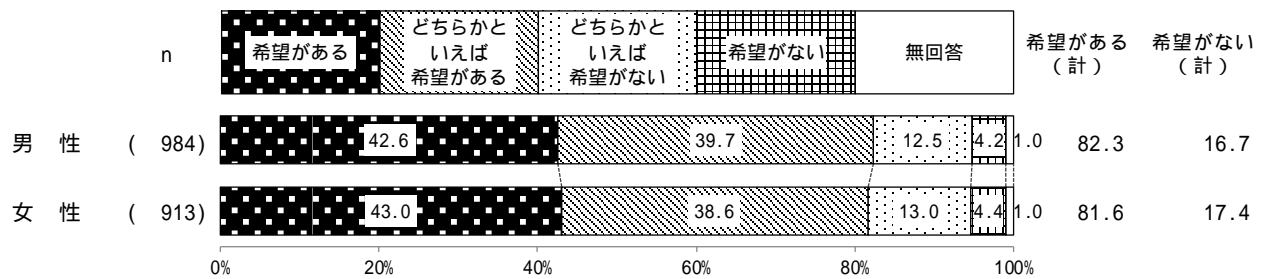


自分の将来について明るい希望を持っているかを聞いた(図表2-7-1-1)。

「希望がある」という回答者は42.6%で、「どちらかといえば希望がある」(39.1%)を合わせると、8割以上は自分の将来に明るい希望を持っている。

男女別にみても(図表2-7-1-2)、大きな男女差はみられない。

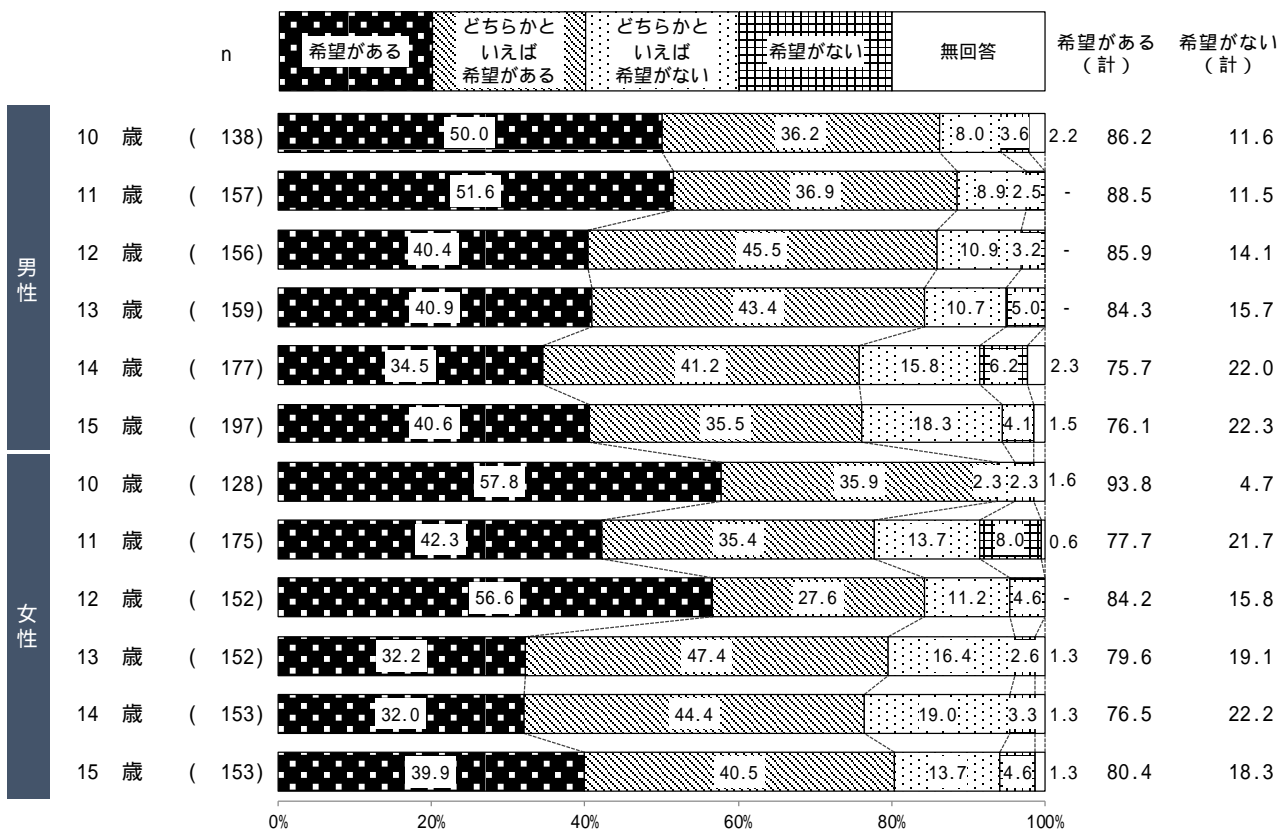
図表2-7-1-2 将来への希望(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-1-3) 男性では、「希望がある」という回答者が、12歳(40.4%)と13歳(40.9%)では、10歳(50.0%)と11歳(51.6%)より10ポイント程度下回るが、代わって「どちらかといえば希望がある」という回答者が増加している。14歳以上になると、『希望がない』(「希望がない」+「どちらかといえば希望がない」)が2割を上回る(14歳22.0%、15歳22.3%)。

一方、女性では、「希望がある」という回答者が、10歳(57.8%)と12歳(56.6%)で5割を上回って他の性・年齢層より高く、特に10歳では「どちらかといえば希望がある」(35.9%)を合わせると、9割以上が将来に明るい『希望がある』と回答している。しかし、13歳では「希望がある」(32.2%)という回答者が、12歳より24ポイント減少している。

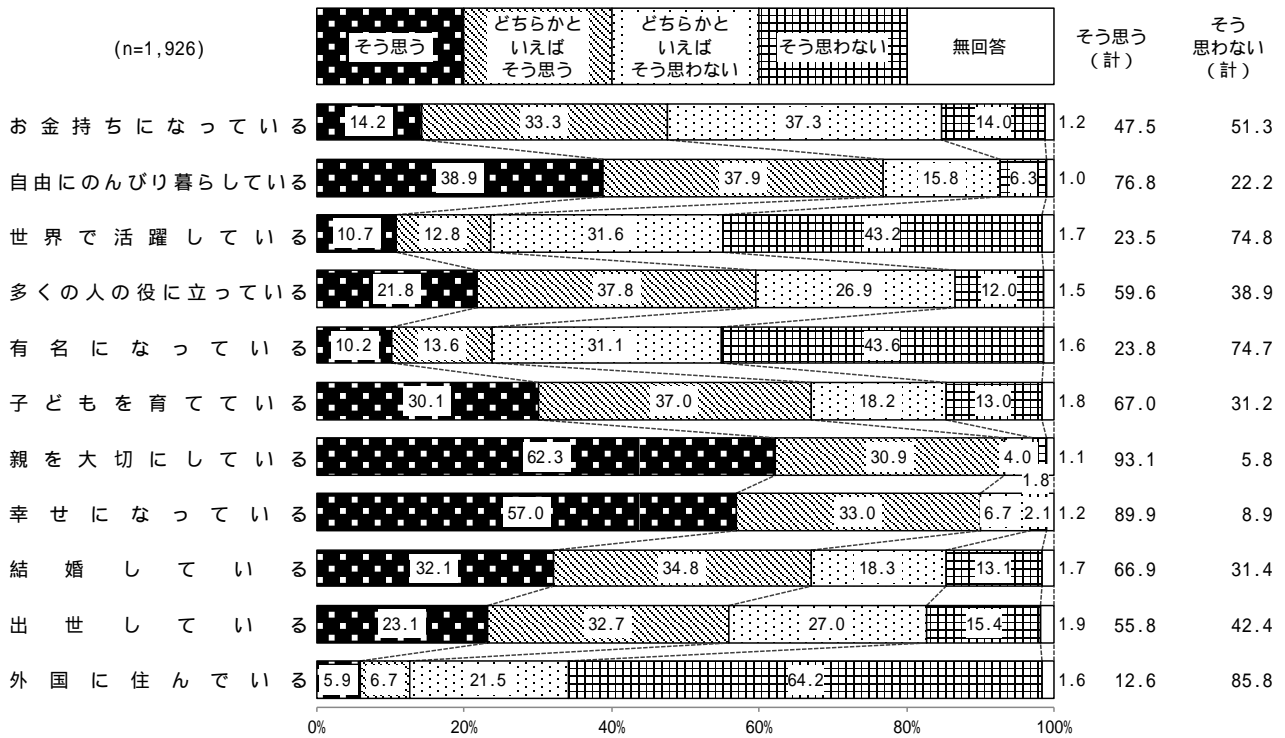
図表2-7-1-3 将来への希望(性・年齢別)



(2) ポスト青年期の自己像 (問 19)

問 19 あなたが大人になったとき、どのようになっていると思いますか。

図表 2 - 7 - 2 - 1 ポスト青年期の自己像



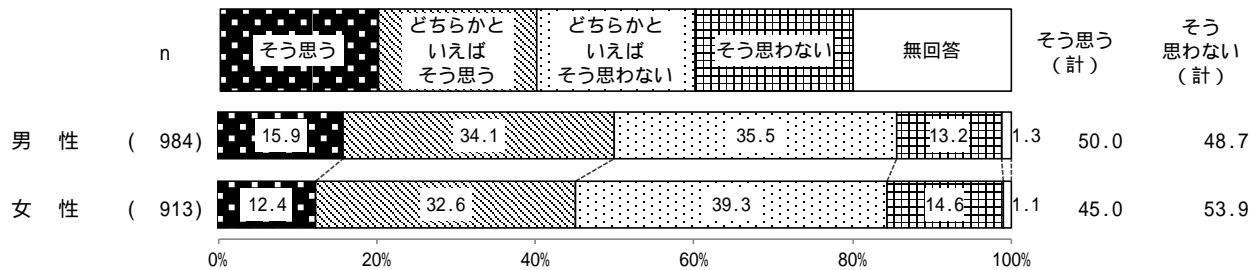
ポスト青年期の自己像として 11 項目を聞いた (図表 2-7-2-1)。

大人になったときの自分の姿として「そう思う」という回答者が最も多かったのは、「親を大切にしている」(62.3%)で、次いで「幸せになっている」(57.0%)となっており、いずれも「どちらかといえばそう思う」(「親を大切に」30.9%、「幸せ」33.0%)を合わせると、9割前後が『そう思う』と回答している。

これに対して、「そう思わない」という回答者が最も多かったのは、「外国に住んでいる」の 64.2%で、「どちらかといえばそう思わない」(21.5%)を合わせると、8割以上が大人になったとき「外国に住んでいる」という質問に対し『そう思わない』と回答している。また、「世界で活躍している」と「有名になっている」も、『そう思わない』(「世界で活躍」74.8%、「有名になっている」74.7%)という回答者が7割を上回っている。

“ お金持ちになっている ”を男女別にみると(図表 2-7-2-2)「 そう思う 」(男性 15.9%、女性 12.4%) という回答者に大きな男女差はみられないが、「 どちらかといえば そう思う 」(男性 34.1%、女性 32.6%) を合わせると、将来 “ お金持ちになっている ” かという質問に対し『 そう思う 』という回答者は、男性が女性を 5 ポイント上回っている。

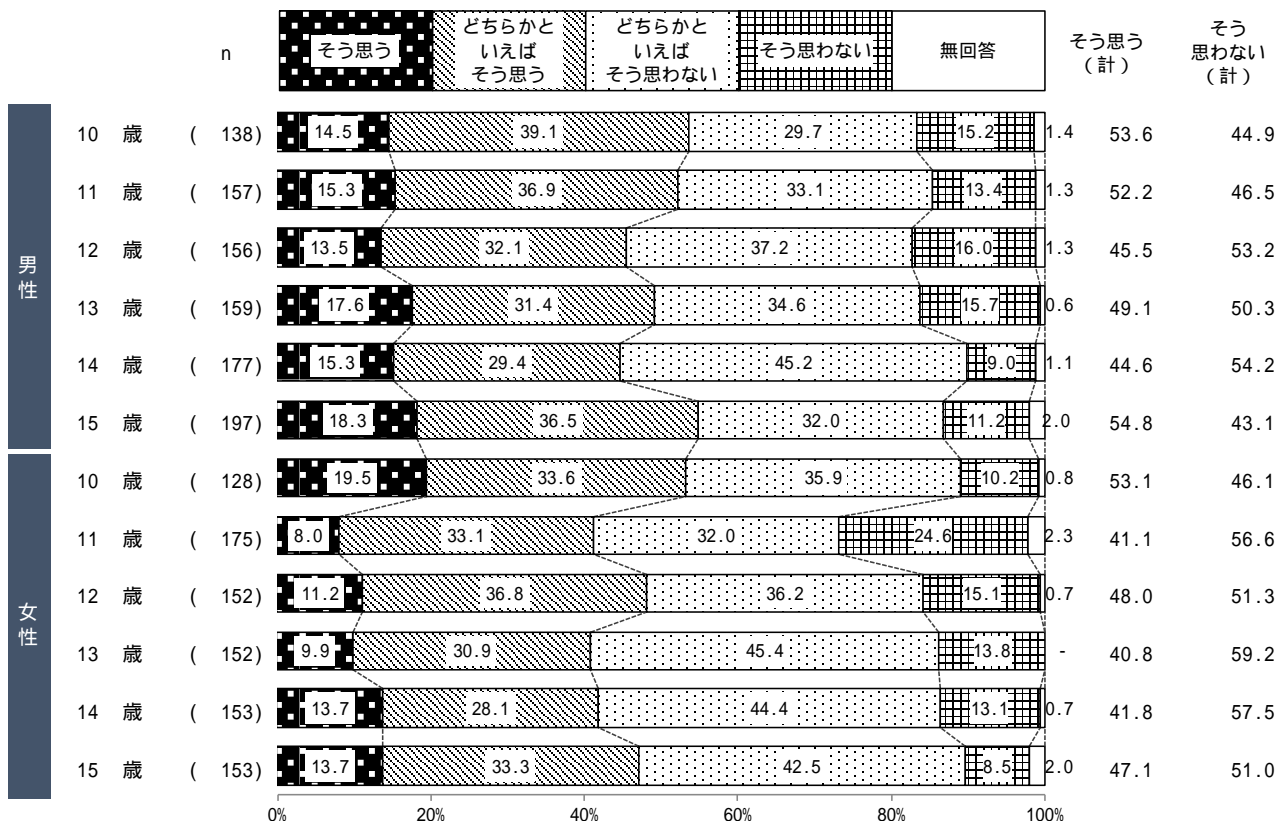
図表 2 - 7 - 2 - 2 ポスト青年期の自己像: お金持ちになっている(男女別)



性・年齢別にみると(図表 2-7-2-3)『 そう思う 』という回答者は、男性の 10 歳 (53.6%)、11 歳 (52.2%)、15 歳 (54.8%) と女性の 10 歳 (53.1%) で半数を上回っている。

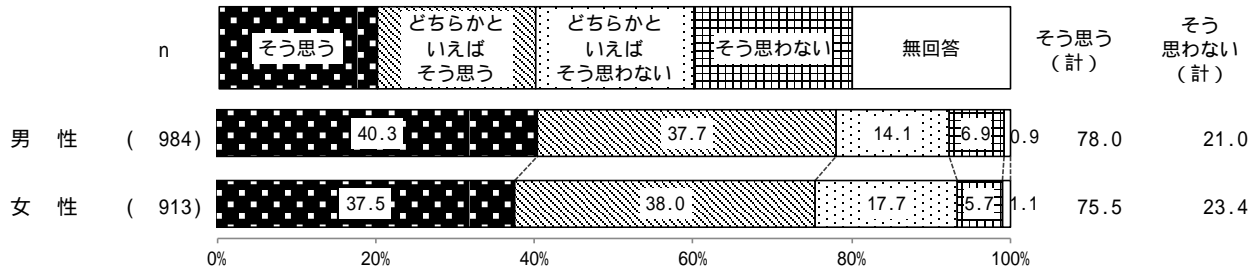
女性の 11 歳では、ほぼ 4 人に 1 人が「 そう思わない 」(24.6%) と回答している。

図表 2 - 7 - 2 - 3 ポスト青年期の自己像: お金持ちになっている(性・年齢別)



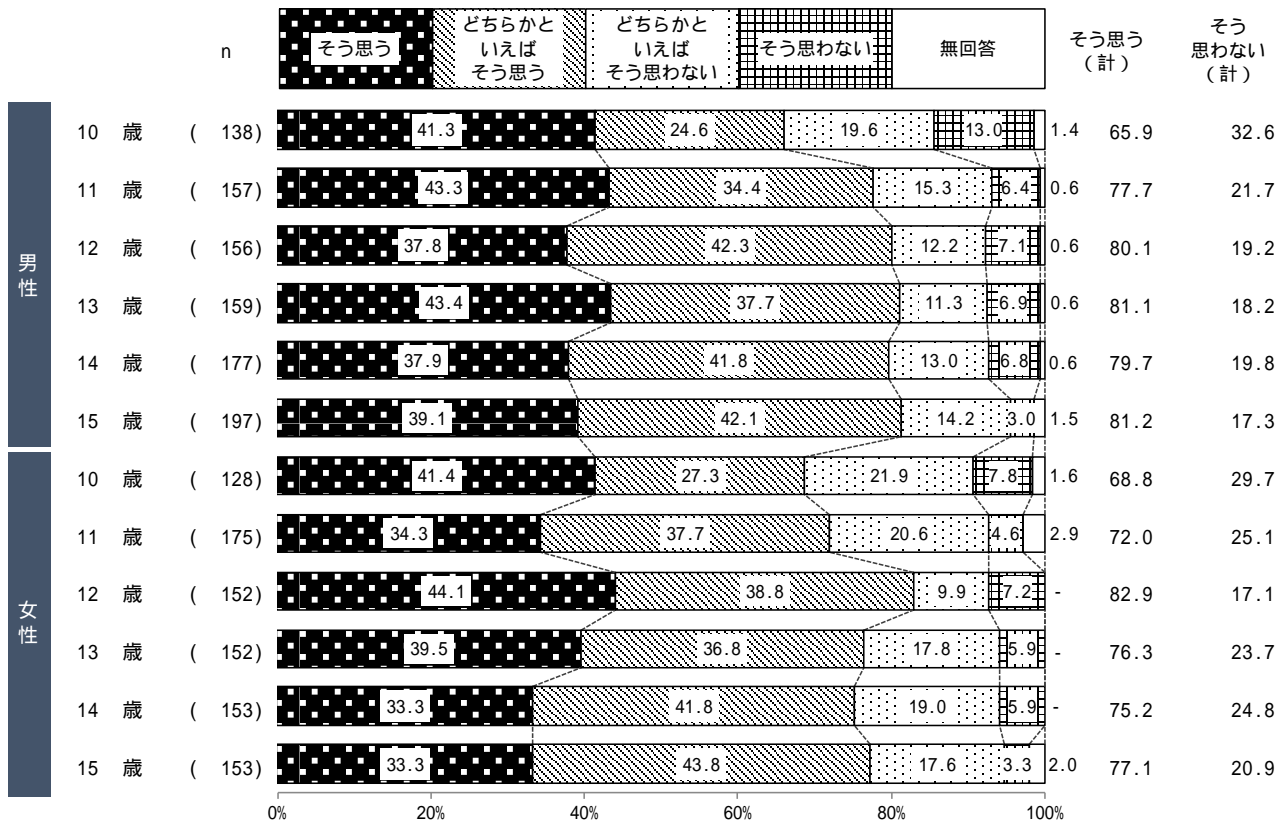
“自由にのんびり暮らしている”を男女別にみると(図表2-7-2-4)、大きな男女差はみられない。

図表2-7-2-4 ポスト青年期の自己像:自由にのんびり暮らしている(男女別)



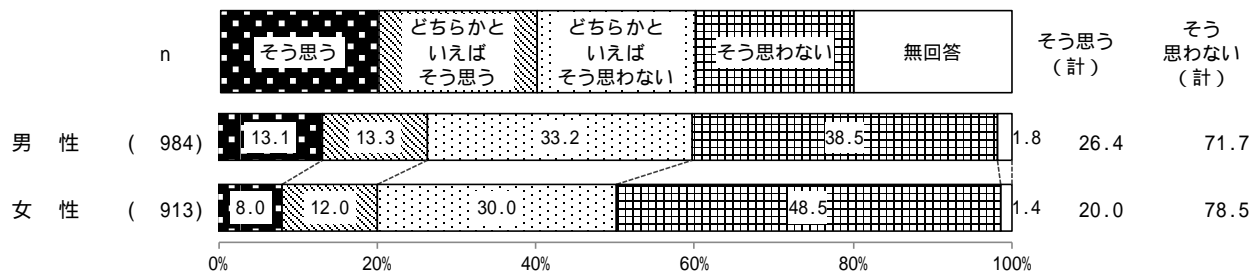
性・年齢別にみると(図表2-7-2-5)、男性のすべての年齢層と女性の10歳、12歳、13歳では、「そう思う」という回答者が4割前後であるが、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、男女とも10歳では『そう思う』(男性65.9%、女性68.8%)という回答者の割合が、他の性・年齢層よりやや低い。

図表2-7-2-5 ポスト青年期の自己像:自由にのんびり暮らしている(性・年齢別)



“世界で活躍している”を男女別にみると(図表2-7-2-6)『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」といえばそう思う)という回答者は、男性が女性を6ポイント上回っている(男性26.4%、女性20.0%)。

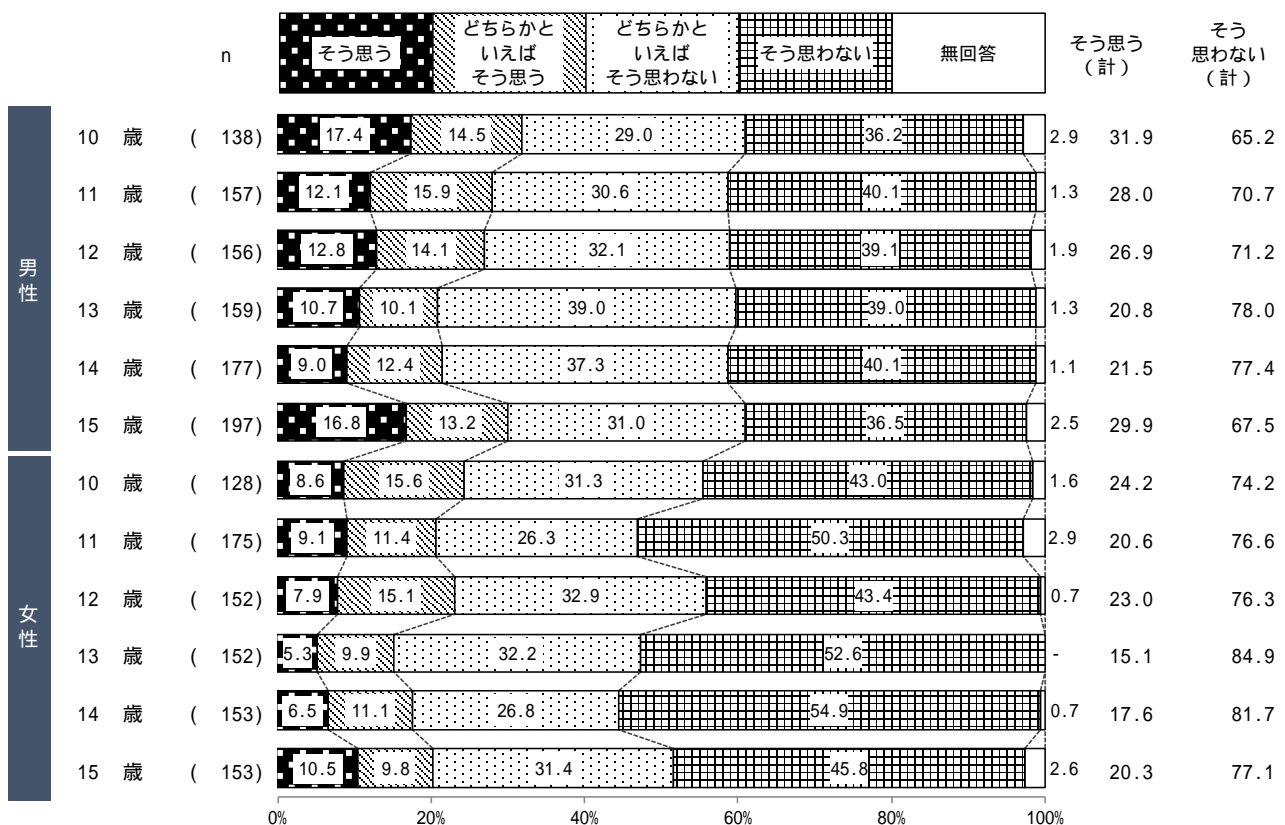
図表2-7-2-6 ポスト青年期の自己像:世界で活躍している(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-7)「そう思う」という回答者は、男性の10歳(17.4%)と15歳(16.8%)で他の性・年齢層より高いものの1割台で、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、男性の10歳~12歳と15歳で3割前後が『そう思う』と回答している。

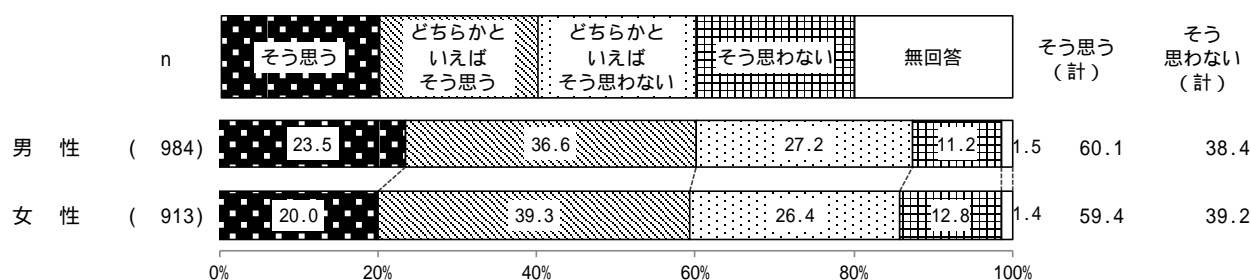
これに対して、女性の11歳、13歳、14歳では、半数以上が「そう思わない」と回答している。

図表2-7-2-7 ポスト青年期の自己像:世界で活躍している(性・年齢別)



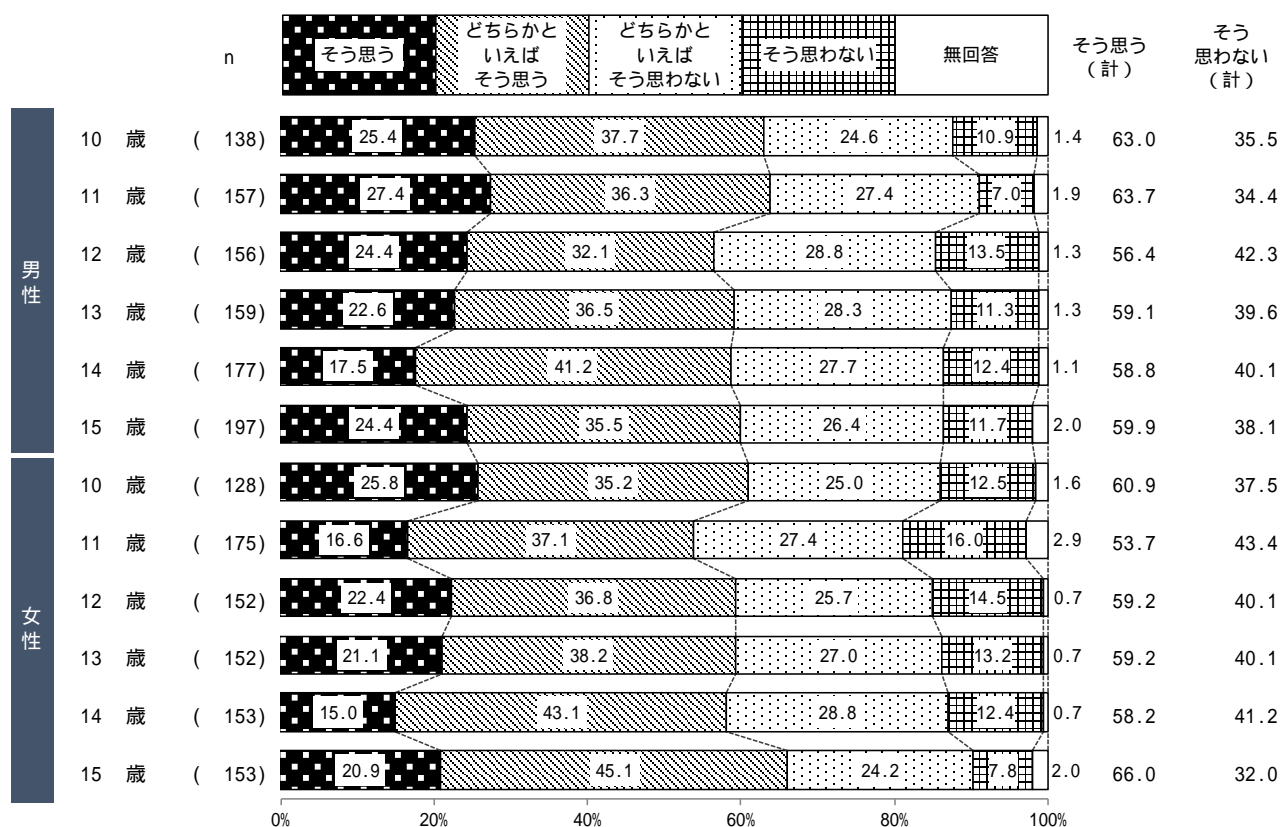
“多くの人の役に立っている”を男女別にみると(図表2-7-2-8)大きな男女差はみられない。

図表2-7-2-8 ポスト青年期の自己像:多くの人の役に立っている(男女別)



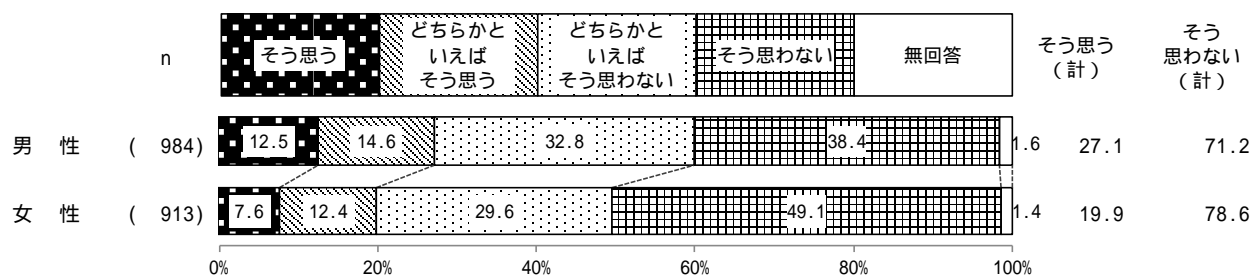
性・年齢別にみると(図表2-7-2-9)「そう思う」という回答者は男性の14歳(17.5%)、女性の11歳(16.6%)と14歳(15.0%)で1割台と低く、特に女性の11歳では「どちらかといえばそう思う」(37.1%)を合わせても53.7%と、同年齢の男性(63.7%)と10ポイントの開きがある。

図表2-7-2-9 ポスト青年期の自己像:多くの人の役に立っている(性・年齢別)



“有名になっている”を男女別にみると(図表2-7-2-10)、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」という回答者は、男性が女性を7ポイント上回っている(男性27.1%、女性19.9%)。

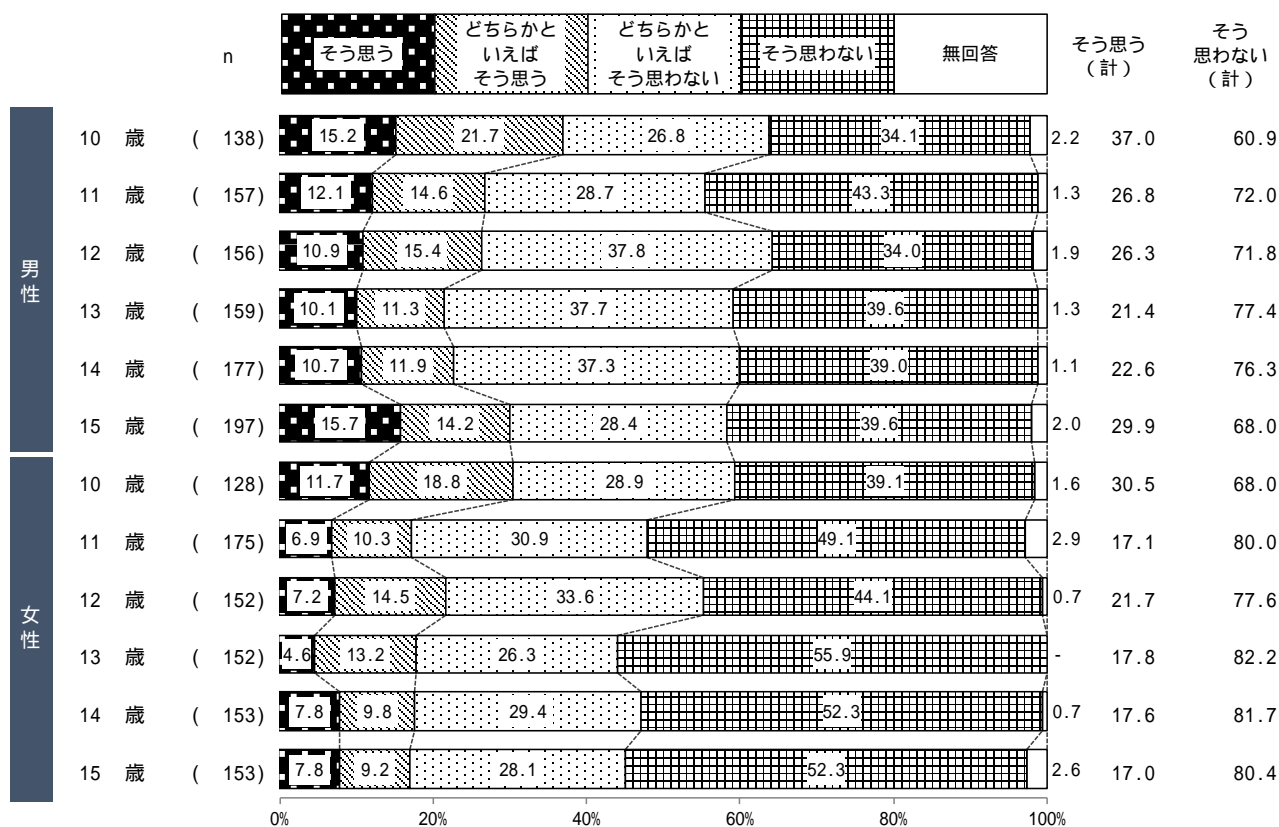
図表2-7-2-10 ポスト青年期の自己像:有名になっている(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-11)「そう思う」という回答者は、男性の10歳(15.2%)と15歳(15.7%)で他の性・年齢層より高いものの1割台で、「どちらかといえばそう思う」を合わせると、男性の10歳は37.0%、15歳は29.9%が『そう思う』と回答している。

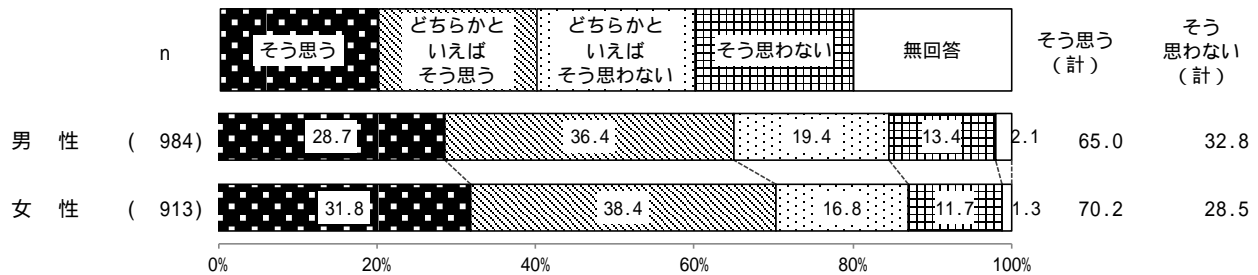
これに対して、女性では、10歳では『そう思う』が30.5%であるが、11歳以上では2割前後となり、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」という回答者が多数を占める。

図表2-7-2-11 ポスト青年期の自己像:有名になっている(性・年齢別)



“子どもを育てている”を男女別にみると(図表2-7-2-12)『そう思う』という回答者は、女性が男性を5ポイント上回っている(男性65.0%、女性70.2%)。

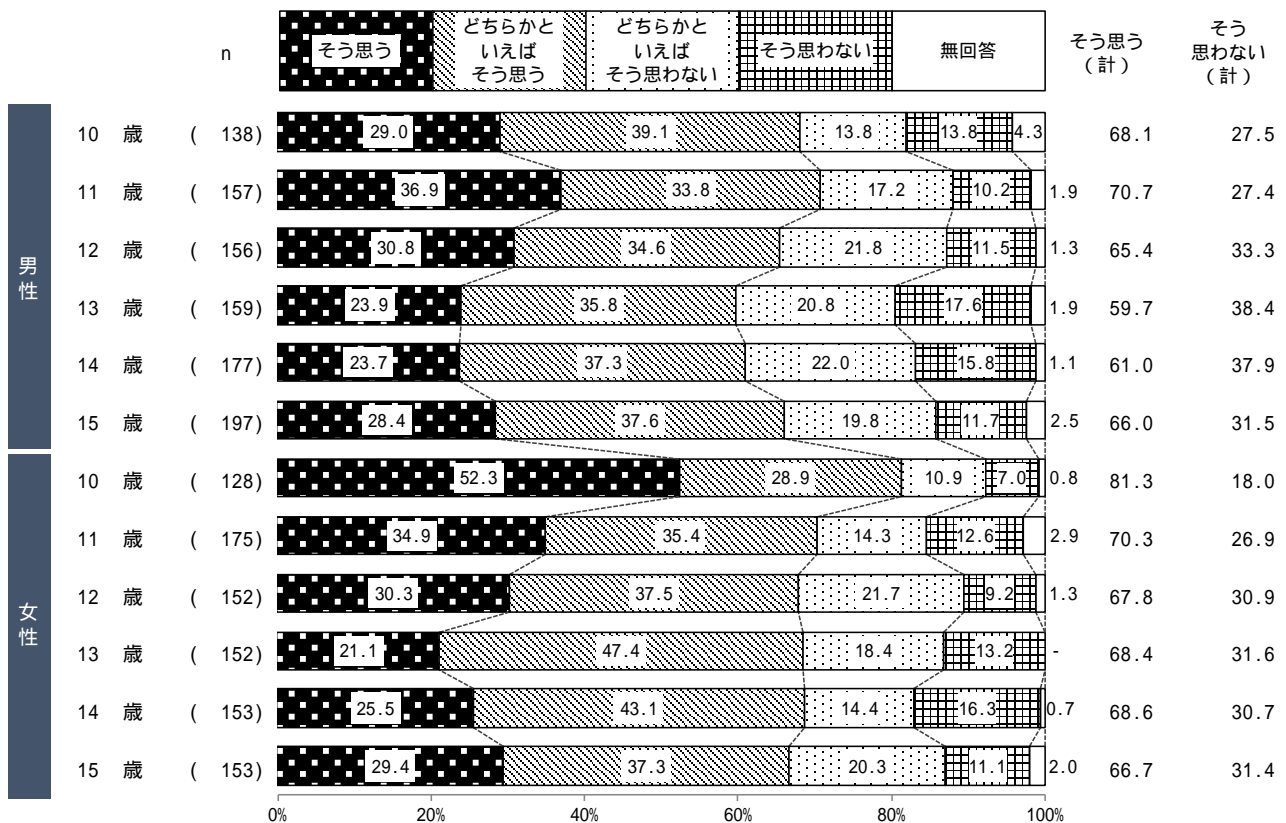
図表2-7-2-12 ポスト青年期の自己像:子どもを育てている(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-13)女性の10歳で過半数が「そう思う」(52.3%)と回答し、「どちらかといえばそう思う」(28.9%)を合わせると、『そう思う』という回答者が8割を上回る。13歳までは「そう思う」という回答者は減少するが、『そう思う』という回答者はいずれの年齢でも7割程度である。

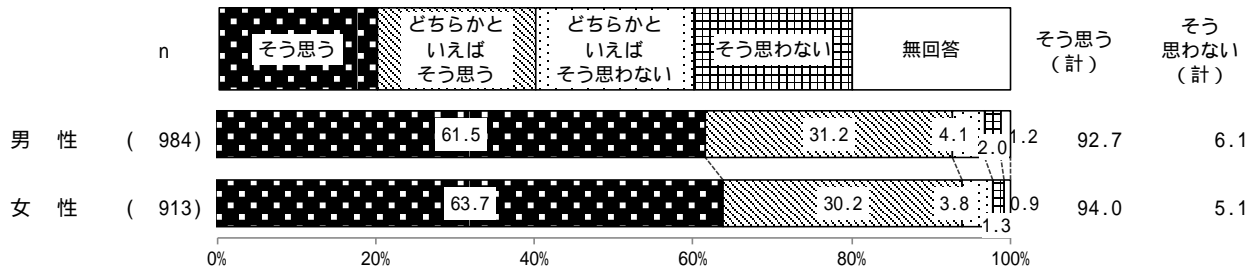
一方、男性で「そう思う」という回答者が最も多いのは11歳(36.9%)で、「どちらかといえばそう思う」(33.8%)を合わせた『そう思う』という回答者は約7割と、同年齢の女性と同様である。

図表2-7-2-13 ポスト青年期の自己像:子どもを育てている(性・年齢別)



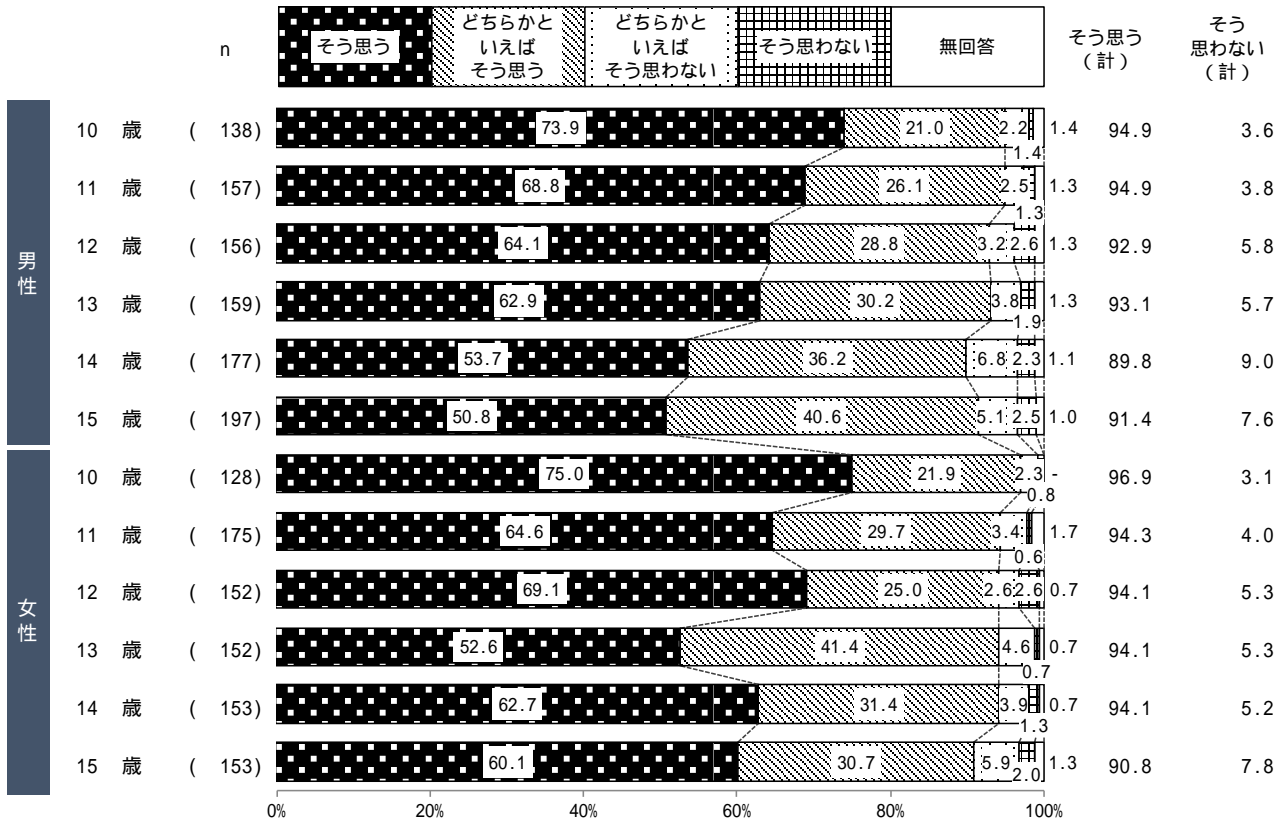
“親を大切にしている”を男女別にみると(図表2-7-2-14)、大きな男女差はみられない。

図表2-7-2-14 ポスト青年期の自己像:親を大切にしている(男女別)



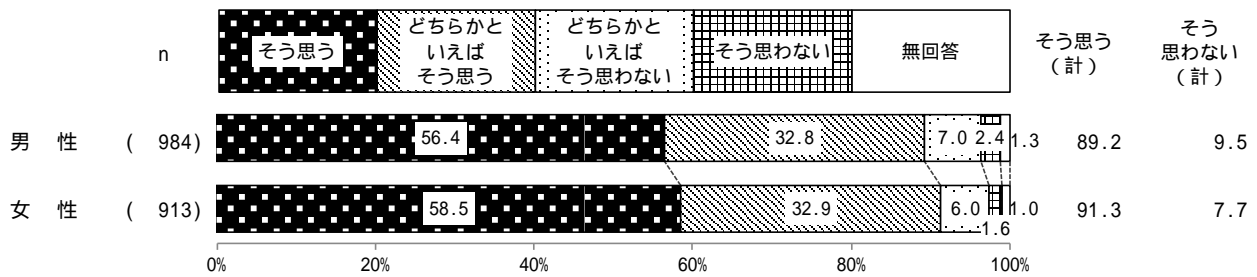
性・年齢別にみると(図表2-7-2-15) いずれの性・年齢層でも「そう思う」という回答者が半数以上で、特に男女とも10歳(男性73.9%、女性75.0%)では7割を上回っている。「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』という回答者は、いずれの性・年齢層でもほぼ9割台である。

図表2-7-2-15 ポスト青年期の自己像:親を大切にしている(性・年齢別)



“幸せになっている”を男女別にみると(図表2-7-2-16) 大きな男女差はみられない。

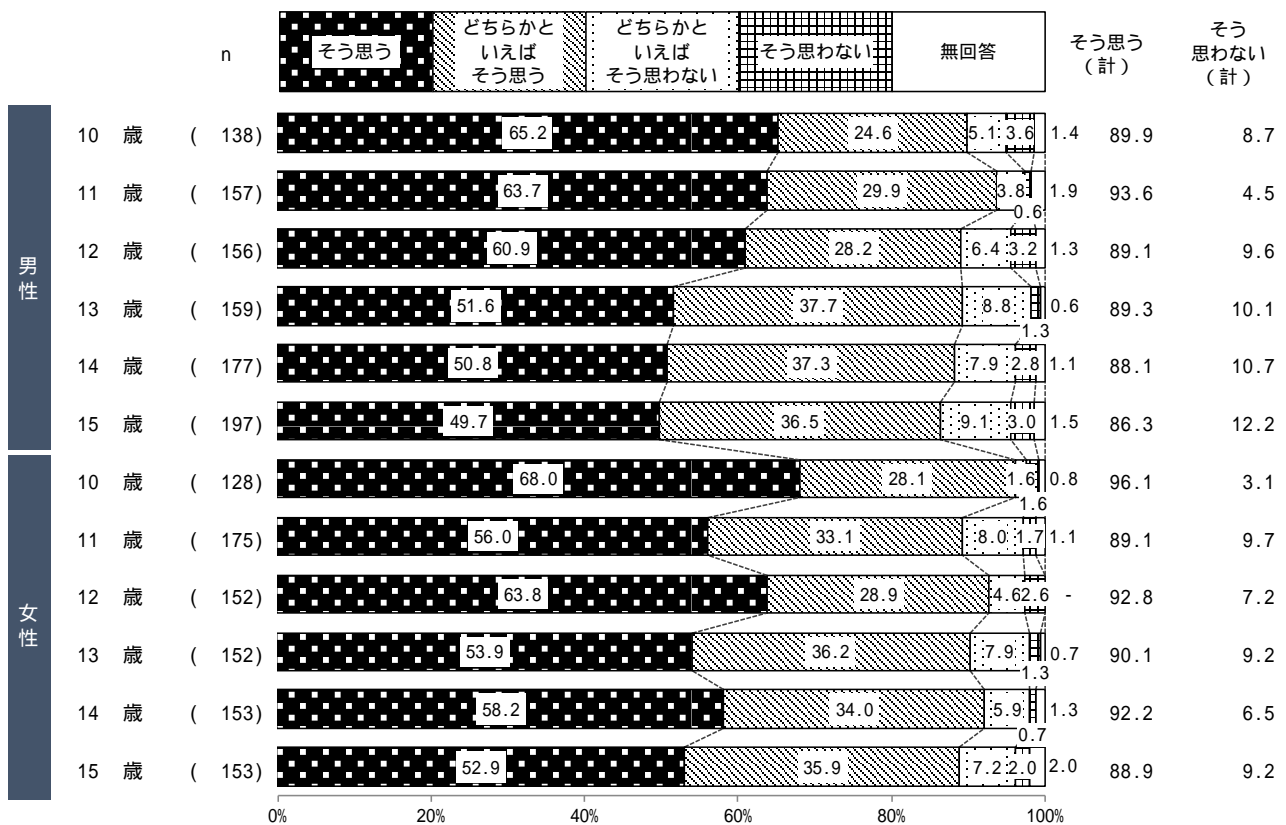
図表2-7-2-16 ポスト青年期の自己像:幸せになっている(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-17) いずれの性・年齢層でも「そう思う」という回答者がほぼ半数以上だが、男性では年齢が上がるほど低くなり、「どちらかといえばそう思う」という回答が高くなる傾向がみられる。

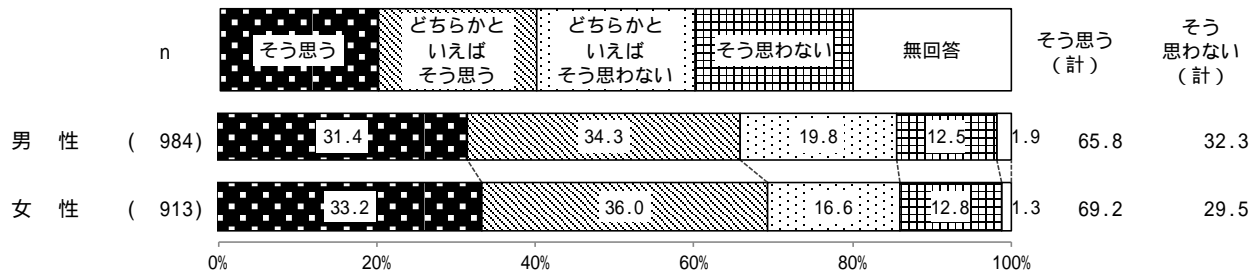
「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』という回答者は、いずれの性・年齢層でも9割前後である。

図表2-7-2-17 ポスト青年期の自己像:幸せになっている(性・年齢別)



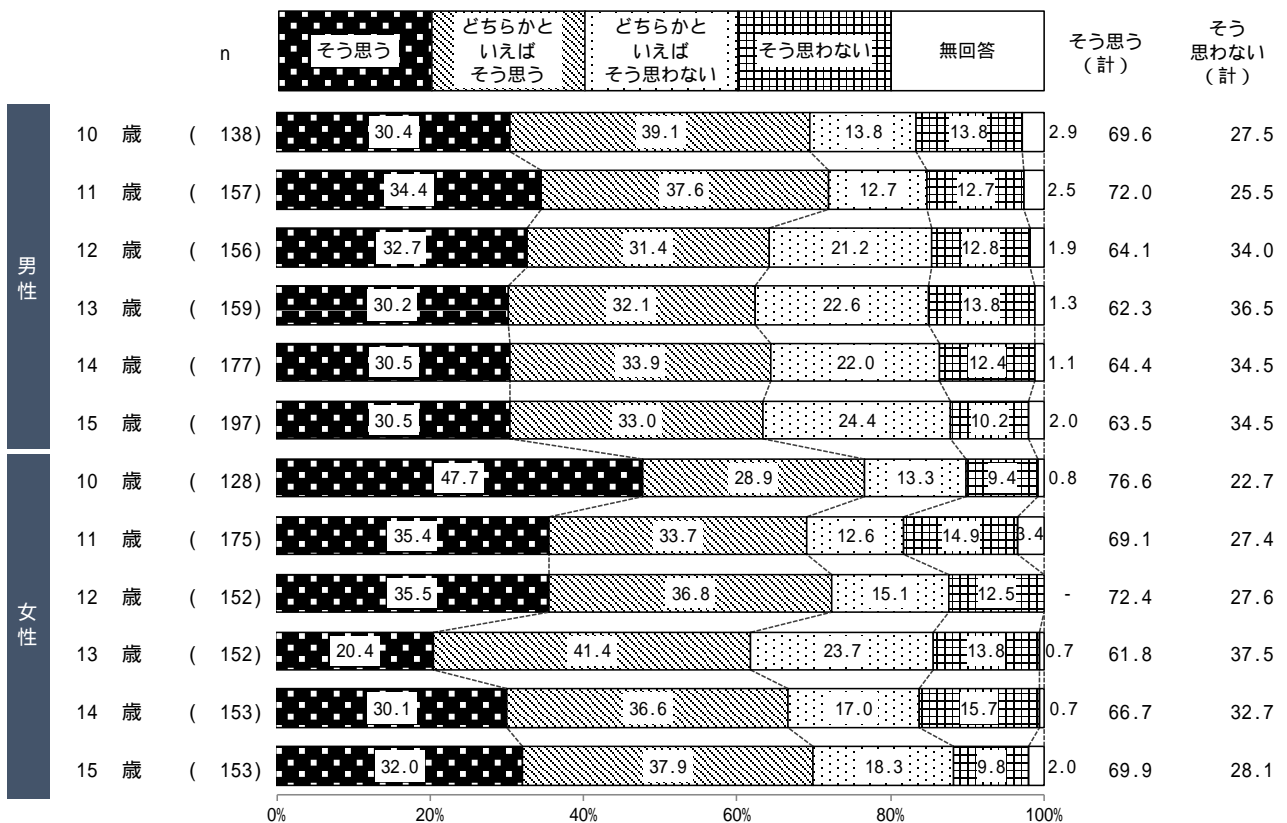
“結婚している”を男女別にみると(図表2-7-2-18) 大きな男女差はみられない。

図表2-7-2-18 ポスト青年期の自己像:結婚している(男女別)



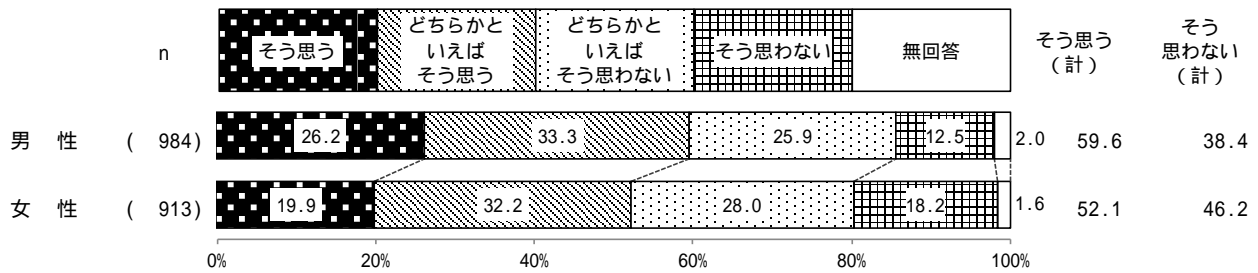
性・年齢別にみると(図表2-7-2-19) 女性の10歳で半数近くが「そう思う」(47.7%)と回答し、「どちらかといえばそう思う」(28.9%)を合わせると、『そう思う』という回答者が8割近い。女性の13歳では「そう思う」という回答者20.4%と、他の性・年齢層よりも10ポイント以上低い。一方、男性では、11歳で『そう思う』という回答者が72.0%で、男性の他の年齢層より高い。

図表2-7-2-19 ポスト青年期の自己像:結婚している(性・年齢別)



“出世している”を男女別にみると(図表2-7-2-20)「そう思う」(男性26.2%、女性19.9%)という回答者は、男性が女性を6ポイント上回っている。

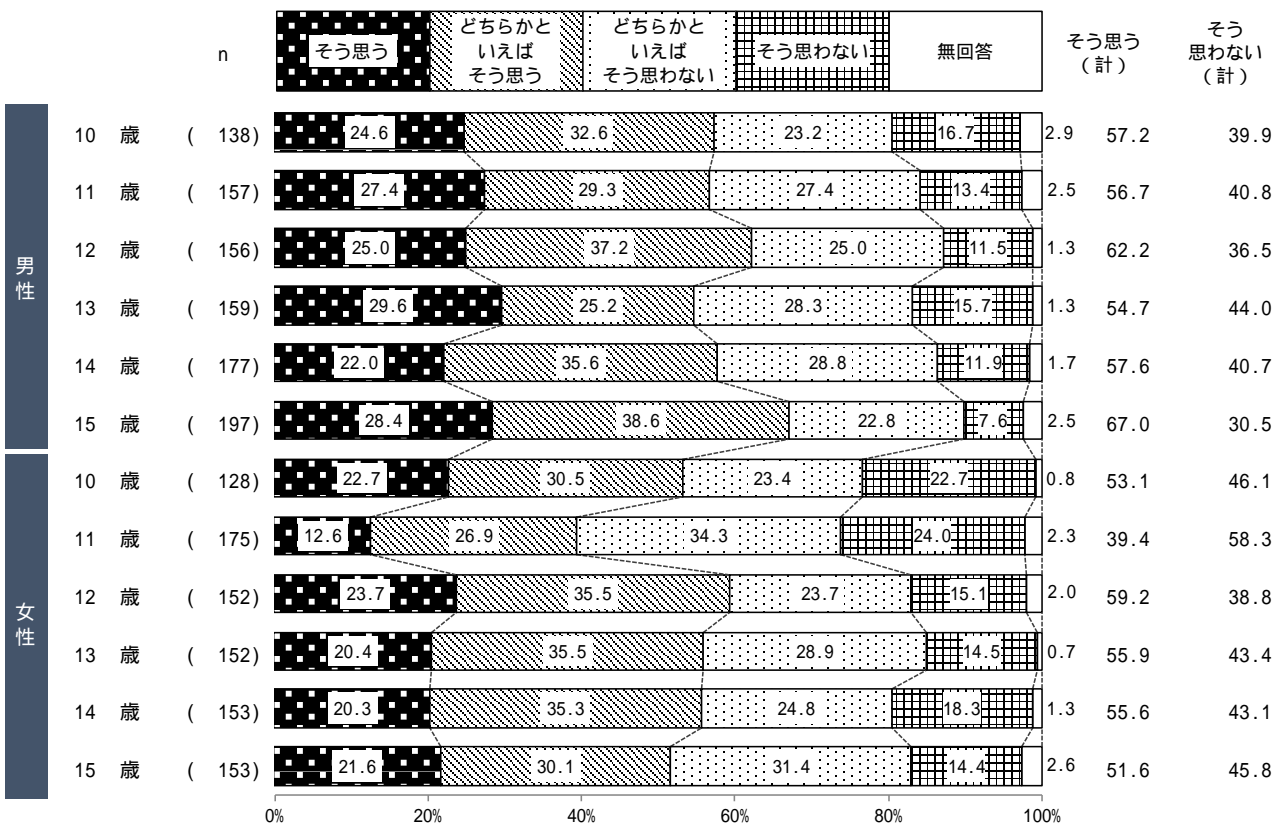
図表2-7-2-20 ポスト青年期の自己像:出世している(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-21)男性ではいずれの年齢でも「そう思う」という回答者は2割台で、「どちらかといえばそう思う」を合わせた、“出世している”と『思う』回答者は15歳で67.0%と最も高い。

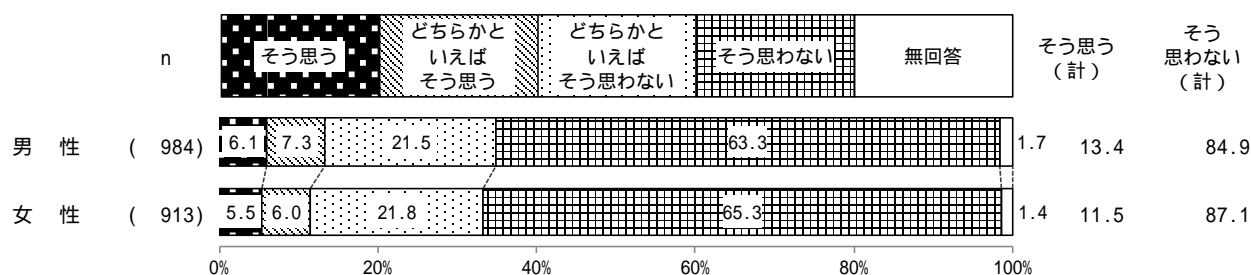
一方、女性では、11歳で「そう思う」という回答者が12.6%と他の年齢層より低く、「そう思わない」(24.0%)もしくは「どちらかといえばそう思わない」(34.3%)と回答した“出世している”と『思わない』回答者が6割近い。

図表2-7-2-21 ポスト青年期の自己像:出世している(性・年齢別)



“外国に住んでいる”を男女別にみると(図表2-7-2-22) 大きな男女差はみられない。

図表2-7-2-22 ポスト青年期の自己像:外国に住んでいる(男女別)



性・年齢別にみると(図表2-7-2-23) いずれの性・年齢層でも「そう思う」という回答者は1割に届かず、「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』という回答者も2割に届かない。

図表2-7-2-23 ポスト青年期の自己像:外国に住んでいる(性・年齢別)

